

第三十六條 旅客運賃又ハ荷物運賃ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ變更後ニ於ケル收支豫算書ヲ添附シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第三十七條 前三條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運賃ヲ實施シタルトキハ其ノ月日ヲ記載シ各驛間ノ旅客運賃表第十五號樣式及大貨物營業料程表第十六號樣式ヲ添附シ之ヲ届出ツヘシ

第三十八條 現ニ營業中ノ線路ニ於テ新設シタル停車場又ハ停留場ニ係ル旅客運賃又ハ荷物運賃ヲ認可ヲ受ケタル方法ト同一方法ニ依リ制定シタルトキハ實測換算中心料程表、營業料程表、各驛間ノ旅客運賃表及大貨物營業料程表ヲ添附シ實施ノ月日ヲ監督官廳ニ届出ツヘシ

第三十九條 運輸ニ關スル料金ノ認可申請書ニハ其ノ種類及金額ヲ記載スヘシ
運輸ニ關スル料金ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ
前二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル料金ヲ實施シタルトキハ其ノ月日ヲ記載シ之ヲ届出ツヘシ

〔大阪土〕

第四十條 旅客列車及混合列車ノ運轉速度及度數ノ認可申請書ニハ發著時刻表第十七號樣式第十八號及運轉速度表第九號樣式ヲ添附スヘシ

第四十一條 旅客列車及混合列車ノ運轉速度ヲ増加シ又ハ度數ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ新舊對照運轉速度表、新舊對照運行圖表及變更發著時刻表ヲ添附シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第四十二條 前二條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運轉速度及度數ヲ實施シタルトキハ其ノ月日ヲ遲滞ナク監督官廳ニ届出ツヘシ

第四十三條 貨物列車ノ運轉速度、度數及發著時刻ヲ定メタルトキハ發著時刻表、運行圖表及運轉速度表ヲ添附シ實施ノ月日ヲ監督官廳ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第四十四條 天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ一時旅客列車及混合列車ノ運轉速度及度數ヲ變更シタルトキハ其ノ理由ヲ具シ發著時刻表ヲ添附シ遲滞ナク監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ

〔大阪土〕

ストキハ左ノ事項ヲ記載シ契約書ノ謄本ヲ添附シ實施後一週間内ニ監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ

- 一 連帶驛名
- 二 旅客及荷物ノ取扱方法
- 三 賃金制賦方法
- 四 共用停車場、倉庫等ニ關スル使用料其ノ他ノ事項
- 五 線路及車輛ノ使用料並遲滞料ニ關スル事項
- 六 運輸上ノ責任負擔方法
- 七 運輸開始ノ年月日

第四十九條 地方鐵道業者ハ每營業年度經過後二月内ニ營業報告書及統計報告書ヲ調製シ監督官廳ニ之ヲ提出スヘシ

第五十條 地方鐵道業者ハ鐵道臺帳ヲ調製シ之ヲ備ヘ置クヘシ

第五十一條 地方鐵道會社ハ商法ニ依ル登記ヲ爲シタルトキ又ハ定款ヲ變更シタルトキハ監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ

第五十二條 免許失効シタルトキハ遲滞ナク地方長官ヲ經由シ免許狀ヲ返納スヘシ

第五十三條 地方鐵道法第三十二條第二項ノ規定ニ依ル建設費ハ鐵道及其ノ附屬物件ヲ建設又ハ取得スル爲必要ナル實費決算額トス
一部買收ノ場合ニ於テハ買收及殘存區間ノ建設費ハ各區間ニ付之ヲ計算シ各區間ニ關聯スル建設費ハ左ノ各號ニ依リ

第四十八條 他ノ鐵道又ハ軌道ト連絡運輸又ハ直通運輸ヲ爲スル様式ニ依リ之ヲ届出ツヘシ

前項以外ノ事故ハ一月分ヲ取纏メ翌月十五日限り第二十一號樣式ニ依リ監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ

信、電話又ハ口頭ヲ以テ報告スルノ外五日以内ニ第二十號樣式ニ依リ監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ

第四十七條 列車ノ衝突、脱線及顛覆、機關車ノ汽罐破裂、十二時間以上列車運轉不能其ノ他ノ重大ナル事故ハ即時電信、電話又ハ口頭ヲ以テ報告スルノ外五日以内ニ第二十號樣式ニ依リ監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ

五 出席株主ノ有スル株式ノ總數

四 出席株主ノ總數

三 株主ノ總數

二 株式ノ總數

一 資本ノ總額

第四十五條 營業ノ休止又ハ廢止ノ許可申請書ハ其ノ理由ヲ具シ地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

會社解散ノ決議認可申請書ニハ其ノ理由ヲ具シ社員ノ同意書又ハ株主總會ノ議事及決議ノ要領書ヲハ無限責任社員ノ同意書ヲ添附シ地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

同本添附

第四十六條 第二十七條、第二十八條、第三十二條及前條ノ株主總會並後配株主總會ノ議事及決議ノ要領書ニハ左ノ事項(後配株主總會ニ在リテハ後配株主ニ關スル事項)ヲ附記スヘシ

第三類 地方鐵道 軌道 索道 第一章 地方鐵道

- 各區間ニ付之ヲ分割ス
- 一 線路測量費ハ各區間ノ料數ニ依ル百分率
 - 二 車輛費、電車庫費、器械場費、發電所費及變電所費ハ各區間ノ最近營業年度末ヨリ廻リ三年間、運輸開始後三年ヲ經過セサルモノニ在リテハ運輸開始ノ日ヨリ買收ノ日迄ニ於ケル車輛走行料ニ依ル百分率
 - 三 前二號以外ノモノニ付テハ各區間ニ於ケル建設費決算額(前二號ニ依リテ分割シタル金額ヲ含ム)ノ割合ニ依ル百分率

第五十四條 地方鐵道法第三十二條第二項ノ規定ニ依ル營業收入ハ客車收入、貨車收入其ノ他運輸營業上ノ諸收入トシ營業費ハ鐵道及其ノ附屬物件ノ保存復舊ノ費用、諸稅其ノ他運輸營業上ノ諸費用トス

- 一 一部買收ノ場合ニ於テハ買收及殘存區間ノ營業收入及營業費ハ營業年度毎ニ各區間ニ付之ヲ計算シ各區間ニ跨ル營業收入及營業費ハ左ノ各號ニ依リ營業年度毎ニ各區間ニ付之ヲ分割ス
- 一 客車收入ハ買收及殘存區間ニ跨ル旅客ノ各區間ニ於ケル延入料數ニ依ル百分率
- 二 貨車收入ハ買收及殘存區間ニ跨ル貨物ノ各區間ニ於ケル延入料數ニ依ル百分率
- 三 前二號ニ掲ケルモノ以外ノ收入ハ買收及殘存各區間ニ

〔大阪土〕

〔大阪土〕

● 專用鐵道規程

大正八年八月十三日 閣令第十九號

第一條 本規程ハ道府縣其ノ他ノ公共團體又ハ私人ヲ專用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ之ヲ適用ス

- 一 公衆ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ト直通スルモノ
- 二 公衆ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ト連絡スルモノ但シ人力又ハ馬力ヲ動力トスルモノヲ除ク
- 三 前各號ノ專用鐵道ト直通スルモノ

第二條 專用鐵道ヲ敷設セムトスル者ハ申請書ニ使用ノ目的ヲ記載シ鐵道ヲ敷設セムトスル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ左ノ書類及圖面ヲ提出シ主務大臣ノ免許ヲ受クヘシ

- 一 線路實測圖
- 二 工事方法書
- 三 建設費豫算書
- 四 他ノ鐵道又ハ軌道ト連絡又ハ直通ニ關スル協定書ノ謄本

第三條 免許ニハ工事ノ著手及竣功ノ期限ヲ附ス
前項ノ期限ハ天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限り其ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得

第四條 工事ニ著手シタルトキハ一週間以内ニ監督官廳ニ之

第三類 地方鐵道 軌道 索道 第一章 地方鐵道

於ケル他ノ收入總額ニ依ル百分率

四 營業費ハ買收及殘存各區間ニ於ケル營業收入ニ依ル百分率

第五十五條 地方鐵道會計規程第十條乃至第十二條ノ規定ハ前二條ノ規定ニ依ル建設費、營業收入及營業費ノ計算ニ付之ヲ準用ス

第五十六條 地方鐵道法第三十五條ノ二第二項及第三十六條ノ二第三項ノ規定ニ依ル配當ノ認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ當該期ノ貸借對照表及收支計算書ヲ添附シ之ヲ提出スヘシ

- 一 概算交付金ノ處分案
- 二 債務アルトキハ其ノ金額、償還方法及期日並次に配當期迄ニ支拂フヘキ利子金額

附則

本令ハ大正八年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス

私設鐵道法施行規則、輕便鐵道法施行規則、鐵道事故届出ニ關スル規程、鐵道臺帳規程及鐵道統計規程ハ之ヲ廢止ス

舊令ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

(附錄様式略ス)

ヲ届出ツヘシ

第五條 免許ヲ受ケタル者ハ運輸、信號及列車保全ニ關スル規定ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更スルトキ亦同シ

第六條 專用鐵道ノ運輸ノ管理ノ委託ヲ爲サムトスルトキハ申請書ニ運輸ノ管理ノ委託ニ關スル協定書ノ謄本ヲ添附シ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ

第七條 運輸ヲ開始シタルトキハ遲滞ナク監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ

第八條 專用鐵道ヲ讓渡セムトスルトキハ讓受人ト連署シ鐵道ヲ敷設スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 專用鐵道ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ使用ノ目的ニ屬セサル物品運送ノ用ニ供スルコトヲ得ス

第十條 監督官廳ハ公益上必要アリト認ムルトキハ工事方法、運輸、信號又ハ列車保安方法ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十一條 免許ヲ受ケスシテ專用鐵道ヲ敷設シ又ハ認可ヲ受ケスシテ運輸ヲ開始シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ規定ハ公共團體方專用鐵道ヲ敷設スル場合ニ之ヲ適用セズ

第十二條 地方鐵道法第十一條、第十六條、第十七條、第十九條第一項第三號、同條第二項、第二十條、第二十三條、

第三類 地方鐵道 軌道 索道 第一章 地方鐵道

第二十五條、第三十七條第一項、第三十九條、第四十條、地方鐵道法施行規則第三條、第十一條、第十二條、第十七條、第十八條、第二十條、第二十一條、第二十六條、第五十二條、地方鐵道建設規程第十九條、第二十一條、第三十條ノ規定ハ專用鐵道ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ大正八年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス
專用鐵道規則ハ之ヲ廢止ス

本令ニ依リ免許、許可又ハ認可ヲ受ケヘキ事項ニシテ舊規則ニ依リ免許、許可又ハ認可ヲ受ケタルモノハ本令ニ依リ免許、許可又ハ認可ヲ受ケタルモノト看做ス
舊規則ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

〔大阪土〕

第二章 軌道

●軌道法

大正十年四月十四日
法律第七十六號

改正 昭和四年四月法律第六一號

第一條 本法ハ一般交通ノ用ニ供スル爲敷設スル軌道ニ之ヲ適用ス
一般交通ノ用ニ供セサル軌道ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 軌道ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ道路ニ敷設スヘシ

第三條 軌道ヲ敷設シテ運輸事業ヲ經營セムトスル者ハ主務大臣ノ特許ヲ受ケヘシ

第四條 前條ノ規定ニ依リ特許ヲ受ケタル軌道經營者ハ軌道敷設ニ要スル道路ノ占用ニ付道路管理者ノ許可又ハ承認ヲ受ケタルモノト看做ス此ノ場合ニ於ケル道路ノ占用料ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第五條 軌道經營者ハ主務大臣ノ指定スル期間内ニ工事施行ノ認可ヲ申請スヘシ

天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ前項ノ期間内ニ工事施行ノ認可ヲ申請スルコト能ハサル場合ニ於テハ其ノ期間ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得

第六條 軌道經營者工事施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ道路ニ

第三類 地方鐵道 軌道 索道 第二章 軌道

〔大阪土〕

關スル工事ニ付道路管理者ノ許可又ハ承認ヲ受ケタルモノト看做ス河川法、砂防法及之ニ基キテ發スル命令ニ依ル許可又ハ認可ニ付亦同シ

第七條 軌道經營者工事施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ主務大臣ノ指定スル期間内ニ工事ニ著手シ之ヲ竣功セシムヘシ
第五條第二項ノ規定ハ前項ノ期間ニ付之ヲ準用ス

第八條 地方長官必要アリト認ムルトキハ道路管理者ヲシテ道路ニ敷設スル軌道工事及之ヲ爲ス必要ヲ生シタル道路ニ關スル工事ノ全部又ハ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル工事ニ要スル費用ノ負擔ニ付道路管理者及軌道經營者ノ協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第九條 道路管理者道路ノ新設又ハ改築ノ爲必要アリト認ムルトキハ軌道經營者ノ新設シタル軌道敷地ヲ無償ニテ道路敷地ト爲スコトヲ得

第十條 軌道經營者ハ地方長官ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ運輸ヲ開始スルコトヲ得ス

第十一條 軌道經營者ハ旅客及荷物ノ運賃其ノ他運輸ニ關スル料金並運輸速度及度數ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ
主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ運賃、料金、運輸速度、度數又ハ發著時刻ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十二條 軌道經營者ハ軌道間ノ全部及其ノ左右各二尺ヲ限

リ道路ノ維持及修繕ヲ爲スヘシ

地方長官必要アリト認ムルトキハ道路管理者ヲシテ前項ノ維持及修繕ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル費用ノ負擔ニ付テハ第八條第二項ノ規定ヲ準用ス

第九條ノ規定ニ依リ道路敷地ト爲シタルモノニ付テハ第一項ノ維持及修繕ハ道路管理者之ヲ爲スヘシ

第十三條 主務大臣又ハ地方長官ハ監督上必要アリト認ムルトキハ軌道經營者ヲシテ帳簿、書類及圖面ヲ提出セシメ又ハ監査員ヲ派遣シテ軌道ノ設備、事業ノ狀況並會計及財産ノ實況ヲ監査セシムルコトヲ得

第十四條 軌道ノ建設、運輸、運轉、係員及會計ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 軌道經營者ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限リ特許ニ因リテ生スル權利義務ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得

第十六條 軌道經營者ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限リ軌道ノ讓渡又ハ事業若ハ運轉ノ管理ノ委託若ハ受託ヲ爲スコトヲ得

前項ノ管理ノ委託ヲ受ケタル者ハ其ノ管理ニ付主務大臣ニ對シ委託ヲ爲シタル者ト共ニ其ノ責ニ任ス

第十七條 公共團體ニ於テ公益上ノ必要ニ因リ軌道(未々運輸開始ニ至ラサル線路ヲ含ム)ノ全部又ハ一部及其ノ附屬物件ヲ買收セムトスルトキハ軌道經營者ハ之ヲ拒ムコトヲ得

〔大阪土〕

得ス

前項ノ規定ニ依リテ一部買收セラレタル爲殘存線路ノミニ付事業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ軌道經營者ハ殘存開業線路ニ付テハ該線路及其ノ附屬物件ノ買收ヲ求メ未々運輸開始ニ至ラサル殘存線路ニ付テハ其ノ事業廢止ニ因リテ生スル損失ノ補償ヲ求ムルコトヲ得

第十八條 公共團體ニ於テ前條ノ規定ニ依ル買收ヲ爲サムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

公共團體ニ於テ前條ノ規定ニ依ル買收ヲ爲シタルトキハ特許ニ因リテ生スル權利義務ヲ承繼ス

第十九條 公共團體カ第十七條ノ規定ニ依ル買收又ハ補償ヲ爲ス場合ニ於テハ買收價額又ハ補償金額ハ協定ニ依ル協議調ハサルトキハ申請ニ因リ地方鐵道法第三十一條乃至第三十三條ノ二又ハ第三十六條ノ二ノ規定ニ準シ算出シタル金額ヲ標準トシテ主務大臣之ヲ裁定ス

第二十條 公共團體カ第十七條ノ規定ニ依ル買收ヲ爲ス場合ニ於テ公益上ノ必要ニ因リ兼業ニ屬スル資産及軌道經營ニ必要ナル貯藏物品ヲ買收セムトスルトキハ軌道經營者ハ之ヲ拒ムコトヲ得

公共團體カ第十七條ノ規定ニ依ル買收ヲ爲ス場合ニ於テハ軌道經營者ハ兼業ニ屬スル資産及軌道經營ニ必要ナル貯藏物品ノ買收ヲ求ムルコトヲ得

〔大阪土〕

前二項ノ場合ニ於テ買收價額ニ付協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第二十一條 軌道會社ノ株金ノ第一回拂込金額ハ株金ノ十分ノ一迄下ルコトヲ得

軌道會社ハ株金全額拂込前ト雖主務大臣ノ認可ヲ受ケ線路ノ延長又ハ改良ノ費用ニ充ツル爲其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ地方鐵道會社ニ非サル會社カ兼業トシテ軌道ヲ敷設スル場合ニハ之ヲ適用セス

第二十二條 軌道會社ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 左ノ場合ニ於テハ特許ハ其ノ效力ヲ失フ
一 工事施行ノ認可申請期間内ニ認可ヲ申請セサルトキ
二 工事施行ノ認可ヲ受ケサルトキ
三 事業廢止ノ許可ヲ受ケタルトキ

四 特許ヲ受ケタル者會社ノ發起人ナルトキハ工事施行ノ認可申請期間内ニ會社設立ノ登記ヲ爲ササルトキ

第二十四條 軌道經營者軌道ニ關スル工作物ノ使用ヲ廢止シタルトキハ地方長官ノ指示スル所ニ從ヒ道路ヲ原狀ニ回復スヘシ

地方長官必要アリト認ムルトキハ軌道經營者ノ負擔ニ於テ道路管理者ヲシテ前項ノ規定ニ依ル工事ヲ爲サシムルコト

第三類 地方鐵道 軌道 第二章 軌道

第二十五條 本法ニ規定スル主務大臣ノ職權ノ一部ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第二十六條 地方鐵道法第六條ノ二乃至第八條、第十條第二項、第十一條、第十五條、第十七條、第十九條第二項、第二十三條第二項第三項、第二十五條、第二十七條、第三十條乃至第三十六條ノ二、第三十六條ノ四及第三十六條ノ五ノ規定ハ軌道ニ之ヲ準用ス但シ地方鐵道法第七條第二項及第八條中鐵道抵當法トアルハ明治四十二條法律第二十八號トス

第二十七條 軌道經營者カ法令ニ基キテ爲ス命令又ハ特許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 取締役其ノ他ノ役員ヲ解任スルコト
二 他人ヲシテ軌道經營者ノ計算ニ於テ必要ナル施設又ハ事業ノ管理ヲ爲サシムルコト
三 特許ノ全部又ハ一部ヲ取消スコト

前項ノ規定ニ依リテ解任セラレタル取締役其ノ他ノ役員ハ再任セラレルコトヲ得

第一項第二號ノ規定ニ依リ事業ノ管理ヲ爲ス者ハ其ノ管理ニ付主務大臣ニ對シ當該軌道經營者ト共ニ其ノ責ニ任ス

第二十八條 特許ヲ受ケスシテ軌道ヲ敷設シ又ハ認可ヲ受ケ

スシテ運輸ヲ開始シタル者ハ百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條

- 左ノ場合ニ於テハ軌道經營者又ハ其ノ役員若ハ使用人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス
一 前條ノ場合ヲ除クノ外本法ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケヘキ事項ヲ許可又ハ認可ヲ受ケスシテ爲シタルトキ
二 法令ニ基キテ爲シタル命令又ハ特許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ爲シタル命令ニ違反シタルトキ
三 監査員ノ職務ノ執行ヲ妨ケタルトキ
四 法令又ハ法令ニ基キテ爲ス命令ニ依リテ爲スヘキ届出、報告其ノ他ノ書類圖面ノ提出若ハ調製ヲ怠リ又ハ虚偽ノ届出、報告若ハ記載ヲ爲シタルトキ
五 第二十六條ニ於テ準用スル地方鐵道法第六條ノ四第一項ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ同條第二項ノ規定ニ違反シテ後配株主ニ不利益ヲ及ホシタルトキ
非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス
第三十條 前二條ノ規定ハ公共團體力軌道ヲ經營スル場合ニ之ヲ適用セス
第三十一條 本法ハ一般交通ノ用ニ供スル軌道ニ準スヘキモノニ之ヲ準用ス
前項ノ軌道ニ準スヘキモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第三十二條 國ニ於テ軌道ヲ敷設シテ運輸事業ヲ經營セムトスルトキハ當該官廳ハ主務大臣ニ協議ヲ爲スヘシ其ノ工事

〔大阪土〕

施行ニ付亦同シ

國ニ於テ經營スル軌道ニ付テハ第二條、第十二條第一項、第十四條及第二十四條第一項ノ規定ヲ除クノ外本法ヲ適用セシ但シ第十四條中軌道ノ係員及會計ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第一項ノ規定ニ依リ主務大臣ニ協議ヲ了シタルトキハ第四條及第六條ノ規定ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正十二年勅令第五百八號ヲ以テ大正十三年一月一日ヨリ施行)
軌道條例ハ之ヲ廢止ス
舊法ニ依リテ爲シタル特許、認可、處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス但シ其ノ特許、認可其ノ他ノ處分ニ附シタル條件ニシテ本法ニ牴觸スルモノハ其ノ效力ヲ失フ
他ノ法令中軌道條例トアルハ軌道法トス

軌道法施行期日ノ件

大正十二年十二月十九日 勅令第五百八號
軌道法ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
昭和四年法律第六十一號ハ同年十二月五日ヨリ施行(昭和四年十二月四日勅令第三三七號)

軌道法施行規則

大正十二年十二月二十日 內務省令

鐵道省令

改正 昭和四年二月二日、五年六月三〇日 內務省令

- 第一條 軌道ノ特許申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添付スヘシ
一 起業目論見書
二 線路豫測圖
三 建設費概算書(第一號様式)
四 運輸事業ノ收支概算書(第二號様式)
軌道ヲ道路ニ敷設スルコトヲ得サル場合ニ在リテハ其ノ事由書ヲ前項申請書ニ添付スヘシ
第二條 起業目論見書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一 目的(旅客運送、荷物運送ノ別)
二 商號又ハ名稱、主タル事務所ノ設置地
三 軌道事業ニ要スル資金ノ總額及其ノ出資方法
四 線路ノ起終點及併用軌道ノ始終點ノ地名、地番並其ノ經過市町村名
五 軌道ヲ敷設スヘキ道路ノ種類毎ノ延長、一般幅員及計畫幅員
六 線路ノ延長及單線、複線等ノ別
七 軌間及車輛ノ最大幅員
第三類 地方鐵道 軌道 索道 第二章 軌道

〔大阪土〕

八 動力(人力、馬力、蒸汽、電氣等ノ別)、電氣ヲ動力トスルモノニシテ自ラ發電設備ヲ有スルモノニ在リテハ原動力ノ種類(火力、水力ノ別)、他ヨリ電力ノ供給ヲ受ケルモノニ在リテハ供給者名

第三條 線路豫測圖ハ縮尺二萬五千分一以上ノ平面圖トシ線路ノ經過市町村名、地形、一杆毎及單線複線等ノ分界點ノ料程、道路ノ種類並沿線人家連檐ノ狀況ヲ記シ縮尺、方位ヲ示スヘシ
第四條 地方長官特許申請書ヲ受付タルトキハ期限ヲ指定シ軌道敷設ニ關シ關係道路管理者ノ意見ヲ徵スヘシ
道路管理者ハ前項ノ意見ヲ決定スルニ付期限ヲ指定シ道路ニ關スル費用ヲ負擔スル公共團體ノ議會ノ意見ヲ徵スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ期限内ニ意見ヲ答申セサルトキハ直ニ之ヲ處理スルコトヲ得
第五條 地方長官ハ特許申請書ニ左ノ事項ニ關スル調査書ヲ添ヘ特許ノ許否ニ關スル意見ヲ附シ之ヲ進達スヘシ
一 申請者ノ資産及信用程度
二 事業ノ成否
三 事業ノ效果
四 道路管理者ノ意見
五 他ノ鐵道、軌道、索道又ハ自動車等(未開業ノモノヲ

含ム)ニ及ホス影響

六 他ノ鐵道、軌道、索道又ハ自動車等ノ競願アルトキハ其ノ名稱、區間、申請者名及申請書ノ受付年月日

第六條 工事施行ノ認可ヲ受クル前ニ於テ起業目論見書ノ記載事項ヲ變更セムトスルトキハ内務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ商號又ハ名稱、主タル事務所ノ設置地及電力供給者ノ變更ハ之ヲ届出ツヘシ
前項ノ場合ニ於テ記載事項ノ變更カ道路ニ重大ナル關係ヲ有スルトキハ第四條ノ規定ヲ準用ス

第七條 工事施行認可申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

- 一 線路實測圖
- 二 工事方法書
- 三 建設費豫算書(第三號様式)
- 四 特許ヲ受ケタル者會社ノ發起人ナルトキハ定款及會社設立登記簿本

第八條 線路實測圖ハ左ノ三種トス

- 一 平面圖
縮尺ハ二千五百分一以上トシ線路ノ左右各四十米以内ノ地形ヲ明ニシ道路ノ種類、軌道ノ中心線、線路ノ單線複線等ノ分界點ノ行程、道路水路等ノ附換、人家連檐又ハ連檐スヘキ箇所、行政區劃ノ境界、縮尺及方位ヲ示スヘシ

〔大阪土〕

線路ノ中心線ニハ二百米毎ニ行程ヲ記シ曲線ノ半徑、交角、停留場ノ位置、名稱及中心行程ヲ記スヘシ

二 縱斷面圖

縮尺ハ横平面圖ト同一、縱二百分一以上トシ中心線ノ地盤高及施工基面高ヲ二十米毎ニ記シ隧道ノ長、橋梁溝橋ノ徑間及徑間數、桁ノ種類及材質、停留場ノ名稱及中心行程、交通頻繁ナル踏切道並線路ノ勾配ヲ記シ縮尺ヲ示スヘシ

三 軌道ヲ敷設スル道路ノ横斷定規圖

軌道ノ中心、車道歩道ノ區別、横斷勾配、路上建設物ノ位置、車體外有效幅員ヲ記スヘシ

第九條 工事方法書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 動力
- 二 軌間
- 三 單線、複線等ノ別
- 四 軌道中心間隔
- 五 最小曲線半徑及最急勾配
- 六 土工定規(新設軌道ニ限ル)
- 七 橋梁、溝橋
- 八 隧道
- 九 軌條、轉轍器、轍叉及枕木
- 十 停留場

〔大阪土〕

十一 踏切ノ構造(圖面ニ依リ明示スルコト)

十二 他ノ軌道又ハ鐵道トノ交叉方法

十三 閉塞信號機

十四 車輛

十五 特殊設計

電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ前項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 送電系統
 - 二 電氣軌道ノ方式
 - 三 發電所、變壓所、蓄電所及配電所
 - 四 送電線路及饋電線路
 - 五 電車線路
 - 六 電氣機關車及電車
 - 七 軌道ノ動力トシテ他ヨリ電力ノ供給ヲ受ケル場合
(イ) 供給電力ノ電氣方式、最大電壓、容量及受給時間
(ロ) 送電上ノ責任分界點、電氣工作物ノ所有權分界點
(圖面ニ依リ明示スルコト)
 - (ハ) 受電設備ノ大要(圖面ヲ添附シ説明スルコト)
- 地方鐵道法施行規則第十二條ノ規定ハ前二項ニ規定スル事項ノ記載方法ニ之ヲ準用ス
併用軌道ニ在リテハ前三項ニ規定スルモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 道路ノ種類毎ニ區別セル併用軌道ノ延長及其ノ始終點ノ地名、地番

二 軌道ノ構造及道路ノ鋪裝(圖面ニ依リ明示スルコト)

三 軌道ノ排水設備(圖面ニ依リ明示スルコト)

第十條 地方長官工事施行認可申請書ヲ受付タルトキハ軌道工事ニ關シ關係道路管理者ノ意見ヲ徵シ認可ノ可否ニ關スル意見ヲ附シ之ヲ進達スヘシ

第四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 工事施行ノ認可ヲ受ケタル後線路ヲ變更セムトスルトキハ第八條ノ規定ニ準シ線路實測圖(新舊對照圖添附)ヲ、工事方法書ノ記載事項ヲ變更セムトスルトキハ第九條ノ規定ニ準シ變更セムトスル事項ニ關スル工事方法書(停留場ノ變更ニ在リテハ新舊對照圖添附)ヲ作製シ其ノ事由ヲ具シ内務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受ケヘシ
前項ノ認可申請書ニハ工費豫算書ヲ添附シ工費支出ノ途ヲ明ニスヘシ但シ重要ナラサル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第一項ノ場合ニ於テ變更セムトスル事項カ道路ニ重大ナル關係ヲ有スルトキハ第四條ノ規定ヲ準用ス

第十二條 工事施行又ハ前條第一項ノ認可申請書ヲ提出スルトキハ同時ニ軌道敷設ノ爲ニスル道路及河川ノ占用面積圖ヲ地方長官ニ提出スヘシ

工事施行又ハ前條第一項ノ認可アリタルトキハ地方長官其ノ旨ヲ道路又ハ河川管理者ニ通知シ前項ノ占用面積圖ヲ送付スヘシ

第十三條 軌道經營者工事ニ著手シ又ハ之ヲ竣工セシメタルトキハ遲滞ナク地方長官ニ届出ツヘシ

第十四條 地方長官軌道法第八條ノ規定ニ依リ道路管理者ヲシテ工事ヲ執行セシメムトスルトキハ道路管理者及軌道經營者ノ意見ヲ徵シ事由ヲ具シ左ノ書類ヲ添附シ内務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一 工事設計書
二 工費豫算書
三 工費負擔調書
四 道路ニ關スル費用ヲ負擔スル公共團體ノ當該年度歲入出豫算書

第十五條 地方長官前條ノ認可ヲ受ケタルトキハ工事ノ設計、著手及竣功ノ期限並工費豫算書ヲ道路管理者ニ示シ工事ヲ執行セシメ軌道經營者ニ之ヲ通知スヘシ

道路管理者工事ヲ竣功セシメタルトキハ遲滞ナク工事竣功調書及工費精算書ヲ作製シ地方長官ニ報告シ軌道經營者ニ通知スヘシ

〔大阪土〕

第十六條 道路管理者軌道法第九條ノ規定ニ依リ軌道敷地ヲ道路敷地ト爲サムトスルトキハ其ノ事由及區間ヲ記載シ工事設計書ヲ添附シ内務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テハ道路管理者ハ軌道經營者ノ意見ヲ徵シ之ヲ申請書ニ附記スヘシ

第十七條 地方長官運輸開始認可申請書ヲ受付タルトキハ工事ヲ檢査シ支障ナシト認メタル場合ニ限り運輸開始ヲ認可スヘシ

第十八條 第十五條ノ規定ハ軌道法第十二條第二項及第二十四條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十九條 旅客運賃ノ認可申請書ニハ料制ニ在リテハ一料當ノ運賃、區間制ニ在リテハ區間ノ運賃、均一制ニ在リテハ均一運賃及運賃計算ノ方法ヲ記載シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハ料制及區間制ニ在リテハ實測換算中心料程表(第四號様式)營業料程表(第五號様式)及旅客運賃表(第六號様式)ヲ添附スヘシ

第二十條 荷物運賃ノ認可申請書ニハ手荷物、荷物等ヲ區別シ其ノ品種等級ニ依リ料制ニ在リテハ一料當運賃、區間制ニ在リテハ區間ノ運賃、均一制ニ在リテハ均一運賃並運賃計算ノ方法ヲ記載シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

荷物運賃ニ關シ別ニ營業料程ヲ制定セムトスルトキハ其ノ增加割合ヲ前項ノ申請書ニ記載シ其ノ計算方法ヲ附記シ荷物營業料程表(第七號様式)ヲ添附スヘシ

〔大阪土〕

第二十一條 旅客運賃又ハ荷物運賃ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ變更後ニ於ケル收支豫算書ヲ添附シ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十二條 運輸ニ關スル料金ノ認可申請書ニハ其ノ種類及金額ヲ記載シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第二十三條 前四條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運賃又ハ料金ヲ實施シタルトキハ遲滞ナク其ノ月日ヲ鐵道大臣及地方長官ニ届出ツヘシ

第二十四條 運輸速度及度數ノ認可申請書ニハ運輸速度及度數表(第八號様式)ヲ添附シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運輸速度ヲ増加シ又ハ度數ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三類 地方鐵道 軌道 第二章 軌道

前二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル事項ヲ實施シタルトキ及發著時刻ヲ變更シタルトキハ發著時刻表(第八號様式)ノ二)ヲ添附シ遲滞ナク其ノ月日ヲ鐵道大臣及地方長官ニ届出ツヘシ

第二十五條 軌道法第十八條第一項ノ規定ニ依リ買收ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

- 一 買收ノ事由書
- 二 買收物件ノ範圍ニ關スル調書
- 三 買收價格算出説明書
- 四 買收ニ關シ軌道經營者ト爲シタル交渉ノ顛末書
- 五 買收代價支拂ニ關スル説明書(支拂ノ方法、時期)
- 六 買收ニ關スル公共團體ノ議會ノ決議書謄本
- 七 買收後ニ於ケル軌道事業計畫書及收支豫算書
- 八 公共團體ノ當該年度歲入出豫算書

第二十六條 車輛ノ衝突、顛覆其ノ他旅客ニ死傷ヲ生シタル重大ナル運輸事故ハ即時電信、電話又ハ口頭ヲ以テ内務大臣、鐵道大臣及地方長官ニ報告スルノ外七日以内ニ第九號様式ニ依リ内務大臣、鐵道大臣及地方長官ニ之ヲ届出ツヘシ

前項以外ノ事故ハ一月分ヲ取纏メ翌月十五日限り第十號様式ニ依リ鐵道大臣及地方長官ニ之ヲ届出ツヘシ

第二十七條 地方鐵道法施行規則第三條、第八條、第十三條、

第十五條、第二十條、第二十一條、第二十五條第一項第二項、第二十六條乃至第三十三條、第四十五條、第四十六條、第四十八條、第四十九條、第五十一條乃至第五十六條ノ規定ハ之ヲ軌道ニ準用ス但シ監督官廳トアルハ内務大臣及鐵道大臣トス

地方鐵道法施行規則第十八條ノ規定ハ新設軌道ニ之ヲ準用ス但シ監督官廳トアルハ内務大臣、鐵道大臣及地方長官トス

第二十八條 地方鐵道法施行規則第二十條但書ノ場合ニ於テ内務大臣ニ提出スル申請書ニハ地方鐵道ノ車輛ニ限リ機關車ニ在リテハ重量、主要寸法(圖面ヲ除ク)、制動機ノ種類及裝置ヲ、客車及貨車ニ在リテハ車種、軸數、自重、定員、定員一人ニ對スル客室面積、積載容積及荷重、最大寸法、固定輪軸距、制動機ノ種類及裝置並汽動車、電氣機關車及電車ニ關スル事項ヲ記載スヘシ地方鐵道法施行規則第二十六條ノ認可申請ニ付亦同シ

第二十九條 軌道法又ハ本令ノ規定ニ依ル特許、許可及認可申請書並屆書ハ軌道ヲ敷設スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ但シ二府縣以上ニ互リ敷設スル軌道ニ在リテハ事件カ二府縣以上ニ關スル場合ニ限リ其ノ起點所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ
前項但書ノ場合ニ於テ申請書又ハ屆書ヲ受付タル地方長官

〔大阪土〕

ハ關係地方長官ニ商議スヘシ

附則

本令ハ軌道法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正十三年一月一日ヨリ)從來爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之レニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス(諸様式省略)

● 軌道法第一條第二項ノ規定ニ依ル一般交通ノ用ニ供セサル軌道ニ關スル件

大正十二年十二月二十九日 內務省令第四十五號

第一條 一般交通ノ用ニ供セサル軌道ヲ道路ニ敷設セムトスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ
第二條 明治四十三年內務省令第二十七號第一條乃至第五條ノ規定ハ前條ノ許可申請ニ之ヲ準用ス
許可申請書ニハ運輸及信號ニ關スル方法ヲ記載スヘシ
第三條 地方長官第一條ノ許可ヲ爲サムトスルトキハ軌道ノ敷設ニ關シ關係道路管理者ノ意見ヲ徵スヘシ

〔大阪土〕

● 軌道建設規程

大正十二年十二月二十九日 內務省令

鐵道省令

改正 昭和五年六月三〇日 內務省令

第一章 總則

第一條 軌道ノ建設ハ本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第二條 車輛ノ運輸ニ常用スル線路ヲ本線路ト謂ヒ其ノ他ノ線路ヲ側線ト謂フ

第三條 道路上其ノ他公衆ノ通行スル場所ニ敷設スル軌道ヲ併用軌道ト謂ヒ其ノ他ノ軌道ヲ新設軌道ト謂フ

第二章 線路及建造物

第一節 軌間及輪緣路

第四條 軌間ハ直線ニ於テ軌條頭ノ内側ヨリ内則迄ノ距離ニ依リ之ヲ測定ス

第五條 軌間ハ七百六十二耗、一米〇六七、一米四三五ト爲スヘシ

第六條 併用軌道ノ曲線ニ於テ軌間ニ擴張ヲ付スル場合ハ左ノ制限ニ依ルヘシ

一 軌間一米〇六七若ハ一米四三五ニシテ曲線ノ半徑百二十米以下ノモノニ在リテハ二十五耗以内

二 軌間七百六十二耗ニシテ曲線ノ半徑六十米以下ノモノ

第四條 大正八年閣令第十九號專用鐵道規程第三條、第四條、第七條乃至第十條ノ規定ハ本令ニ規定スル軌道ニ之ヲ準用ス但シ監督官廳トアルハ地方長官トス

第五條 軌道法第十二條、第十八條、第十九條及第二十四條ノ規定ハ本令ニ規定スル軌道ニ之ヲ準用ス但シ主務大臣トアルハ地方長官トス

第六條 許可ヲ受ケタル者ハ法令ニ基キテ爲ス命令又ハ許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ許可ノ全部又ハ一部ヲ取消スコトヲ得

第七條 許可ヲ得シテ本令ニ規定スル軌道ヲ敷設シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本令ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令ニ規定スル軌道ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス但シ地方長官ハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ六月ヲ下ラサル期間ヲ指定シ其ノ期間經過後許可ノ效力ヲ失フヘキ旨ヲ告示スルコトヲ得

第三類 地方鐵道 軌道 第二章 軌道

ニ在リテハ十三耗以内

第七條 輪線路ハ車輛ノ輪線ニ對シ適當ノ大サヲ有セシムヘシ
市街地ニ於ケル併用軌道ニシテ交通特ニ頻繁ナル箇所、轉轍器又ハ轍又ヲ設置スル箇所ニ在リテハ溝軌條ヲ用キ若ハ之ニ準スヘキ施設ヲ爲スヘシ

第二節 軌道定規

第八條 併用軌道ハ道路ノ中央ニ之ヲ敷設シ左ニ掲クル車體外有效幅員ヲ存セシムヘシ

道路ノ種類	車道歩道ノ區別アル道路ノ車道各側		車道歩道ノ區別ナキ道路各側	
	兩側人家連櫓又ハ連櫓スヘキ場所	其ノ他ノ場所	兩側人家連櫓又ハ連櫓スヘキ場所	其ノ他ノ場所
特ニ主要ナル街路	八米一八以上	—	—	—
主要ナル街路	四米五五以上	—	—	—
特ニ主要ナル國道	—	—	—	—
主要ナル國道	—	—	—	—
特ニ主要ナル府縣道	三米六四以上	四米五五以上	—	四米一〇以上
主要ナル府縣道	—	—	—	—

〔大阪土〕

縣道及市道
特ニ主要ナル町村道

— 三米六四以上

第九條 街路、特ニ主要ナル國道、主要ナル國道及特ニ主要ナル府縣道ヲ除ク他ノ道路ニ於テハ左ニ掲クル車體外有效幅員ヲ存シ軌道ヲ其ノ一方ニ偏シテ敷設スルコトヲ得

道路ノ種類	車道歩道ノ區別ナキ道路			
	一側ノ連櫓スヘキ場所	一側ノ他ノ場所	一側ノ連櫓スヘキ場所	一側ノ他ノ場所
國道	四米五五以上	二米七三以上	四米五五以上	一米八二以上
主要ナル府縣道	—	—	—	—
及市道特ニ主要ナル町村道	—	—	—	—
府縣道	三米六四以上	一米八二以上	三米六四以上	〇米九一以上
町市村道	—	—	—	—

第十條 本線路ニ於テハ並行セル兩軌道中心間ノ間隔ハ車輛ノ最大幅員ニ四百耗ヲ加ヘタルモノヨリ小ナルコトヲ得ス
本線路ニ於テハ車輛ト中央柱其ノ他ノ工作物トノ間隔ハ二百三十耗ヨリ小ナルコトヲ得ス
本線路ノ曲線ニ於テハ前二項ニ規定スル間隔ハ之ニ兩車輛ノ偏倚スル寸法ヲ加ヘタルモノヨリ小ナルコトヲ得ス

第十一條 併用軌道ニ於テハ軌條間ノ全部及左右各六百十耗

〔大阪土〕

ハ其ノ軌道ヲ敷設スル道路ノ路面ト同一構造トシ軌條間ノ路面ト高低ナカラシムヘシ

第三節 電柱、排水設備及地下工作物ニ對スル防備

第十二條 道路ニ建設スル電柱ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ側柱式ト爲スヘシ
側柱ハ車道歩道ノ區別アル箇所ニ於テハ歩道ノ車道側ニ之ヲ建設スヘシ

第十三條 中央柱式ニ依ル電柱ニハ點燈ノ設備ヲ爲スヘシ
併用軌道ニ於テハ排水ノ設備ヲ爲スヘシ

第十四條 軌道ヲ地下工作物ト交叉又ハ接近シテ敷設スル爲シ其ノ工作物ヲ防護スル必要アルトキハ適當ノ設備ヲ爲スヘシ

軌道ハ人孔、制水瓣等ノ操業ニ障礙ヲ與ヘサル適當ノ距離ヲ存シ之ヲ敷設スヘシ

第四節 曲線及勾配

第十五條 本線路ノ曲線半徑ハ十一米ヨリ小ナルコトヲ得ス
第十六條 本線路ノ勾配ハ千分ノ四十ヨリ急ナルコトヲ得ス

但シ特殊ノ箇所ニ於テハ千分ノ六十七迄ト爲スコトヲ得
停留場ニ於ケル本線路ノ勾配ハ千分ノ十ヨリ急ナルコトヲ得ス

第五節 軌道及橋梁

第三類 地方鐵道 軌道 第二章 軌道

第十七條 軌道及橋梁ノ各部ハ動荷重ニ耐フル負擔力ヲ有スルコトヲ要ス

併用軌道ニ於ケル軌道及橋梁ノ構造ハ前項ニ規定スルモノヲ除クノ外街路ニ係ルモノハ街路構造令、其ノ他ノ道路ニ係ルモノハ道路構造令ノ規定ニ依ルコトヲ要ス

第十八條 新設軌道ノ橋梁ニシテ交通頻繁ナル道路上又ハ水面上ニ架設スルモノニ在リテハ物件ノ墜落ヲ防ク爲車輛ノ全幅員及其ノ兩側各三百耗以上之ヲ蓋フコトヲ要ス

第六節 踏切道

第十九條 軌道ト道路トノ平面交叉ノ交角ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外國道、府縣道及主要ナル市道町村道ニ在リテハ四十五度以上其ノ他ニ在リテハ三十度以上ト爲スヘシ

第二十條 踏切道ハ軌條間ノ全部及其ノ左右各六百十耗ニ木石其ノ他適當ナル材料ヲ敷キ軌條間ト道路間ト高低ナカラシムヘシ
新設軌道ノ踏切道ニハ通行人ノ注意ヲ惹クヘキ警標ヲ設ケ交通頻繁ナル箇所ニハ門扉其ノ他相當ノ保安設備ヲ爲スヘシ

第七節 保安裝置

第二十一條 線路カ本線路ヨリ分岐シ又ハ本線路カ鐵道、軌道ト平面交叉ヲ爲ス箇所ニハ相當ノ保安裝置ヲ爲スヘシ新

設軌道ノ停留場ニ於テ車輛ノ行進ヲ爲スモノニ付亦同シ

第三章 車輛

第一節 裝置

第二十二條 車輛ニハ適當ナル制動機ヲ裝置スヘシ但シ貨車ニ在リテハ特別ノ事由アル場合ニ限り之ヲ省略スルコトヲ得

動力車ニハ手用制動機ヲ裝置スヘシ但シ特殊ノ軌道ニ使用スルモノニ在リテハ手用制動機及動力制動機ヲ備フヘシ

第二十三條 車輛ニハ救助器、擔彈機、音響器及乗務員間ノ合圖器ヲ裝置スヘシ但シ人力又ハ馬力ヲ動力トスル車輛及新設軌道ノミヲ運轉スル車輛ニ在リテハ救助器ヲ裝置スルコトヲ要セス

客車ニハ前項ニ規定スルモノノ外乗降用把手及車窓保護棒ヲ裝置スヘシ二車以上連結スル車輛ニハ彈性ノ緩衝器及聯結器ヲ裝置スヘシ

第二十四條 客車内ニハ點燈ノ設備ヲ爲スヘシ但シ瓦斯燈又ハ電燈ナルトキハ豫備燈ノ設備ヲ爲スヘシ

第二節 車輛

第二十五條 車輪輪鐵ノ幅ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

一 軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ百五耗以上百三十耗以下

二 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ八十五耗以上百十

〔大阪土〕

五耗以下

三 主トシテ溝軌條ヲ使用スル線路ニ在リテハ七十五耗以上百十五耗以下

第二十六條 車輪輪鐵ノ高ハ輪鐵中央ノ踏面ヨリ測リ常ニ左ノ寸法ヲ保タシムヘシ

一 軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ二十二耗以上三十六耗以下

二 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ十九耗以上三十耗以下

三 主トシテ溝軌條ヲ使用スル線路ニ在リテハ十三耗以上二十五耗以下

輪緣ノ厚ハ輪鐵中央ノ踏面ヨリ十耗下位ニ於テ測リ常ニ左ノ寸法ヲ保タシムヘシ

一 軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ十六耗以上

二 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ十三耗以上

三 主トシテ溝軌條ヲ使用スル線路ニ在リテハ十耗以上

第三節 機關車及電車

第二十七條 蒸汽機關車ニハ左ノ裝置ヲ爲スヘシ

一 給水器、驗水器、安全弁各二箇ヲ備フルコト

二 可鍛栓、實用最高汽壓ヲ特記シタル驗壓器各一箇ヲ備フルコト

〔大阪土〕

十三條及第三十五條ノ規定ハ軌道ニ第五條、第六條、第十

六條、第二十條、第二十九條及第三十條ノ規定ハ新設軌道

ニ之ヲ準用ス但シ人力又ハ馬力ヲ動力トスルモノニ在リテ

ハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條 特別ノ事由アル場合ニ於テハ内務大臣鐵道大臣

ハ本令ニ依ラサル設計ヲ命スルコトヲ得

特別ノ事由アル場合ニ於テハ内務大臣鐵道大臣ノ許可ヲ受

ケ前各條ニ規定スル設計ニ依ラサルコトヲ得

附則

本令ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

從來爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ依リテ之ヲ爲

シタルモノト看做ス

●軌道法第二十五條ノ規定ニ依ル職權委任ニ關スル件

大正十二年十二月二十九日

内務省令

鐵道省令

第一條 人力又ハ馬力ヲ動力トスル軌道ニ關スル事項ニシテ左ニ掲クルモノハ之ヲ地方長官ニ委任ス

第三十四條 地方鐵道建設規程第十七條、第二十八條、第三

十一條ノ規定ハ人力又ハ馬力ヲ動力トスル軌道ニ之ヲ適用

セス

第四章 雜則

第三十三條 第五條、第六條、第十條、第二十條第二項、第

二十一條、第二十五條、第二十六條及第二十九條乃至第三

十一條ノ規定ハ人力又ハ馬力ヲ動力トスル軌道ニ之ヲ適用

セス

第三十二條 汽動車ニハ蒸汽機關車及客車ニ關スル規定ヲ準

用ス

第三十一條 客車ノ出入口ノ戸ハ有效開キ五百五十耗以上タ

ルコトヲ要ス乗降臺ノ有效長ニ付亦同シ

第三十條 客車ノ乗降階段ノ蹴上ハ三百八十耗以内、有效蹴

込ハ二百五十耗以上タルコトヲ要ス

第二十九條 客車内ノ面積ハ乗客定員一人ニ付平均零平方米

二八ヨリ小ナルコトヲ得ス但シ起立乗客ニ對スル相當ノ設

備アル場合ニ限り之ヲ零平方米一八迄縮小スルコトヲ得

第二十八條 電氣機關車及電車ニハ左ノ裝置ヲ爲スヘシ

一 自働遮斷器ヲ備フルコト

二 特別ノ場合ヲ除クノ外前後ニ制御器ヲ備フルコト

三 架空線式ノ場合ニ在リテハ避雷器ヲ備フルコト

- 一 工事施行及工事方法ノ變更
- 二 運賃並料金ノ制定及其ノ變更
- 三 運轉速度及度數ノ制定及其ノ變更

前項第一號ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ線路實測圖並動力、軌間、單線複線等ノ別ヲ具シ内務大臣及鐵道大臣ニ、第二號ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ書類並運賃、料金ヲ具シ其ノ處分ノ月日ヲ鐵道大臣ニ報告スヘシ

第二條 人力又ハ馬力ヲ動力トセサル軌道ニ關スル事項ニシテ左ニ掲グルモノハ之ヲ地方長官ニ委任ス

- 一 認可ヲ受ケタル工事方法ノ變更ニシテ左ニ該當スルモノ
 - イ 道路上ニ於ケル軌道中心線ノ變更ニシテ一米以內ナルトキ
 - ロ 道路上ニ於ケル軌道面高低ノ變更ニシテ六十糎以內ナルトキ
 - ハ 道路上ニ於ケル曲線半径ヲ長カラシムルトキ若ハ三十米迄短縮スルトキ
 - ニ 道路上ニ於ケル勾配ヲ緩ナラシムルトキ又ハ千分ノ三十三迄急ナラシムルトキ
 - ホ 道床ニ關スル工事
 - ヘ 軌道ノ排水設備ニ關スル工事
 - ト 枕木ノ寸法ヲ増大シ又ハ枕木敷設間隔ヲ縮小スル工事

〔大阪土〕

- チ 軌條(附屬品ヲ含ム)重量ノ増加
- リ 涉線ニ關スル工事(既認可ノ轉轍器又ハ轍又ト異ルモノヲ使用スル場合ヲ除ク)
- ヌ 既認可ト同一設計ノ轉轍器又ハ轍又ヲ使用スル引込線、側線(避難線及道路上ニ於ケル貨物側線ヲ除ク)及待避線ニ關スル工事
- ル 踏切道ノ改良ニ關スル工事
- ヲ 認可ヲ得タル設計ト同一設計ニ依ル橋梁又ハ溝橋ニ關スル工事
- ロ 停留場ニ於ケル建造物ニ關スル工事(保安設備ヲ除ク)
- カ 併用軌道ニ於ケル停留場ノ新設、名稱、位置及配線ノ變更(既認可ノ轉轍器又ハ轍又ト異ルモノヲ使用スル場合ヲ除ク)
- ヨ 使用期間六箇月ヲ超エサル假線敷設ニ關スル工事
- タ 假線使用期限ノ伸長
- レ 車庫ニ關スル工事
- ソ 電線路(補助歸線ヲ含ム)ノ互長及延長ノ増加ニ關スル工事
- ヅ 饋電方法ノ變更ニ關スル工事
- 二 運轉速度及度數ノ制定及其ノ變更

〔大阪土〕

前項第一號ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ書類及圖面ヲ具シ内務大臣及鐵道大臣ニ、第二號ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ運轉速度及度數表ヲ具シ其ノ處分ノ月日ヲ遲滞ナク鐵道大臣ニ報告スヘシ

附則

本令ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

軌道法施行ニ關スル件

大正十二年十二月二十日
發甲第一一號土木局長通牒

各地方長官宛

今般軌道法施行規則公布相成同規則第十七條第二項、第二十條及第二十四條第三項ノ規定ニ依ル届出ノ處理並同規則第十九條乃至第二十二條ノ規定ニ依ル認可ハ鐵道大臣ノ權限ニ屬セシメラレ候處左記市内ニ敷設スル軌道及其ノ市ニ起點又ハ終點ヲ有スル軌道ニ關シ鐵道大臣カ右處分ヲ爲スニ方リテハ當省大臣ニ合議ノ上決定スルコトニ同省ト協議相整居候條右書類ヲ進達セラルトキハ同時ニ貴官ノ意見ヲ附シ其ノ副本ヲ當省大臣ニ進達候様御取扱相成度

記

東京市、京都市、大阪市、橫濱市、神戸市、長崎市、名古屋市、仙臺市、金澤市、廣島市、吳市、八幡市、鹿兒島市、札

第三類 地方鐵道 軌道 索道 第二章 軌道

幌市、函館市、小樽市、堺市、尼崎市、新潟市、岡山市、下關市、福岡市、門司市、小倉市、若松市(福岡縣)、熊本市、濱松市、豊橋市、岐阜市、静岡市、大牟田市

第三章 索道
● 索道事業規則

昭和二年九月三日
逓信省令第三十六號

第三類 地方鐵道 軌道 索道 第三章 索道

〔大阪土〕

第一條 本令ニ於テ索道ト稱スルハ架空シタル索條鐵線其ノ
似スルモノヲ含ムニ搬器ヲ懸吊シテ運搬ヲ爲ス設備ヲ謂フ

第二條 索道ハ左ノ二種トス
第一種 人又ハ人及物ノ運搬ヲ爲スモノ
第二種 物ノ運搬ヲ爲スモノ

第三條 本令ニ於テ索道事業ト稱スルハ一般ノ需用ニ應シ又
ハ營業トシテ索道ニ據リ運送ヲ爲ス事業ヲ謂フ

第四條 索道事業ヲ經營セムトスル者ハ索道ヲ設備スル地ノ
地方長官警視總監以下地方長官ト稱ス
第五條 前條ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ左ノ書類及圖面ヲ具
備シタル許可申請書正副二通ヲ提出スヘシ

一 起業目論見書

二 線路平面圖

三 建設費豫算書 第一號様式ニ依リ 既設ノ索道ニ據ラムトス
ルモノニ在リテハ其ノ建設費及改築ヲ要スル場合ニハ
其ノ改築費ノ豫算書 第一號様式ニ依
四 事業上ノ收支概算書 第二號様式ニ依リ調製

スヘシ以下之ニ同シ

- 前項ノ許可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ
- 一 第五十條ノ規定ニ依リ設備シタル索道ニ據リ索道事業ヲ經營セムトスルモノニ在リテハ索道設備ニ關スル許可書及其ノ使用ニ關スル認可書ノ謄本
 - 二 電氣ヲ動力トスルモノニシテ自ラ電氣設備ヲ爲サムトスルモノニ在リテハ其ノ施設ニ關スル當該官廳ノ許可書又ハ認可書ノ謄本、未タ其ノ許可又ハ認可ヲ得サルモノニ在リテハ其ノ願書ヲ當該官廳ニ提出中ナル旨ヲ記載セル書面
 - 三 電氣ヲ動力トスルモノニシテ他ヨリ電力ノ供給ヲ受ケルモノニ在リテハ其ノ供給者トノ契約書 受電電力、契約期間其ノ他ノ受電條件ヲ具備ノ謄本
 - 四 會社又ハ組合ヲ設立セムトスルモノニ在リテハ定款又ハ契約書ノ謄本
 - 五 既設ノ會社又ハ組合ノ事業ニ在リテハ定款又ハ契約書及會社登記簿ノ謄本並株主總會若ハ社員又ハ組合員ノ索道事業經營ニ關スル議事及決議ノ要領書
 - 六 公共團體ノ事業ニ在リテハ其ノ團體ノ索道事業經營ニ關スル決議書ノ謄本
 - 七 前三號以外ノ法人ノ事業ニ在リテハ第四號及第五號ニ準シ作製シタル書類

〔大阪土〕

- 第六條 起業目論見書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 目的第一種又ハ第二種ノ區別
 - 二 商號又ハ名稱
 - 三 主タル事務所ノ所在地ハ其ノ所在地方ヲモ記載スヘシ
 - 四 資本金ノ額及其ノ出資方法
 - 五 線路ノ起點、終點、起點、終點トモ道府縣郡市經過地、道縣郡市町村名及互長ヲ記載スヘシ
 - 六 原動力ノ種類
 - 七 原動力設備ノキロワット數
 - 八 事業經營期間
- 第七條 線路平面圖ハ陸地測量部發行ニ係ル五萬分ノ一以上ノ地圖ニ線路及停留場其ノ他重要ナル工作物ノ位置ヲ記入シ之ヲ作製スヘシ
- 第八條 索道事業者第六條第一號又ハ第五號乃至第八號ニ掲クル事項ヲ變更セムトスルトキハ第五條ノ規定ニ準シ關係ノ書類又ハ圖面ヲ具シ地方長官ノ許可ヲ受ケヘシ線路ヲ新設又ハ増設セムトスルトキモ亦同シ
- 第九條 第五條第二項第一號乃至第四號、第五號定款ニ若ハ第七號定款又ハ之ニ準スルモノニ限ル 又ハ第六條第二號乃至第四號ニ掲クル事項ニ變更アリタルトキハ索道事業者ハ遲滞ナク之ヲ

〔大阪土〕

地方長官ニ届出ツヘシ

- 第十條 第四條ノ規定ニ依リ索道事業經營ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ許可申請書ヲ提出ト同時ニ左ノ書類及圖面ヲ具備シタル工事施行認可申請書シテハ正副二通ヲ地方長官ニ提出スヘシ但シ第五條第二項第一號ニ掲グル索道事業者其ノ索道ノ使用ニ付地方長官ノ認可ヲ受ケタルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 一 實測圖
 - 二 工事方法書
 - 三 道路、河川其ノ他公用ニ供スル土地物件ノ使用又ハ占有ニ付行政廳ノ許可ヲ要スルモノニ在リテハ當該行政廳ノ許可書ヲ謄本、未タ其ノ許可ヲ得サルモノニ在リテハ其ノ願書ヲ當該行政廳ニ提出中ナル旨ヲ記載セル書面
- 前項ノ規定ハ索道事業者第八條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケムトスル場合ニ之ヲ準用ス
- 第十一條 實測圖ハ左ノ二種トス
- 一 實測平面圖
- (イ) 縮尺二千分ノ一以上トシ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- (ロ) 線路中心線ノ位置及二百米毎ニ其ノ料程
- (ハ) 停留場ノ位置及其ノ中心料程
- 第三類 地方鐵道 軌道 索道 第三章 索道

- (ハ) 支柱ノ位置
- (ニ) 線路中心線ノ左右各四十米以内ノ地勢、地物、人家、貯藏所、電信電話線、電燈電力線、及行政區劃ノ境界線
- (ホ) 縮尺及方位
- 二 實測縱斷面圖
- (イ) 縮尺二千分ノ一以上、縱五百分ノ一以上トシ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- (ロ) 線路中心線ノ地盤高
- (ハ) 停留場ノ位置
- (ニ) 支柱ノ位置及高
- (ホ) 線路力横斷スル地物ノ位置及高
- 第十二條 工事方法書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 索道ノ方式
 - 二 停留場ノ位置
 - 三 原動機ノ種類及キロワット數
 - 四 索條鐵線其ノ他之ニ類似スルノ種類、大及支持方法

鐵	一六〇	二〇〇	六八〇	八五〇		
松	六〇	七五	六〇	七五	$P = 60 \left(1 - 0.02 \frac{1}{d} \right)$	$P = 75 \left(1 - 0.02 \frac{1}{d} \right)$
檜	五〇	六五	五〇	六五	$P = 50 \left(1 - 0.02 \frac{1}{d} \right)$	$P = 65 \left(1 - 0.02 \frac{1}{d} \right)$
杉	四〇	五〇	四〇	五〇	$P = 40 \left(1 - 0.02 \frac{1}{d} \right)$	$P = 50 \left(1 - 0.02 \frac{1}{d} \right)$

前表中長柱公式ニ於テPハ長柱ノ應力度(一平方糎ニ付)
 距)1ハ主要ナル支點間距離(糎)、rハ斷面ノ最小二次率
 半徑(糎)、dハ斷面ノ最小徑(糎)トス

第一種索道ニ在リテハ支柱ハ鐵構造又ハ鐵筋コンクリート
 構造タラシムヘシ但シ地方長官ノ認可ヲ受ケタルトキハ此
 ノ限ニ在ラス

第一種索道ニ在リテハ索條ノ引留箇所ノ外線路保安用ノ爲
 線路ノ互長一軒以内毎ニ引留支柱ト同一強度ノ支柱一基ヲ
 設ケヘシ

支柱ニハ事業者ノ記號、支柱番號及建設年月ヲ表示スヘシ
 第十六條 搬器ノ下端ハ停留場以外ノ場所ニ於テハ地面ヨ
 リ五米以上ノ高ヲ有セシムヘシ但シ已ムヲ得サル事由ニ因

〔大阪土〕

リ地方長官ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 第十七條 搬器ニ原動機ヲ設備シテ運轉スル索道ニ在リテハ
 搬器ノ衝突ヲ防止スル爲適當ナル信號裝置ヲ設ケヘシ
 第十八條 電信電話線、電燈電力線、鐵道、軌道、道路交通
 ナラサルモ、河川舟運ノ頻繁ナラ等ノ上空ニ索條ヲ架設セ
 ノヲ除クサルモノヲ除ク等ノ制限ニ從ヒ搬器ノ墜落、落貨其ノ他工
 ムトスルトキハ左ノ制限ニ從ヒ搬器ノ墜落、落貨其ノ他工
 作物ノ故障ニ因ル危險豫防ノ保安裝置ヲ爲スヘシ
 一 保安裝置トシテ鐵線網(目十五糎以上、ヲ設ケヘシ
 二 鐵線網ノ大ハ電信電話線、電燈電力線、鐵道、軌道、
 道路、河川等ノ外側ヨリ水平距離ニ於テ一米以上、索
 條ヨリ水平距離ニ於テ二米以上トス
 三 鐵線網ノ高ハ地面ヨリ五米以上、建造物上ヨリ二米

〔大阪土〕

以上トス

前項ノ場合ニ於テ關係管理者ノ要求ニ因リ地方長官ニ於テ
 必要アリト認メタルトキハ一層堅牢ナル裝置ヲ爲サシムル
 コトアルヘシ

電信電話線、電燈電力線、鐵道、軌道、道路交通頻繁ナラ
 除、河川舟運ノ頻繁ナラ等ト接近シテ索道ヲ架設セムトス
 ルトキハ其ノ外側ト索條トノ間ニ水平距離ニ於テ四米以上
 ノ間隔ヲ有セシムヘシ

第一項又ハ前項ノ場合ニ於テハ地方長官ノ認可ヲ受ケテ其
 ノ制限ニ依ラサルコトヲ得
 第一項ノ場合ニ於テハ索道事業者ハ關係管理者ノ立會ヲ求
 ムル爲工事著手三日前迄ニ之ヲ通知スヘシ其ノ既ニ架設シ
 タルモノヲ修理又ハ撤去スル場合モ亦同シ

第十九條 索條ハ人家、危險物貯藏所又ハ公園其ノ他多衆集
 合スル場所ノ上空ヲ通過スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル
 事由アル場合ニ於テ地方長官ノ認可ヲ受ケタル特殊ノ保安
 裝置ニ依ルトキハ此ノ限ニ在ラス

前條第三項及第四項ノ規定ハ前項ニ掲グルモノト接近シテ
 索道ヲ架設セムトスル場合ニ之ヲ準用ス
 第二十條 第一種索道ニハ左ノ設備ヲ爲スヘシ
 一 豫備原動力設備

- 二 不時ノ故障ニ因リ曳索ニ異常ノ張力ヲ生シタル場合ニ
 於テ原動機力自動的ニ運轉ヲ停止スヘキ設備
- 三 支索ノ一條力切斷スルモ搬器ノ墜落スルコトナキ設
 備
- 四 索道ノ不時運轉停止シタル場合ニ搬器ノ所在箇所ニ於
 テ又ハ最近ノ支柱若ハ停留場迄搬器ヲ移動シテ搭乘セ
 ル人ヲ安全ニ下降セシムヘキ裝置
- 五 同一線路ニ屬スル原動機設置箇所、停留場係員ノ駐在
 ヲ除、技術員駐在所、信號所及監視所相互間ニ於ケル
 専用電話設備
- 六 搬器ノ看易キ場所ニ番號、定員又ハ最大積載量及行先
 ノ揭示
- 七 索道係員ニ限リ開閉シ得ル搬器ノ出入口設備
- 第二十一條 索道事業者工事施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ指
 定ノ期間内ニ工事ニ著手シ且之ヲ竣工セシムヘシ
- 第二十二條 天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由アル場合ニ於
 テハ地方長官ハ索道事業者ノ申請ニ因リ前條ノ規定ニ依ル
 期間ノ伸長ヲ認可スルコトアルヘシ
- 第二十三條 索道事業者第十條ノ規定ニ依リ工事施行ノ認可
 ヲ受ケタル後工事方法書又ハ實測圖(第十一條各號イ乃至ハ
 ニ掲グル事項ニ限ル)

ニ記載セル事項ヲ變更セムトスルトキハ第十條ノ規定ニ準シ關係ノ書類又ハ圖面ヲ具シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ
第二十四條 索道滅失又ハ損壞シタルトキハ其ノ復舊工事ニ限り索道事業者ハ第十條ノ認可ヲ受ケスシテ之ニ著手スルコトヲ得

第二十五條 索道事業者ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ索道ヲ使用スルコトヲ得ス
引續キ六月以上索道ヲ使用セザルトキハ更ニ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス
前二項ノ認可ノ申請アリタルトキハ地方長官ハ検査吏員ヲ派遣シ其ノ竣工シタル索道ヲ検査セシメタル上使用認可證ヲ交付スヘシ但シ検査ノ必要ナシト認ムルトキハ直ニ使用認可證ヲ交付スルコトヲ得

第二十六條 索道事業者索道ヲ讓渡シ又ハ索道事業者タル會社合併ヲ爲サムトスル場合ニ於テ讓受人又ハ合併後存續スル會社若ハ合併ニ因リ設立スル會社引續キ索道事業者ヲ經營セムトスルトキハ讓渡又ハ合併ニ關スル契約書ノ謄本、讓受後又ハ合併後ニ於ケル事業上ノ收支概算書及合併ニ因リ會社ヲ設立スルモノニ在リテハ其ノ定款ノ謄本ヲ添ヘ當事者連署ノ上地方長官ノ許可ヲ受クヘシ
前項ノ場合ニ於テ當事者法人又ハ組合ナルトキハ總會其ノ他相當機關ノ議事及決議ノ要領書又ハ社員若ハ組合員ノ同

意書ノ謄本、讓受クヘキ者索道事業者ニ非サル法人又ハ組合ナルトキハ定款及會社登記簿ノ謄本又ハ組合契約書ノ謄本ヲ添付スヘシ
第一項ノ許可ヲ受ケタルトキハ讓受人又ハ合併後存續スル會社若ハ合併ニ因リ設立スル會社ハ讓渡人又ハ合併ニ因リ消滅スル會社ノ本令ニ依リ有スル權利義務ヲ承繼ス
第二十七條 索道事業者ノ相續人引續キ索道事業者ヲ經營セムトスルトキハ遲滞ナク戸籍謄本ヲ添ヘ其ノ旨地方長官ニ届出ツヘシ
前項ノ場合ニ於テハ相續人ハ被相續人カ本令ニ依リ有スル權利義務ヲ承繼ス
第二十八條 索道事業者ハ左ノ場合ニ於テハ遲滞ナク其ノ旨地方長官ニ届出ツヘシ但シ第二號ノ場合ニ於テハ清算人、第八號ノ場合ニ於テハ後見人、第十號ノ場合ニ於テハ戸籍法第七十七條ニ依リ届出義務者ヨリ之ヲ届出ツヘシ
一 法人設立ノ登記ヲ爲シ又ハ組合成立シタルトキ
二 法人又ハ組合解散シタルトキ
三 讓渡又ハ合併ヲ終了シタルトキ
四 工事ニ著手シ又ハ工事竣工シタルトキ
五 事業ヲ開始、休止又ハ廢止シタルトキ
六 停留場ヲ開廢シタルトキ
七 法人又ハ組合ノ代表者ニ異動アリタルトキ

〔大阪土〕

〔大阪土〕

八 事業者禁治産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
九 事業者準禁治産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
十 事業者死亡シタルトキ
前項第五號又ハ第六號ノ場合ニ於テハ索道事業者ハ其ノ旨停留場其ノ他ノ看易キ場所ニ揭示スヘシ

第二十九條 左ノ場合ニ於テハ索道事業者經營ノ許可ハ其ノ效力ヲ失フ但シ第三號又ハ第四號ノ場合ニ於テ天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ地方長官ノ認可ヲ受ケタルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス
一 許可ヲ受ケタル者會社ノ發起人其ノ他法人ノ設立者ナルトキハ指定ノ期間内ニ法人設立ノ登記ヲ爲ササルトキ
二 指定ノ期間内ニ工事ニ著手シ又ハ工事竣工セザルトキ
三 工事竣工後一年以内又ハ使用認可證交付後六月以内ニ事業ヲ開始セザルトキ
四 引續キ六月以上事業ヲ休止シタルトキ
五 事業ノ全部ヲ廢止シタルトキ

第三十條 索道事業者ハ運輸規程ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受ケヘシ之ヲ變更セムトスルトキモ亦同シ
運輸規程ハ停留場其ノ他ノ看易キ場所ニ之ヲ揭示スヘシ
第三十一條 地方長官ハ公益上ノ必要アリト認ムルトキハ運輸規程ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第三十二條 索道事業者ハ正當ノ事由ナクシテ物又ハ旅客ノ運送ヲ拒ムコトヲ得ス
運送物ハ法令又ハ運輸規程ニ別段ノ定ナキ限り之ヲ受取りタル順序ニ依リ運送スヘシ
第三十三條 索道ノ運轉速度ハ一分時百五十米ヲ超ユルコトヲ得ス但シ地方長官ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス
索道ハ風速一秒時二十米ヲ超ユル場合ニ於テハ之ヲ運轉スルコトヲ得ス
第三十四條 第一種索道ニ據ル索道事業者ハ技術ニ關スル事項ヲ擔當セシムル爲主任技術者ヲ選任スヘシ但シ地方長官ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス
索道事業者前項ノ主任技術者ヲ選任セムトスルトキハ履歷書ヲ添ヘ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキモ亦同シ
地方長官ハ主任技術者ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ解任ヲ命スルコトヲ得
第三十五條 索道事業者ハ毎決算期後一月内ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル報告書二通ヲ地方長官ニ提出スヘシ
一 當該決算期ノ事業ノ狀況、收入及支出
二 當該決算期末現在ノ調査ニ依ル財産目録
決算期ノ定ナキモノニ在リテハ每事業年度後一月内ニ前項

ノ規定ニ準シ報告書ヲ提出スヘシ
 事業年度ハ特ニ之ヲ定メサルトキハ毎年一月一日ニ始リ十二月三十一日ニ終ルモノトス
第三十六條 索道事業者ハ工作物ノ故障、搬器ノ墜落、落貨其ノ他ノ事故アリタルトキハ地方長官ニ之ヲ届出ツヘシ
第三十七條 索道事業者ハ搬器及索條、支柱其ノ他ノ工作物ヲ完全ナル状態ニ保持スヘシ
第三十八條 地方長官ハ必要ニ應ジ監査員ヲ派遣シテ工事又ハ設備ノ状態ヲ監査セシムルコトヲ得
第三十九條 地方長官ハ公益上ノ必要アリト認ムルトキハ設備ノ變更、改築又ハ修繕ヲ命スルコトヲ得
第四十條 索道事業者本令又ハ本令ニ基ク命令若ハ處分ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ索道事業經營ノ許可ノ全部若ハ一部ヲ取消シ又ハ運轉ノ停止ヲ命スルコトヲ得
第四十一條 索道事業者索道ノ使用ヲ廢止シタルトキハ地方長官ノ指示スル所ニ從ヒ工作物ヲ撤去スヘシ索道事業經營ノ許可其ノ效力ヲ失ヒ又ハ取消サレタルトキモ亦同シ
第四十二條 第四條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケスシテ索道事業ヲ經營シ又ハ其ノ目的ヲ以テ索道ヲ設備シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
第四十三條 索道事業者左ノ行爲ヲ爲シタルトキハ百圓以下

〔大阪土〕

ノ罰金ニ處ス
 一 第八條、第十八條、第十九條、第二十五條第一項若ハ第二項、第二十六條第一項、第三十七條又ハ第四十一條ノ規定ニ違反スルコト
 二 第十條又ハ第二十三條ニ依リ認可ヲ受クヘキ工事は認可ヲ受ケスシテ著手スルコト
 三 第三十九條又ハ第四十條ニ依ル命令又ハ處分ニ違反スルコト
第四十四條 前二條ノ場合ヲ除クノ外本令又ハ本令ニ基ク命令若ハ處分ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス
第四十五條 索道係員左ノ行爲ヲ爲シタルトキハ百圓以下ノ罰金、拘留又ハ科料ニ處ス
 一 第十條又ハ第二十三條ニ依リ認可ヲ受ケタル運轉速度若ハ搬器ノ最大積載量旅客運送ニ在リテハ定員ノ最小間隔ヲ短縮シテ運轉スルコト
 二 第三十三條第二項ノ規定ニ違反スルコト
 三 物運搬用搬器ニ人ヲ搭乘セシムルコト但シ索道ノ檢査、修繕其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ搭乘セシメタル場合ヲ除ク
 四 前三號ニ掲グルモノヲ除クノ外職務上ノ義務ニ違反シ又ハ之ヲ怠リ旅客又ハ公衆ニ危害ヲ醸ス虞アル行爲ヲ爲スコト

〔大阪土〕

第四十六條 第四十二條乃至第四十四條ノ規定ハ公共團體カ

索道事業ヲ經營スル場合ニ之ヲ適用セス

第四十七條 索道事業者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ

本令ノ罰則ハ之ヲ其ノ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第四十八條 索道事業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ従業員カ其ノ事業ニ關シ爲シタル行爲ニ付自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス
第四十九條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外必要ナル事項ハ地方長官之ヲ定ム

第五十條 索道事業ノ用ニ供スルモノヲ除クノ外索道ヲ設備

セムトスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

第五條乃至第二十五條、第二十七條、第二十八條第一項、第二十九條、第三十三條及第三十六條乃至第四十八條ノ規定ハ前項ノ索道ニ付之ヲ準用ス
第五十一條 本令ハ専用ニ供スル爲一構内ニ於テ設備スル索道及電氣力、蒸氣力又ハ内燃力ヲ原動力トセサル索道ニ之ヲ適用セス但シ地方長官ニ於テ必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ本令ノ全部又ハ一部ヲ之ニ適用スルコト

ヲ得

附則

第五十二條 本令ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五十三條 本令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受クヘキ事項ニシテ

本令施行ノ際現ニ存スルモノハ之ヲ本令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケタルモノト看做ス
 (様式略ス)

● 索道事業ノ許可等ニ關スル件

昭和三年十一月二十七日

鐵道省訓令第二號

索道事業ノ許可等ニ關シテハ昭和二年九月九日遞信省訓令第二號ニ據リ處理スヘシ、但シ索道事業規則第五十條ニ依リ専用索道ニ付テハ稟何ヲ要セス

● 索道事業ノ許可等ニ關スル件

昭和二年九月三日

遞信省訓令第二號

第一條 第一種索道ニ據ル索道事業ニ關シ索道事業規則第四條若ハ第八條ノ許可又ハ同規則第十條若ハ第二十三條ノ認可ノ申請ヲ受ケタルトキハ豫メ本大臣ニ稟何ノ上處分スヘシ

第四類 河川

第三類 地方鐵道 軌道 索道 第三章 索道

第二條 第二種索道ニ據ル索道事業ニシテ二府縣以上ニ跨ルモノニ關シ處分ヲ爲サムトスルトキハ關係府縣知事ニ協議スヘシ但シ他府縣ニ關係ナキ事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テ協議調ハサルトキハ本大臣ニ稟伺ノ上處分スヘシ

第三條 索道事業規則第五十條ニ依ル索道ノ設備ニ關シテモ前二條ニ準シ處理スヘシ

第三類 地方鐵道 軌道 索道(終)

〔大阪土〕

第四類 河川

第一章 總則

- 水路取締規則……………昭和二年一月二日府令九八號……………一
- 堤防取締規則……………明治一八年一月二日府令甲一一九號……………六
- 河川ニ關スル事項打合方ノ件……………昭和七年七月發九一號……………七
- 水利使用取締規則……………大正七年七月府令六三號……………七
- 發電水力以外ノ水力使用ニ關スル件……………明治四五年五月電一五五〇號……………一二
- 河川占用規則、河川内土石砂利其他生産物取締規程、土木工事取締規則其ノ他河川法ニ基ク出願書類ニ關スル件……………大正一五年九月土六三〇四號……………一三
- 官有土石砂利拂下規程……………明治二九年四月府告示一〇〇號……………一六
- 河川内及河川本堤間ノ民有地竝官有附洲等ニテ土石掘取者出願方……………明治二八年七月府令四五號……………一七

○水防ニ關スル件……………大正五年四月内務省訓令四號……………一八

○河川愛護獎勵規程……………昭和八年一〇月府告示七四三號……………一九

○府縣費支辨河川及港灣編入ニ關スル件……………大正一四年七月發土二三號……………二〇

○府費支辨及府費補助ニ屬スル河川港灣等ノ名稱區域……………大正二年五月府告示一二〇號……………二一

○楠根川府費支辨編入ノ件……………昭和八年九月府告示六九一號……………三〇

○古川外一河川府費支辨編入ノ件……………昭和一〇年四月府告示三一九號……………三〇

○公共用財産用途廢止ニ關スル件……………大正一一年六月内務省訓令一一號……………三〇

第二章 施行河川及準用河川共通則

○河川堰堤規則……………昭和一〇年五月内務省令三六號……………三一

○河川敷地内土石砂利及生産物取締規程……………明治三五年四月府令四六號……………六〇

○國道府縣道其ノ他工事用土石砂利採取ニ關スル件……………土木課長通牒……………六〇

○土石砂利拂下願書土木出張所へ送付ノ件……………明治三二年五月一〇三八號……………六〇

〔大阪土〕

〔大阪土〕

○漁業免許ト水面使用許可トノ關係ニ付取扱方ノ件……………明治四四年三月水三一三〇號……………六一

○道路兼用堤防占用許可並ニ占用料徵收ニ關スル件……………大正一〇年一月土四一二七號……………六二

第三章 施行河川

總則

○河川法……………明治二九年四月法律七一號……………六三

○河川法施行規程……………明治二九年六月勅令二三六號……………七一

○河川法ニ依リ河川敷地認定ノ件……………明治四〇年三月府告示四八號……………七二

○淀川派川神崎川區域變更並公用廢止……………昭和二年二月府告示八四號……………七三

○淀川派川神崎川堤防ノ公用廢止並區域認定……………昭和四年三月府告示一四二號……………七三

○淀川派川神崎川區域變更……………昭和一〇年一〇月府告示七三八號……………七四

○淀川派川神崎川區域變更並公用廢止……………昭和一一年一月府告示六六號……………七四

○淀川派川神崎川支川安威川及小支川茨木川區域認定……………昭和一一年六月府告示六一二號……………七四

○淀川支川天野川區域變更並公用廢止……………昭和二年六月府告示二九六號……………七五

○淀川河川區域ノ變更並公用廢止……………昭和四年三月府告示一五七號……………七五

○淀川並淀川支川寢屋川區域變更並公用廢止……………昭和七年三月府告示一五二號……………七五

○淀川派川中津川ノ區域變更並公用廢止……………昭和四年四月府告示二三六號……………七六

○淀川派川中津川區域變更並公用廢止……………昭和四年六月府告示三一七號……………七六

○淀川派川中津川公共物揚場ノ區域變更並公用廢止……………昭和五年三月府告示二二九號……………七六

○淀川派川中津川公共物揚場區域變更並公用廢止……………昭和五年九月府告示八三八號……………七七

○淀川派川中津川區域變更……………昭和六年三月府告示二二七號……………七七

○淀川派川尻無川ノ區域變更並公用廢止……………昭和四年四月府告示二三七號……………七七

○淀川派川木津川ノ區域變更並公用廢止……………昭和四年一月府告示六七七號……………七八

○淀川派川木津川區域變更並公用廢止……………昭和九年七月府告示五二二號……………七八

○淀川支川寢屋川ノ區域認定……………昭和五年五月府告示三九三號……………七九

○淀川支川寢屋川區域變更並公用廢止……………昭和五年五月府告示三九四號……………七九

〔大阪土〕

〔大阪土〕

○淀川支川寢屋川、同芥川區域變更……………昭和五年七月府告示六〇五號……………八〇

○淀川支川寢屋川區域變更並公用廢止……………昭和一〇年八月府告示五八一號……………八〇

○淀川支川水無瀬川區域變更……………昭和六年三月府告示二二八號……………八〇

○新淀川河川區域變更……………昭和七年七月府告示五〇一號……………八一

○淀川小派川正蓮寺川區域變更並公用廢止……………昭和一年四月府告示四七二號……………八一

○河川法施行前ニ私人ノ所有權ヲ認メアル河川ノ敷地取扱方ノ件……………明治三一年六月乙七三號……………八二

○河川法第四條第二項ニ依レル兩府縣ニ跨ル河川附屬物ニ關スル件……………明治三五年六月内務省令一六號……………八二

○淀川支派川ノ認定……………明治二九年一〇月府告示四〇二號……………八三

○淀川派川認定……………昭和六年三月府告示第二二六號……………八四

○淀川派川認定……………昭和六年四月府告示二三八號……………八四

○淀川支川認定……………昭和七年二月府告示一二七號……………八五

○淀川派川神崎川支川及小支川認定……………昭和一年六月府告示六一一號……………八五

○淀川筋毛馬、六軒屋川、西島、傳法閘門、毛馬洗堰、正蓮寺川締切堰堤ヲ河川附屬物ニ認定……………明治四十四年四月府告示一四七號……………八五

○淀川筋毛馬第二閘門、長柄起伏堰ヲ河川附屬物ニ認定……………大正七年四月府告示一二〇號……………八五

○淀川筋長柄運河頭部開閉扉河川附屬物認定……………大正八年五月府告示一三一號……………八六

○淀川筋傳法第二閘門及六軒屋洗堰「サイフォン」河川附屬物認定……………大正一年四月府告示九八號……………八六

○淀川筋堤防河川附屬物認定……………大正一年五月府告示一四四號……………八六

○澱川竝派川中津川河川附屬物認定……………大正一年六月府告示一七〇號……………八七

○澱川竝同支川芥川堤防河川附屬物認定……………大正一二年四月府告示一一四號……………八八

○澱川堤防河川附屬物認定……………大正一三年九月府告示三〇二號……………八八

○澱川護岸共同荷揚場河川附屬物認定……………昭和四年三月府告示一五八號……………八九

○淀川河川附屬物西島、傳法兩閘門ヲ派川新淀川ノ附屬物ニ變更ノ件……………昭和七年七月府告示五〇二號……………九〇

〔大阪土〕

〔大阪土〕

○淀川河川附屬物堤防導流堤ヲ派川新淀川ノ附屬物ニ變更ノ件……………昭和七年七月府告示五〇三號……………九〇

○淀川堤防公用廢止……………昭和八年三月府告示一七六號……………九二

○淀川堤防公用廢止……………昭和一年七月府告示七一五號……………九二

○淀川支川天野川堤防公用廢止竝澱川河川附屬物認定……………大正一年六月府告示一七一號……………九二

○淀川支川天野川堤防河川附屬物認定……………昭和二年六月府告示二九七號……………九三

○六軒屋第二閘門河川附屬物認定……………大正一二年六月府告示二一二號……………九三

○澱川支川水無瀨川堤防河川附屬物認定……………大正一三年九月府告示二八〇號……………九三

○淀川派川神崎川堤防河川附屬物認定……………昭和二年二月府告示八三號……………九四

○淀川派川神崎川堤防河川附屬物認定……………昭和四年三月府告示一四〇號……………九五

○淀川派川神崎川堤防河川附屋物認定……………昭和八年一月府告示八五六號……………九六

○淀川派川神崎川堤防及河川敷公用廢止……………昭和八年一月府告示八五七號……………九七

○淀川派川神崎川河川堤防公用廢止……………昭和九年六月府告示三九七號……………九八

○淀川派川神崎川堤防公用廢止……………昭和十一年一月府告示六七號……………九八

○淀川派川神崎川支川、安威川小支川、茨木川堤防
河川附屬物認定……………昭和十一年六月府告示六一三號……………九九

○淀川支川寢屋川堤防河川附屬物認定……………昭和三年一〇月府告示五四七號……………一〇一

○淀川支川寢屋川及芥川堤防河川附屬物認定……………昭和五年九月府告示八三九號……………一〇二

○淀川支川寢屋川堤防河川附屬物認定……………昭和六年三月府告示一五四號……………一〇四

○淀川支川寢屋川堤防公用廢止……………昭和十一年八月府告示五八二號……………一〇六

○大和川堤防河川附屬物認定……………昭和三年一二月府告示六二〇號……………一〇六

○大和川支川石川堤防河川附屬物認定……………昭和五年一〇月府告示九二八號……………一〇八

○淀川派川尻無川護岸河川附屬物認定……………昭和四年四月府告示二三八號……………一一二

○淀川派川木津川護岸河川附屬物認定……………昭和四年一月府告示六七六號……………一一五

○淀川派川木津川堤防公用廢止……………昭和九年七月府告示五二三號……………一一五

○淀川派川木津川堤防公用廢止……………昭和十一年三月府告示一四四號……………一一六

○淀川小派川正蓮寺川堤防河川附屬物認定……………昭和七年二月府告示八七號……………一一六

〔大阪土〕

〔大阪土〕

○淀川小派川正蓮寺川堤防公用廢止……………昭和十一年四月府告示四七三號……………一一六

○淀川小派川正蓮寺川護岸河川附屬物認定……………昭和十一年四月府告示四七四號……………一一七

○淀川派川新淀川護岸河川附屬物認定……………昭和七年七月府告示五〇四號……………一一七

○淀川支川檜尾川堤防公用廢止……………昭和十一年七月府告示七一六號……………一一九

○淀川及淀川ノ支派川ノ附屬物ト認定シタル堤防ニ
對シ河川法第四條第二項ニ依レル特別命令ノ件……………明治三十三年六月府令三八號……………一一九

河川ノ管理

○河川法第六條但書ニ依リ内務大臣ノ管理ニ屬スル
閘門通航規程……………大正四年二月内務省令一號……………一二〇

○閘門通航時間竝舟筏ノ長、幅及吃水ニ關スル件……………昭和五年三月内務省告示七四號……………一二一

○河川法第六條但書ニ依リ淀川筋附屬物管理維持修
繕ノ件……………昭和六年四月内務省告示八三號……………一二三

○河川法第六條但書ニ依リ淀川筋ノ河川竝ニ其ノ附
屬物ノ維持修繕ノ件……………昭和六年四月内務省告示八四號……………一二三

○河川法ニ依ル許可處分ニ關スル件……………昭和六年八月發土五四號……………一二五

- 淀川筋河川附屬物内務大臣ニ於テ直接管理ノ件……………明治四四年五月府告示一七〇號……………一三五
- 淀川筋毛馬第二閘門、長柄起伏堰及毛馬第一第二閘門前後ノ水路管理並ニ願書提出方ノ件……………大正七年五月府告示一二七號……………一二五
- 淀川筋傳法第二閘門及六軒屋洗堰「サイフォン」ノ管理並願書提出方ノ件……………大正一一年五月府告示一三八號……………一二六
- 内務大臣ニ於テ直接維持管理スル毛馬閘門、毛馬洗堰、長柄起伏堰、運河給水樋門、運河頭部扉ノ區域變更並願書提出方ノ件……………昭和一〇年四月府告示二六二號……………一二六
- 河川管理吏員設置規程……………明治三一年三月府令三一號……………一二七
- 河川監督巡查職務章程……………明治四四年七月府訓二七二號……………一二七
- 河川法及砂防法ニ基ク内務省直轄工事ニ關スル事務取扱方ノ件……………大正一五年四月内務省訓令八號……………一二八
- 水路取締規則……………明治四三年八月府令六八號……………一二九
- 河川法第九條ニ依レル下級行政廳ヲシテ河川ニ關

〔大阪土〕

〔大阪土〕

- スル工事施行又ハ維持ヲ爲サシムル件……………明治三二年五月内務省令一六號……………一三四
- 河川臺帳令……………明治二九年一〇月勅令三三一號……………一三四
- 河川臺帳ニ關スル細則……………大正一〇年一二月内務省令二九號……………一三六
- 河川臺帳縦覽及認可ニ關スル件……………明治三一年八月内務省訓令二六號……………一三八
- 河川臺帳ノ河川平面圖雛形並記號ノ件……………明治二九年一二月甲六四號……………一三八
- 河川臺帳縦覽所ノ件……………明治三一年七月乙發二三號……………一三八
- 河川臺帳縦覽方法ノ件……………明治三一年一月府告示二一二號……………一三八
- 河川ノ使用ニ關スル制限並警察**
- 河川本堤外民有地ニ家屋建設等禁止ノ件……………明治三〇年三月府令二九號……………一三九
- 河川敷地埋立ニ關スル件……………明治三三年一二月乙一四二號……………一三九
- 河川法第十七條、第十八條取扱方ノ件……………明治三五年三月甲三三號……………一四〇
- 砂防法又ハ河川法ニ依リ地租條例ノ開墾ニ該當スル場合取扱方ノ件……………明治四一年六月藏甲二〇〇號……………一四〇
- 電信又ハ電話柱等ノ移轉費用負擔ニ關スル件……………昭和二年八月發甲二五號……………一四一

- 沿岸沿堤及河川附近ノ土地ノ區域ノ件……………明治三四年一月府告示一號……………一四一
- 河川法第十七條及明治三十三年勅令第三百號第四條ノ行爲ニ付許可ヲ受ケントスル者土木工事取締規則準據方……………大正二年六月府令四四號……………一四二
- 河川其ノ他ノ工作物ヲ道路ニ供用ニ關スル件……………大正一〇年一月出土一號……………一四二
- 河川區域ニ認定シタル國有林野占用ノ件……………明治四二年四月土甲七號……………一四二
- 河川法施行ニ係ル河川敷地及流水占用規則……………大正二年四月府令三二號……………一四二
- 河川法施行ニ係ル河川敷地流水及其ノ附屬物占用料ノ件……………昭和一〇年八月府告示六一六號……………一四四
- 淀川ノ支川ト認定セシモノニシテ市町村其ノ他公共團體ニ於テ費用ヲ負擔スル堤防及河川ノ敷地流水占用處分方……………明治三一年五月府令三九號……………一五一
- 中津川筋(長柄運河)占用其ノ他ノ件ハ内務省大阪土木出張所へ照會方ノ件……………大正一二年六月内務省大阪土木出張所照會……………一五一

〔大阪土〕

〔大阪土〕

- 中津川筋長柄運河ニ於ケル河川流水面占用ノ件……………大正一二年七月收一六三號……………一五一
- 淀川支川ニ關スル占用並収益其他取扱規程……………明治三三年一〇月府訓令六三號……………一五二
- 河川法ニ依リ附屬物ト認定シタル堤防等ヲ許可ヲ得ズシテ掘鑿等爲スベカラザル件……………明治三四年六月府令八九號……………一五四
- 河川内生産物拂下規程……………明治三一年六月府告示一〇五號……………一五四
- 明治三十年府令第八十二號ノ河川内ノ土石其ノ他ヲ採取セントスル者ニ關スル件……………明治三三年一〇月府告示一九五號……………一五六
- 洪水防禦準備規程……………大正七年六月府令五六號……………一五六
- 洪水防禦ヲ爲スベキ市町村及公共團體指定……………大正七年六月府告示一六〇號……………一五七
- 河川ニ關スル費用ノ負擔土地所有者ノ權利義務並河川ノ管理ヲ生スル收入等**
- 淀川支川中堤防護岸水利ノ維持修繕費負擔區分ノ件……………明治三〇年六月府令八二號……………一五八
- 淀川支川中堤防護岸水利ノ維持修繕費負擔區分ノ件…………………………一五八

件廢止.....昭和一年七月府令六〇號.....一五九

○河川附帶工事費補助令.....明治三二年四月勅令一二二號.....一五九

○河川法第三十二條第二項ノ補助取扱手續ノ件.....明治三二年五月内務省令二一號.....一六〇

○河川工事費ヨリ補助シタル土木工事竣功認可ニ關スル件.....明治三六年七月内務省令八號.....一六〇

○河川改修附帶工事施行竝ニ設計變更ノ場合ニ關スル件.....大正二年七月土二〇五六號.....一六一

○河川法第四十條ニ依レル補償手續ノ件.....明治三二年七月内務省令三六號.....一六一

○水ノ使用料徴收ニ關スル件.....大正一〇年一二月内務省遞土四號.....一六二

○通航料徴收規程.....明治三三年五月内務省令二八號.....一六二

○廢川敷地處分令.....大正一一年五月勅令三〇三號.....一六三

○廢川敷處分ノ件.....明治三四年六月乙發二三號.....一六四

○公用ヲ廢シタル河川敷地ノ下付及補償金下付ニ關スル件.....明治三五年五月土甲三四ノ四九號.....一六四

〔大阪土〕

〔大阪土〕

○河川附近地制限令.....明治三三年七月勅令三〇〇號.....一六五

○河川法施行ノ河川敷地ニ接續スル民有地ニ於テ家屋等新築増築若ハ改築セムトスルトキ土地所有者ノ心得方.....明治三四年七月府令九九號.....一六六

○河川豫定地制限令.....明治三〇年一〇月勅令三七七號.....一六六

○各廳ニ於テ河川法ニ規定スル行爲ヲ爲ス場合ノ件.....明治四二年二月内務省訓令三號.....一六八

監督及強制

○河川行政監督令.....大正一五年八月勅令二九〇號.....一六八

○河川行政監督令第二條第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ要スルモノノ範圍ニ關スル件.....大正一五年八月内務省令四三號.....一六九

○河川ニ關スル行政監督ノ件.....大正一五年八月發土四三號.....一七〇

○既成河川ニ關スル件.....明治四五年一月四四土三三〇八號.....一七二

○河川法第五十條ニ依レル他ノ團體ニ對シ費用ヲ負擔セシムル件.....明治三二年六月内務省令二二號.....一七三

○河川占用料滯納處分ノ件.....明治四四年一月土二六四二號.....一七四

○ 河川法第五十八條ニ依レル罰則ノ件……………明治三三年四月勅令一四八號……………一七五
附則

○ 河川法同施行規程等ニ依ル告示方法……………明治三二年五月内務省令一三號……………一七五

第四章 準用河川

○ 河川法準用令……………明治三二年一〇月勅令四〇四號……………一七七
○ 河川法準用河川表……………(別表ノ項ヲ参照)
○ 河川法準用河川ノ附屬物及河川附近ノ土地ノ區域
認定ニ關スル件……………大正七年八月發一一三號……………一七七
○ 河川法準用河川採擇標準ノ件……………大正五年三月發土九九號……………一七九
○ 河川法準用河川ノ選擇標準ニ關スル件……………昭和三年七月發土三〇號……………一八一
○ (大和川外六河川)河川法ニ規定シタル事項ヲ準用
スヘキ河川認定ノ件……………明治三四年五月府告示一二一號……………一八三
○ (猪名川外一河川)河川法ニ規定シタル事項ヲ準用
スヘキ河川認定ノ件……………大正六年九月府告示一九七號……………一八四

〔大阪土〕

〔大阪土〕

○ (男里川外十三河川)河川法ニ規定シタル事項ヲ準
用スヘキ河川認定ノ件……………昭和四年一〇月府告示五五一號……………一八四
○ (箕面川外十五河川)河川法ニ規定シタル事項ヲ準
用スヘキ河川認定ノ件……………昭和一年七月府告示六九四號ノ二……………一八五
○ (箕面川外十五河川)河川法準用河川ノ區域ニ河川
法第六條本文並第二十四條第一項ノ規定準用ノ件……………昭和一年七月府令六一號……………一八七
○ (樫井川外二河川)河川法第六條本文並第二十四
條第一項ヲ準用スヘキ河川ノ區域變更ノ件……………昭和一年七月府令六二號……………一八七
○ (石津川)河川法準用河川中河川法第六條及第二十
四條第一項準用ノ件……………昭和一年七月府令六三號……………一八七
○ 河川ノ附屬物ト認定ノ件……………明治三四年六月府告示一四九號……………一八八
○ 猪名川堤防河川附屬物認定ノ件……………大正一五年四月府告示一二五號……………一八八
○ 男里川外六河川堤防ノ河川附屬物認定ノ件……………昭和五年二月府告示一三七號……………一八九
○ 安威川堤防公用廢止ノ件……………昭和七年三月府告示一六六號……………二〇〇

○河川法ニ規定シタル事項ヲ準用シタル河川内ノ土砂採取流水占用若ハ生産物刈取者出願方……………明治三十四年六月府告示一五一號……………二〇〇

○市町村其ノ他公共團體ニ於テ河川ニ關スル費用ノ負擔方ハ明治三十一年府令第三十九號ノ規定準用ノ件……………明治三十四年五月府令六九號……………二〇〇

○市町村ニ於テ其ノ費用ヲ負擔スル河川ノ使用料占用料其ノ他河川ヨリ生スル收益ノ歸屬方……………昭和四年一〇月府令六五號……………二〇〇

○準用河川ニシテ市町村ニ於テ費用ヲ負擔スル河川ニ關スル占用竝ニ收益其他取扱ノ件……………明治三十四年六月府訓令三一號……………二〇一

○明治三十四年府告示第二百二十一號所屬市町村ニ於テ其ノ河川ニ關スル費用ヲ負擔スル河川ノ件……………明治三十四年六月府告示一六九號……………二〇一

○河川法ノ規定ヲ準用スル河川ヨリ生スル收入ニ關スル件……………大正五年六月發土四三號……………二〇二

○土砂轉石拂下代金モ河川ヨリ生スル收入ニ包含ノ

〔大阪土〕

件……………大正六年四月新土四四號……………二〇二

〔大阪土〕

第五章 河川法ヲ施行又ハ準用セサル河川

○河川法ヲ施行若ハ準用セサル河川又ハ港灣ニ關スル件……………大正一一年五月内務省訓令六號……………二〇三

○河川港灣ニ關スル處分稟伺方ノ件……………大正一一年五月發土九七號……………二〇四

○河川道路港灣等ニ關スル處分稟伺ノ場合取扱方ノ件……………大正元年一二月土一三二四號……………二〇四

○河川指定ノ件……………大正一一年五月内務省告示一三二號……………二〇五

第六章 雜

○大阪府共同荷揚場使用規則……………昭和一〇年五月府令三八號……………二〇七

○大阪府共同荷揚場使用規則第一條ニ依ル共同荷揚場ノ位置、區域……………昭和一〇年八月告示六一四號……………二〇八

- 第十條 船舶ハ濫リニ並列若ハ競争シテ航行スベカラズ
- 第十一條 船舶航行中行違ヒ難キ場合ハ水流ニ適行スル船舶ニ於テ避讓スベシ
- 第十二條 船舶航路ヲ横切ラントスルトキハ安全ナルコトヲ確メタル後航行スベシ
- 第十三條 船舶ハ他船及沿岸工作物ニ危害ヲ及ボスノ虞アル速度並ニ方法ヲ以テ航行スベカラズ
- 第十四條 船舶ハ左ノ各號ノ場所ニ於テハ徐行スベシ
 - 一 渡船場附近
 - 二 航路ノ交叉セル場所
 - 三 航路ノ曲角
 - 四 橋梁下
 - 五 前各號ノ外交通上危險ヲ生ズル虞アル場所
- 第十五條 船舶ハ航行中帆又ハ積荷等ノ爲進路ヲ見透シ難キトキハ見張人ヲ置クベシ
- 第十六條 河川及運河ニ於テハ帆走スベカラズ但シ安治川築地渡下流、淀川毛馬開門上流、新淀川、木津川落合下ノ渡下流、尻無川福崎渡下流及神崎川ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第十七條 船舶ハ錨ヲ船胸ニ垂下スベカラズ
總噸數百噸以上ノ船舶河川及運河航行中ハ投錨準備トシテ左舷錨ヲ水面下ニ垂下シ置クベシ
- 第十八條 船舶衝突其ノ他事故ヲ生ジタルトキハ直ニ停船ス

〔大阪土〕

〔大阪土〕

- 第二十三條 原動機ヲ用ヒテ航行スル船舶ハ航路ノ曲角又ハ前方ヲ見透シ難キ場所ニ於テハ汽笛、汽角、號角其ノ他ニ依リ長聲一發ノ發聲信號ヲ爲シ曳船中ハ長聲一發ニ續ク短聲二發ノ發聲信號ヲ爲スベシ
- 第二十四條 本令ニ定ムルモノノ外船舶ノ航法、船燈、信號ニ關シテハ海上衝突豫防法ノ定ムル所ニ依ル
- 第四章 碇泊、繫留
- 第二十五條 船舶碇泊シタルトキハ看守ヲ怠ルベカラズ
- 第二十六條 船舶ハ橋梁、標柱、檢潮器及其ノ保護杭ニ繫留シ又ハ之ニ障害ヲ及ボス虞アル行爲ヲ爲スベカラズ
- 第二十七條 船舶ハ左ノ各號ノ場所ニ繫留スベカラズ但シ警察官吏ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
 - 一 航路
 - 二 水路ノ交叉セル場所ノ曲角
 - 三 橋梁下
 - 四 入津料取立所前
 - 五 渡船場及消防船又ハ救命艇碇泊所附近
- 第二十八條 共同荷揚場前ニハ現ニ貨物積卸中ノ船舶ノ外ハ繫留スベカラズ但シ他船ノ貨物積卸ノ障害トナラザルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 第二十九條 船舶ハ繫留中ノ他船ヲ航路ニ突出セシムル虞アル方法ニ依リ繫留スベカラズ

ベシ
前項ノ場合ニ於テ人ヲ傷害シ又ハ物件ヲ損壞シタルトキハ直ニ被害者ノ救護其ノ他適當ナル措置ヲ爲シ雙方遲滞ナク其ノ旨所轄警察署ニ届出ツベシ

第三章 船燈、信號

- 第十九條 船舶夜間航行中ハ海上衝突豫防法第十條ニ規定スル白燈ヲ船尾ニ掲グベシ但シ同法第七條ノ船舶ハ相當ノ光カヲ有スル白色燈ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
海上衝突豫防法第七條第三號、第四號ニ該當スル船舶夜間航行中ハ同條第三號ニ規定スル燈火ヲ其ノ前方ニ掲グベシ但シ手漕ボート、傳馬船ノ類ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第二十條 曳船水路ノ狀況ニ依リ海上衝突豫防法第三條ニ規定スル橋燈ヲ上下ニ連掲シ難キ場合ハ之ヲ橋燈ノ位置ニ相當ノ間隔ヲ保チ水平ニ掲グルコトヲ得
- 第二十一條 船舶ハ碇泊中海上衝突豫防法第十一條ノ規定ニ依リ碇泊燈ヲ掲グベシ但シ原動機ヲ用フル五噸未満ノ船舶及櫓權ノミヲ以テ運航スル船舶ニシテ航路ニ接近セザルモノハ此ノ限ニ在ラズ
- 第二十二條 汽船及帆船轉回スルトキハ晝間ニ在リテハ見易キ箇所ニ國際信號旗Rヲ、夜間ニ在リテハ前橋ノ頂部ニ周圍ヲ照射スベキ紅燈一箇ヲ掲グベシ但シ總噸數二十噸未満ノモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 交通保全ノ爲必要アリト認ムルトキハ區域又ハ期間ヲ定メ船舶ノ碇泊ヲ制限スルコトアルベシ
前項ノ制限ヲ爲シタルトキハ告示ス

第五章 水路ノ保全

- 第三十一條 水路ニ土石、石炭殻、塵芥、油類及之ヲ含ム淤水其ノ他交通上支障ヲ生ズル虞アル物件ヲ投棄スベカラズ
- 第三十二條 水路ニ於ケル難破船其ノ他交通上支障ヲ生ズルノ虞アル物件ハ所有者又ハ占有者ニ於テ速ニ之ヲ除去スベシ
- 前項ノ難破船其ノ他ノ物件ニハ水面上ニ晝間ハ赤旗、夜間ハ赤色ノ燈火ヲ掲出シ除去シ終ル迄之ヲ保持スベシ
- 第三十三條 船舶ハ法令ニ規定スル場合ヲ除クノ外濫リニ汽笛、汽角又ハ號角ヲ吹鳴スベカラズ
- 第三十四條 船舶ハ船體不相當ナル人員又ハ物件ヲ搭載スベカラズ但シ分割スベカラザル物件ニシテ出發地所轄警察署ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 第三十五條 水路ニ於テ左ノ各號ノ行爲ヲ爲サントスルトキハ其ノ目的、方法、期間及區域又ハ場所ヲ具シ所轄警察署長ノ許可ヲ受クベシ
 - 一 總噸數二十噸以上ノ船舶ヲ解體、修繕、休航、艤裝等ノ爲五日以上繫留セントスルトキ
 - 二 神輿渡御又ハ川施餓鬼ノ類ヲ爲サントスルトキ

第四類 河川 第一章 總則

三 競漕其ノ他ノ催物ヲ爲サントスルトキ
四 前各號ノ外交通上支障ヲ生ズルノ虞アル行爲ヲ爲サン
トスルトキ

第三十六條 水路ニ於テ左ノ各號ノ行爲ヲ爲サントスルトキ
ハ其ノ目的、方法、期間及區域又ハ場所ヲ具シ所轄警察署
ニ届出ヅベシ

一 總噸數二十噸以上ノ船舶ヲ上架又ハ進水セントスルト
キ

二 難破船其ノ他ノ物件ノ引揚作業ヲ爲サントスルトキ
第三十七條 他ノ法令ニ基キ水路占用ノ許可ヲ受ケタル者ハ
其ノ目的、區域、期間及占用者ノ住所氏名ヲ見易キ個所ニ
標示スベシ

第三十八條 船舶ハ他ノ船舶又ハ建造物ニ爲口類ヲ鈎シテ航
行スベカラズ

第三十九條 大阪市及堺市ノ水路ニ在リテハ游泳場以外ノ場
所ニ於テ游泳スベカラズ

第六章 曳航

第四十條 船舶ヲ曳航セントスルトキハ他船ノ運航ヲ妨害セ
ザル様相當ナル速度ヲ保持シ且左ノ制限ニ依ルベシ

一 淀川天滿橋上流ニ在リテハ小型船(テントウ船、銀
先船上荷船及之ニ類スル船舶並ニ手漕ボート、傳馬船ノ
類ヲ謂フ以下之ニ倣フ)ハ十隻以内船鑑札規則適用船、

〔大阪土〕

猪牙船、達磨船及之ニ類スル船舶ハ五隻以内總噸數二十
噸以上ノ船舶ハ一隻

二 新淀川及神崎川(西島間門筋ヲ除ク)ニ在リテハ小型船
船ハ五隻以内船鑑札規則適用船、猪牙船、達磨船及之ニ
類スル船舶ハ三隻以内總噸數二十噸以上ノ船舶ハ二隻以
内

三 淀川天滿橋下流、堂島川又ハ土佐堀川ヲ經テ安治川口
ニ至ル間、木津川、尻無川臨港鐵道橋下流、岩崎運河、木
津川運河及三軒家堀割紡績大橋下流ニ在リテハ小型船
ハ三隻以内船鑑札規則適用船、猪牙船、達磨船及之ニ類
スル船舶ハ二隻以内總噸數二十噸以上ノ船舶ハ一隻

四 西道頓堀川深里橋下流、寢屋川、三十間堀川、中津川、
六軒屋川、傳法川、正蓮寺川、長堀川、東横堀川(九之
助橋以南ヲ除ク)、天保山運河、大正運河、千歲運河、八
幡屋運河及住友堀割ニ在リテハ小型船ハ二隻以内船鑑
札規則適用船、猪牙船、達磨船及之ニ類スル船舶ハ一
隻

前項第四號ノ河川運河ニ於テ總噸數二十噸以上ノ船舶ヲ曳
航セントスルトキハ出發地所轄警察署長ノ許可ヲ受ケベシ
第四十一條 前條以外ノ河川、運河ニ於テ一時曳航セントス
ルトキハ左ノ事項ヲ具シ出發地所轄警察署長ノ許可ヲ受ケ
ベシ

〔大阪土〕

第四十四條 曳航ニ依ラザル筏ノ運航ハ長十五米、幅二・五
米ヲ超ユルコトヲ得ズ

第四十五條 安治川ニ於テハ曳航ニ依ルノ外筏ヲ運航スベカ
ラズ

第四十六條 筏ヲ五日以上繋留セントスルトキハ目的、期間
及區域ヲ具シ所轄警察署長ノ許可ヲ受ケベシ

第四十七條 第三條、第四條第一項、第五條乃至第十三條、
第十八條、第十九條第一項但書、第二十六條、第二十七條、
第二十九條、第三十條及第三十八條ノ規定ハ之ヲ筏ニ準用
ス

第八章 罰則

第四十八條 第二條ノ規定ニ基キ禁止又ハ制限ニ違反シタル
者、第三條、第十條、第十八條、第二十六條乃至第二十八
條、第三十一條、第三十二條、第三十五條、第三十八條及
第四十條乃至第四十六條ノ規定ニ違反シタル者ハ拘留又ハ
科料ニ處ス

第四十九條 第四條乃至第六條、第七條第二項、第八條、第
九條、第十一條乃至第十七條、第十九條、第二十一條乃至
第二十三條、第二十五條、第二十九條、第三十四條、第三十
六條、第三十七條及第三十九條ノ規定ニ違反シタル者又ハ
第三十條ノ規定ニ基キ制限ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス
第五十條 前二條ニ規定セル違反行爲ヲ教唆又ハ幫助シタル

第四類 河川 第一章 總則

三 澁川(安治川ヲ除ク)木津川中口町南端上流、新淀川、
神崎川、尻無川臨港鐵道橋下流中ノ渡ニ至ル間、岩崎運
河、木津川運河及千歲運河ニ在リテハ筏ノ長二十米、幅
四米以内

前項以外ノ河川ニ於テ筏ヲ曳航セントスルトキハ出發地所
轄警察署長ノ許可ヲ受ケベシ但シ筏ノ長十五米、幅二・五
米ヲ超ユルコトヲ得ズ

二 尻無川中ノ渡下流ニ在リテハ筏ノ長四十米、幅四米以
内

一 木津川中口町南端下流、三軒家堀割紡績大橋下流、三
十間堀川及大正運河ニ在リテハ筏ノ長六十米、幅四米以
内

第四十三條 船舶ニ依リ筏ヲ曳航セントスルトキハ他船ノ運
航ヲ妨害セザル様相當ナル速度ヲ保持シ且左ノ制限ニ依ル
ベシ

第七章 筏

第四十二條 船舶河川運河内ニ於テ他船ヲ曳航スルトキハ曳
船ト被曳船トノ間隔ヲ十米以内ニ保持スベシ

一日 時

二 航行區域

三 被曳船ノ種類、船數及其ノ最大積量

前項ノ許可ヲ受ケタル者ハ曳船航行中許可證ヲ携帯スベシ

第四類 河川 第一章 總則

者ハ正犯ニ準シ之ヲ處罰ス

附則

- 第五十一條 第三十五條第三號ノ規定ハ沿岸海上ニ之ヲ適用ス
第五十二條 本令ハ昭和十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

堤防取締規則

明治十八年十二月二十三日 甲第百十九號

改正 明治三十四年八月府令第一〇八號

堤防取締規則別紙ノ通相定明治十九年一月一日ヨリ施行シ本則ニ抵觸スル從前ノ布達指令等ハ同日限り廢止ス

- 第一條 本則ニ於テ堤防ト稱スルハ官有ノ河港堤防ヲ云フ但民有地ト雖モ其修繕費地方稅支辨又ハ補助ニ係ルモノハ本文ニ準ス
第二條 堤防ニ於テハ左ノ諸件ヲ禁ス但公用又ハ使用地内ニ於テ特別許可ヲ受クルモノハ此限ニアラス
一 土石ヲ掘取ル事
二 開作ヲナシ又ハ竹木ヲ栽培スルコト
三 芝ヲ剥取ルコト
四 牛馬ヲ繫グコト

〔大阪土〕

〔大阪土〕

本慣例ニ依リ出願スヘシ

河川ニ關スル事項打合せ方ノ件

昭和七年七月一日 發第九一號土木局長通牒

大阪府知事宛

當省ニ於テ改修計畫調査中ノ河川及調査終了後未ダ改修起工ニ至ラサル河川ノ調査區域内又ハ其ノ上流若ハ支流川等ニ於ケル河川ニ關係アル工事(貴官限リ處理スヘキ事件)ニシテ調査區域内ノ水理ニ影響ヲ及ボスヘシト御認相成候モノニ就テハ計畫調査上ノ都合モ有之候ニ付御處理ノ際一應設計圖書類ヲ添ヘ當局ヘ御打合相成度

追テ本文河川及調査區域左記ノ通ニ有之候

Table with 2 columns: 河川名, 區. Rows include 大和川, 石川, 右岸大阪府南河内郡國分村, etc.

水利使用取締規則

大正七年七月一日 大阪府令第六十三號

第四類 河川 第一章 總則

- 五 竹木其他石類ヲ堆積スルコト
六 塵芥及土砂瓦礫其他汚穢物ヲ投棄スルコト
七 木竹等ヲ建設シ堤防ノ害トナルヘキ乾シ物ヲナスコト
八 家屋又ハ假小屋船繫枕等ヲ建設スルコト
九 舟又ハ筏ヲ引キ堤腹ヲ通行スルコト
十 根圍關板等ヲ破却シ又ハ堤敷ヲ掘鑿シ幅員ヲ狹ムルコト
十一 鷄豚又ハ家鴨等ヲ放養スルコト
十二 官有樹木及官設ノ標杭等ヲ傷害スルコト

第三條 削除

第四條 使用ヲ允許シタル場所ト雖モ水利妨害若クハ官用ノ節ハ直チニ返地セシメ又ハ停止スルコトアルヘシ但返地セシメタルトキハ其内ニアル竹木石等ハ速ニ取除キ元形ニ復スヘシ

第五條 使用允許ノ場所破損スルトキハ使用主ヨリ其旨戸長役場ヘ届出ヘシ其使用主ノ不注意ヨリ生スル損所ノ修繕ハ使用主ニ於テ自辨スヘシ

第六條 削除

第七條 本則第二條第四條第五條ニ違背シタルモノハ違警罪ノ刑ニ處セラルヘシ

附則

本則ニ掲ケサル者ニシテ從前府廳ノ允許ヲ受ケタル事項ハ尙

第一條 發電ノ原動力ニ供スル水力發生ノ爲河川其ノ他公有水面ノ水ヲ使用セントスル者ハ左記各號ノ事項ヲ具備シタル書類三通ニ保證金ヲ添ヘ直接當廳ヘ出願許可ヲ受クヘシ但シ公共團體ニ於テ出願スル場合ハ保證金ヲ要セス

一 起業ノ概要

- (一) 起業者ノ住所社名
(二) 起業者ノ住會社ナルトキハ其ノ社名

(二) 起業ノ目的

Table with 2 columns: 電氣供給事業, 電氣供給事業, etc. Lists various types of electrical and water supply projects.

(三) 取水河川

取水河川及放水河川ノ位置(他ノ公有水面ヲ含ム以下同シ)名

- (四) 使用水量 (每秒時何立方尺)
- (五) 有效落差 (曲尺ニテ示スコト)
- (六) 馬力數 (使用水量及有效落差ヨリ計算シタル理論馬力數) 及發電力 (キロワット數)
- (七) 水ノ使用期間

二 水路工事

- (一) 水路一覽圖

縮尺五萬分ノ一トシ堰堤、取水口、位置、開渠、發電所、放水口等ノ位置ヲ記載シ、附近ニ於ケル流域境界、他既許可ノ水利事業アルトキハ其ノ位置ヲ記入スルコトヲモテ、又ハ河水ノ調整池ヲ設ケルモノニアリテハ其ノ位置ヲ記載スルコト
- (二) 水路豫測斷面圖

縮尺六千分ノ一以上縱二百分ノ一以上トシ、堰堤、取水口、發電所、開渠、發電所、放水口、其ノ他主要工物ノ位置、取水口及發電所附近ニ於ケル最高水位、平水位、最低水位ヲ記入シ、基準水位、最低水位、測量部ノ水準標ニ準據スルコト
- (三) 堰堤及水路ノ定規圖

縮尺ハ適宜トシ、形狀、材質及構造ノ大要ヲ示スコト
- (四) 取水河川ノ狀態及勾配、取水方法ノ大要、使用水量決定ノ理由、水

〔大阪土〕

(四) 計畫說明要

路斷面算定ノ方法、水車ノ種類、切取盛土法、面ノ保護及處理方法、止メ方、ハ調整池ヲ設ケルモノニテハ其計畫ノ大要ヲ記載スルコト

三 取水河川ノ水量測定

- (一) 流域面積 (方里ヲ以テ示スコト)
- (二) 取水口附近ニ於ケル流量及其ノ測定ノ方法、時期、並測定場所ノ橫斷面圖

縮尺適宜トシ、湯水低水及最高水位ヲ記入シ、湯水測定ハ數種ノ方法ニ依リ可成湯水時ニ於テ數回之ヲ行フコト

四 起業ト治水其ノ他公益事業トノ關係

- (一) 灌溉其ノ他既許可ノ水利事業ニ及ホス影響並之ニ關スル施設ノ大要

- (二) 舟筏ノ通航、流木及漁業ニ及ホス影響並之ニ關スル施設ノ大要

舟筏ノ通航或ハ流木ノ慣行ナシ若ハ漁業ノ權利ナシ又ハ堰堤ニ舟筏ノ路若ハ魚道ヲ設ケルノ類

〔大阪土〕

- (三) 名勝舊蹟等ニ及ホス影響並之ニ關スル設備ノ大要
- (四) 取水口堰堤ノ爲洪水時ニ於ケル水面ノ隆起ニ起因スル影響ノ程度並之ニ關スル設備ノ大要

洪水時ニ於ケル水面ノ隆起、堰堤ニ於テ何尺嵩水ノ影響約何間何橋ヲ高ムル計畫等ノ類

- (五) 貯水池設置ニ因リ流出水量ニ増減ヲ來タス結果取水河川ノ下流ニ於ケル用悪水路並舟筏ノ通航及流木ニ及ホス影響ノ程度並之ニ關スル施設ノ大要

- (六) 放水口ヲ他ノ河川ニ設ケル場合關係河川ノ治水及水利上ニ及ホス影響ノ程度並之ニ關スル設備方法ノ大要

五 工事費概算書(第一號様式ニ據ル)

第二條 前條ニ依ル許可ヲ受ケタル工事ヲ實施セントスル

一 水路實測圖

- (一) 平面圖

縮尺六千分ノ一以上トシ、水路ノ中心線、測點番號、水路及附帶工物ノ位置ヲ記入シ、附近ノ地形ヲ明カナラシムヘシ
- (二) 縱斷面圖

縮尺六千分ノ一以上縱二百分ノ一以上トシ、測點番號、基準線(高ハ可成陸地測量部水準ニ準據スルコト)ノ距離、遮加距離、地盤高、計測水位、土ノ高、水路低面ノ高、計測水位

第四類河川 第一章總則

(三) 橫斷面圖

(水面勾配ヲ記入スルコト) 並實測平面圖ニ示シタル水路及附帶工物ノ位置等ヲ記入シ、取水口及放水口ニハ最高水位、平水位、最低水位ヲ記入スルコト

二 構造圖

- (一) 堰 堤 (流木路、舟筏路、魚道、土砂吐等ヲ含ム) 取水口、沈砂地、土砂吐、餘水路、制水門、隧道、開渠、木樋、水路管、水路橋、水槽、放水路、水壓管、吸出管、水車、發電所並貯水池、河水ノ調整池等ノ構造圖

縮尺適宜トシ、構造ノ適否ヲ判定スル爲必要ナル水位ハ之ヲ記入スルコト

- (二) 水路開設ニ伴ヒ施設スヘキ各種工物ノ構造圖

縮尺適宜トシ、構造ノ適否ヲ判定スル爲必要ナル水位ハ之ヲ記入シ、尚ルニシタル新舊工物トノ關係ヲ明カニシタル平面圖及斷面圖ヲ添付スルコトヲ特ニ之ヲ記載スルコト

(三) 工事説明書

水路選定ノ理由、水路實測圖及構造圖ニ示シタル各種工事設計ノ要領(算式ヲ以テ計算シタルモノハ其ノ順序ヲ添付スルコト)工事施行ノ順序ヲ添付スルコト)工事量ノ計算ヲ各箇所ノ面積及土砂拾場圖ヲ添付シテ示スルコト)等ヲ記載シテ明シ付テハ、地質ノ説明ヲ添付スルコト)ハ其成績表(試験ヲ行ヒタルモノ)ハ其成績表ニ於ケル水面ノ隆起及洪水ノ影響ヲ圖示スルコト)貯水池及河水ノ調整池ヲ設クル場合ニハ貯水容量(立方尺)トシ其ノ計算書ヲ添付スルコト)及其ノ使用方法ヲ記載スルコト)

(四) 工事算書費

工事費概算書中水路工事費ニ關スル各費目ヲ細別シ工事種類ノ長、數量、單價、金額及工法ノ摘要ヲ示スコト但シ特種ノモノニ付テハ別ニ設計書ヲ添付スルコト

- 第三條 前二條ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケタル後其ノ記載事項ヲ變更セントスルトキハ許可又ハ認可ヲ受ケヘシ
- 第四條 第一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ追加脱退若ハ除名等ヲ爲サントスルトキハ認可ヲ受ケヘシ
- 第五條 本則ニヨリ與ヘラレタル許可ニ依リテ生スル權利義務ヲ他ニ移サントスルトキハ許可ヲ受ケヘシ

〔大阪土〕

- 第六條 本則ニ依リ與ヘラレタル工事ノ爲他ニ障害ヲ與ヘ又ハ與ヘントスル虞アルトキハ許可ヲ受ケタル者ヲシテ其ノ障害ヲ除去セシメ又ハ豫防スル爲必要ナル施設ヲ命スルコトアルヘシ
- 第七條 公益上必要ト認ムルトキハ許可ヲ取消シ又ハ工事ノ改築變更ヲ命シ若ハ原形ニ復セシムルコトアルヘシ
- 第八條 保證金ハ總工費額百分ノ一ニ相當スル現金又ハ國債證券ヲ以テ納付スヘシ
- 第九條 前項ノ保證金ハ許可ノ處分ヲ爲シタルトキ之ヲ還付ス
- 第十條 第一條乃至第四條ニ違背シ又ハ虚偽ノ方法ヲ以テ許可ヲ受ケタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス
- 第十條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本令ニ違背シタル場合ニ於テハ本令ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用ス
- 法人ヲ罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

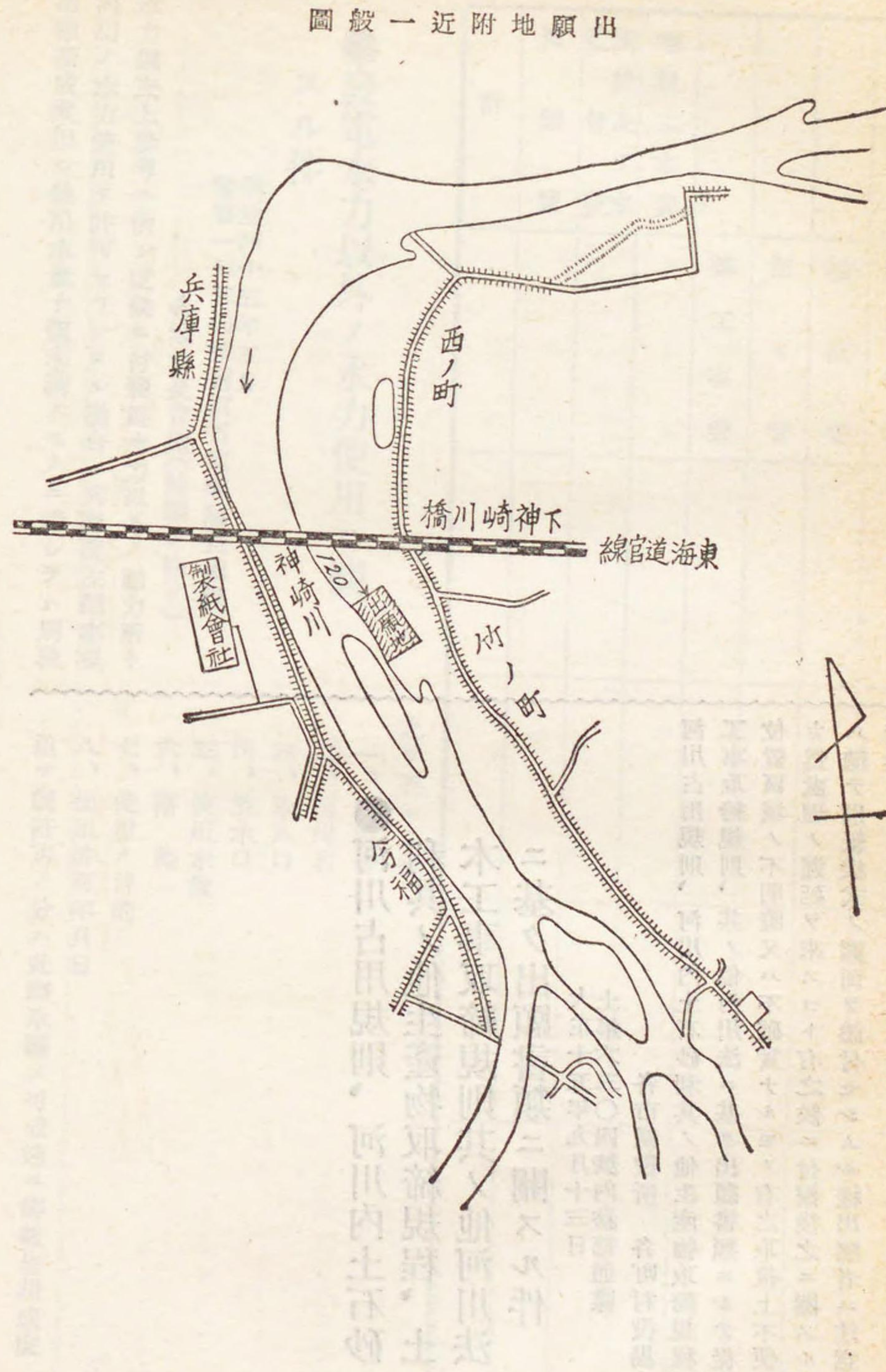
附則

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

工事費概算書(様式)

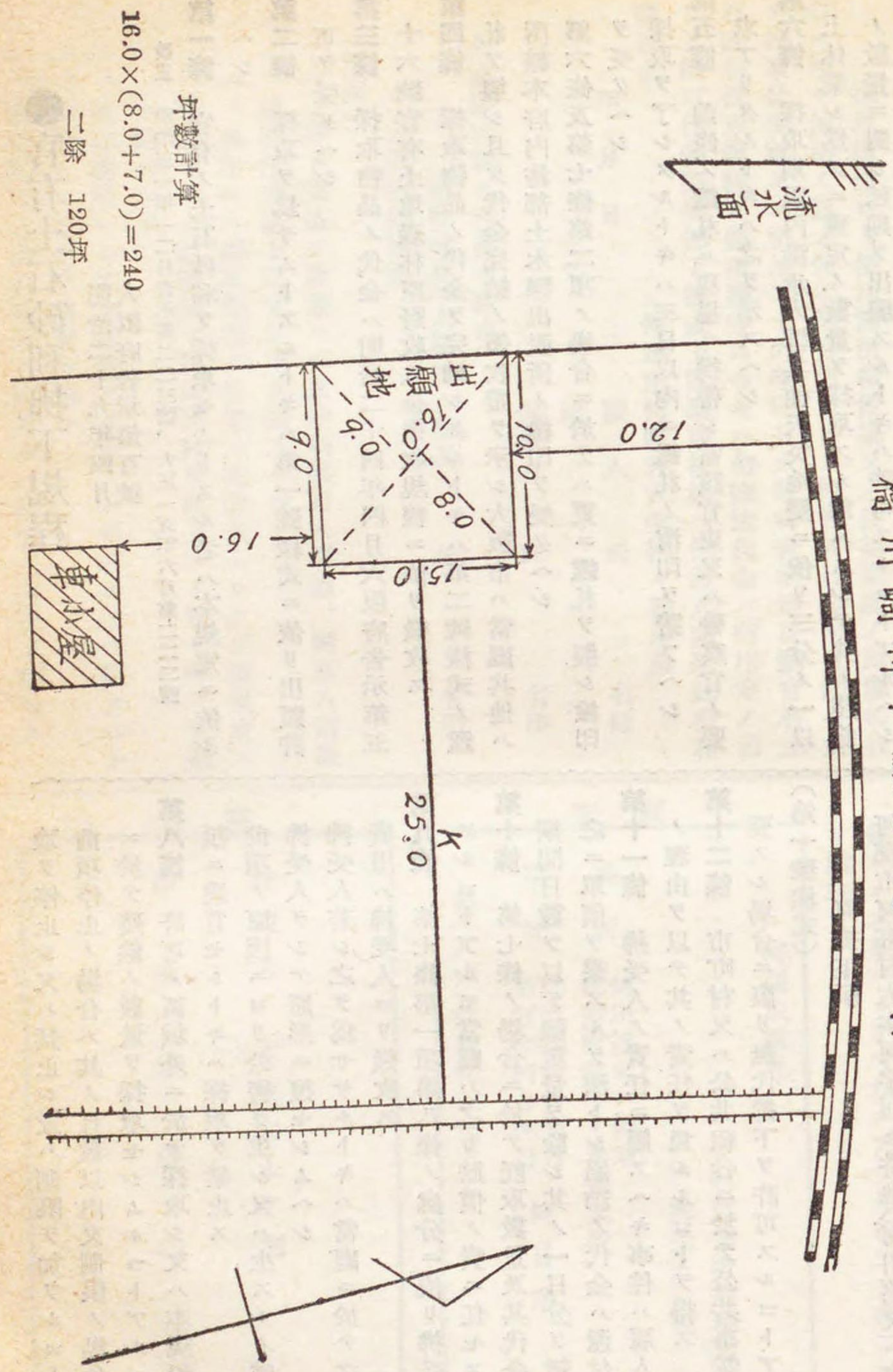
〔大阪土〕

項目	目	數量	單價	金額	摘要
創立費					
水路工事費	用地費				
	堰堤費				
	取水口費				
	開渠費				
	隧道費				
	餘水吐、土砂吐其他水路附屬工事費				
	水槽費				
	鐵管費				
	放水路費				
	掘鑿土砂處理費				
水車費					



橋川崎神下線官道海東

〔大阪土〕



官有土石砂利拂下規程

明治二十九年四月
大阪府告示第百號

改正 明治三十二年二月告示第二三號、大正三十五年六月第二三號
第一條 官有ノ土石砂利ヲ採取セムトスル者ハ本規定ニ依ルヘシ

第二條 採取ヲ爲サムトスルトキハ第一號様式ニ依リ出願許可ヲ受ケヘシ

第三條 採取物品ノ代金ハ明治二十四年四月大阪府告示第五十六號官有土地森林原野收入金徵收規程ニ依リ徵收ス

第四條 採取物品ノ代金ヲ完納シタルトキハ第二號様式ノ鑑札ヲ製シ且ツ代金完納ノ領收證ヲ示シ大阪府ハ當廳其他ハ所轄本府内務部土木課出張所ノ檢印ヲ受ケヘシ

第六條及第七條第二項ノ場合ニ於テハ更ニ鑑札ヲ製シ檢印ヲ受ケヘシ

採取ヲ了シタルトキハ三日以内ニ鑑札ノ消印ヲ請フヘシ

第五條 前條ノ鑑札ハ現場ニ携帶シ當該官吏又ハ警察官ノ要求アリタルトキハ之ヲ示スヘシ

第六條 採取期限内洪水大雪其他天災地變ニ依リ三分ノ一以上休業シ爲メニ豫定ノ數量ヲ採取スル能ハスシテ其ノ殘餘ノ數量ニ對シ延期ヲ出願スルトキハ許可スルコトアルヘシ

第七條 採取期限内ト雖モ公害アルヲ發見スルトキハ其ノ採取

〔大阪土〕

取ヲ停止シ又ハ禁止シ或ハ制限ヲ加フルコトアルヘシ
前項停止ノ場合ハ其ノ日數以内又制限ノ場合ハ其制限以外ニ於テ殘餘ノ數量ヲ採取セシムルコトアルヘシ

第八條 許可ノ區域外ニ於テ採取シ又ハ本規程其他命令ノ條項ニ違背セシトキハ採取ヲ禁止ス

前項ノ原因ニヨリ公害ヲ生シ又ハ生スルノ虞レアルトキハ拂受人ヲシテ原形ニ復セシムヘシ

拂受人若シ之ヲ爲ササルトキハ當廳ニ於テ之ヲ施行シ其ノ費用ハ拂受人ヨリ徵收ス

第九條 第七條第一項第八條ノ處分ニ依リ拂受人ニ損失ヲ生スルコトアルモ當廳ハ之ヲ賠償ノ責ニ任セス

第十條 第七條ノ場合ニ於テ既取數量及其代金ヲ算定スルハ期間日數ヲ以テ總數量ヲ除シ其ノ一日分ヲ經過日數ニ乘シ之ニ單價ヲ乘スルヲ法トシ過納ノ代金ハ還付スルモノトス

第十一條 拂受人ノ責任ニ屬スヘキ事件ハ雇人ノ行爲タリトノ理由ヲ以テ其ノ責任ヲ免ルルコトヲ得ス

第十二條 市町村又ハ公共組合ニ於テ公共事業ノ爲メ採取ヲ要スル場合ニ限り無代拂下ヲ許可スルコトアルヘシ

〔第一號様式〕
何拂下願
何郡市何町村大字何字何々番地(何川筋又ハ何山等)

一、何 何程

〔大阪土〕

〔第二號様式〕
鑑札ハ木製ニシテ寸法ハ人夫用豎三寸横二寸 船用ハ豎四寸横三寸トス

何採取鑑札

何郡市町村番地
拂受人 氏 名

何採取鑑札
何郡市町村番地
拂受人 氏 名

何採取鑑札
何郡市町村番地
拂受人 氏 名

何採取鑑札
何郡市町村番地
拂受人 氏 名

何採取鑑札
何郡市町村番地
拂受人 氏 名

何採取鑑札
何郡市町村番地
拂受人 氏 名

何採取鑑札
何郡市町村番地
拂受人 氏 名

何採取鑑札
何郡市町村番地
拂受人 氏 名

何採取鑑札
何郡市町村番地
拂受人 氏 名

何採取鑑札
何郡市町村番地
拂受人 氏 名

但採取使用人夫何人又ハ容積何合船何艘

採取箇所ヨリ使用箇所積置場又ハ陸揚場迄ノ距離何程右ハ何々使用ノ爲メ何年何月何日ヨリ何月何日迄何日間ニ於テ採取仕度就テハ明治二十九年四月大阪府告示第百號官有土石砂利採取規程ノ條項遵守スヘキハ勿論該代金ハ御指定ノ通り上納可仕候間御拂下被成下度圖面相添ヘ保證人連署此段相願候也

何郡市何町村大字何々番屋敷
年 月 日
願 人 氏 名印
同 保 證 人 氏 名印

前書願出候ニ付奥印候也

市町村長(大阪市ハ區長) 氏 名印
大阪府知事宛

(注意)

- 一、拂下物品ノ數量ハ土及砂利栗石ハ坪數、轉石ハ個數並徑何寸以上何寸以下ト記スヘシ
- 一、圖面ニハ採取箇所ノ位置(堤防及ケレツプ橋梁或ハ道路ヨリノ距離等)區域間數及掘上ケノ深サ等ヲ明細ニ記スヘシ

- 一、採取箇所ニシテ地番號アルモノハ字名ノ下ニ記スヘシ
- 一、保證人ハ管内在籍者ニ限ル
- 一、市町村又ハ公共組合ノ願書ニハ保證人連署ヲ要セス

第四類 河川 第一章 總則

●河川内及河川本堤間ノ民有地
並官有附洲等ニテ土石掘取者

出願方

明治二十八年七月四日
大阪府令第四十五號

河川内及河川本堤間ノ民有地並官有附洲等ニテ土石ヲ掘取
ラントスルモノハ當廳ノ允許ヲ受ケヘシ
違フ者ハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ貳拾錢以上壹圓
貳拾五錢以下ノ科料ニ處ス

●水防ニ關スル件

大正五年四月十四日
内務省訓令第四號

洪水氾濫ノ虞アル地方ニシテ未ダ水防ニ關スル施設ノ完カラ
サルモノニ在リテハ市町村、市町村組合、町村組合又ハ水害
豫防組合ヲシテ其ノ土地ノ狀況河川ノ狀態等ニ鑑ミ大體左ノ
標準ニ依リ水防施設ヲ完備セシムルト共ニ之ヲ監督指導ニ努
メ以テ水害豫防ノ實績ヲ擧グルコトヲ期スヘシ
一 地域廣潤其ノ他特別ノ事情アルモノニ對シテハ適宜水防
區ヲ設ケシムヘシ
二 水防ノ必要アル公共團體ニ對シテハ左ノ設備ヲ爲サシム
ヘシ

〔大阪土〕

〔大阪土〕

一 水防夫 水防長以下ノ命ヲ承ケ水防ニ從

事スル者

若干名

九 毎年一回若ハ數回水防員ヲシテ水防方法ノ練習ヲ爲サシ
ムヘシ

水防ノ方法及練習ニ關スル規定ハ當該公共團體ニ於テ之ヲ
定メ知事ノ認可ヲ受ケシムヘシ

十 水防ノ監督指導ノ爲メ官吏吏員ノ分擔區域ヲ定ムヘシ

十一 明治二十七年二月勅令第十五號消防組規則ニ依リ水防
組ヲ設ケ又ハ消防組ヲシテ水災警防ノ事務ヲ兼ネシムルヲ
適當トスルモノニ在リテハ前各項ノ趣旨ニ準シ相當ノ施設
ヲ爲サシムヘシ

●河川愛護獎勵規程

昭和八年十月十一日
大阪府告示第七百四十三號

第一條 本規定ニ於テ河川ト稱スルハ河川法ノ適用又ハ準用
アル河川並ニ府費ノ補助ヲ以テ維持管理スル普通河川ヲ謂
フ

第二條 知事ハ毎年一回以上本規程ニ基キ河川又ハ附屬物ニ
關シ功勞顯著ナル者ニ對シ河川愛護表彰審査會ノ議ヲ經テ
之ヲ表彰ス

河川愛護表彰審査會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

一 貯藏小屋
一 材料及器具

一 洪水標

三 貯藏小屋ハ堤防延長凡五百間乃至千間毎ニ堤防又ハ其ノ
附近ニ之ヲ設置セシムヘシ

四 材料及器具ハ知事ニ於テ其ノ種類及數量ヲ定メ之ヲ藏置
セシムヘシ

五 洪水標ニハ警戒水位ヲ表示シ出水ノ虞アルトキハ豫メ水
防長ニ於テ選定シタル水防員ヲシテ之ヲ監視セシメ警戒水
位ニ達シタルトキハ速ニ水防ノ準備ヲ爲サシムヘシ

六 材料及器具並洪水標ハ出水期前官吏吏員ヲ派遣シテ檢閱
セシムヘシ

七 水防上警戒ヲ要スル場合ニハ水位ヲ時々下流公共團體ニ
順次通報セシムヘシ

八 水防ノ必要アル公共團體一ハ左ノ水防員ヲ置カシムヘシ

一 水防部長 水防事務ヲ掌理スル者 一名

一 水防部長 水防長ノ命ヲ承ケ水防事務ヲ分
擔スル者 若干名

一 水防組頭 水防部長ノ命ヲ承ケ部下ヲ指揮
シ水防ニ從事スル者 若干名

一 水防小頭 水防組頭ヲ助ケ水防組頭故障ア
ルトキハ之ニ代ル者 若干名

第三條 本規程ニ依リ表彰ヲ行フ場合左ノ如シ
一、河川又ハ其ノ附屬物ノ維持改善ニ當リ自費又ハ勞務ヲ
提供シテ其ノ施行ヲ援ケ功勞顯著ナル者
二、河川又ハ附屬物ノ美化作業又ハ美化運動ニ奉仕シ功勞
顯著ナル者
三、河川ニ關スル法令ノ周知ニ努力シ又ハ右法令ニ違反ス
ル行爲ヲ防止スル爲違反者ヲ摘發スル等河川管理ノ事務
ニ特殊ノ援助ヲ與ヘ功勞顯著ナル者
四、天災其ノ他ノ災害ニ際シ河川ニ關スル公害防止ノ爲功
勞顯著ナル者
五、河川ニ關シ治水上又ハ利用上特殊ノ研究ヲ遂ゲ有益ナ
ル意見ヲ發表シタル者
六、其ノ他河川ニ關シ功勞顯著ナル者

第四條 前條各號ノ一ニ該當スルモノアリト認ムル者ハ知事
ニ表彰ノ審査ヲ申告スルコトヲ得

第五條 市町村長、土木出張所長又ハ河港課長ヲ經由ス
ベシ但シ大阪市内ニ在リテハ河港課長ヲ經由スベシ

第六條 市町村長、土木出張所長又ハ河港課長ハ前條ノ申告
ヲ受理シタルトキハ十日以内ニ之ニ副申書ヲ添ヘ知事ニ申
達スベシ

第四類 河川 第一章 總則

第七條 河港課長ハ第四條ノ申告ノ有無ニ拘ラズ第三條各號ノ一ニ該當スルモノヲ調査シ之ヲ河川功勞臺帳ニ登載整理スベシ

第八條 本規程ニ依ル表彰ハ左ノ四種トス

- 一、表彰狀ノ授與
- 二、表彰狀並ニ表彰物品ノ授與
- 三、表彰狀並ニ表彰金ノ授與
- 四、表彰狀、表彰物品並ニ表彰金ノ授與

●府縣費支辨河川及港灣編入ニ

關スル件

大正十四年七月八日
發土第二三號土木局長通牒

各府縣知事宛

河川法ヲ施行シ又ハ同法第二十四條第一項ノ規定ヲ準用シ若ハ大正十一年五月當省訓令第六號第四條ノ規定ニ依リ府縣費支辨河川及港灣編入方稟請ノ場合ニ於テハ爾今左記圖書類添附相成度
追テ大正八年九月八日發第二六四號通牒ハ自然消滅ノ義ト御承知相成度

府縣費支辨河川及港灣編入ニ關スル稟請ノ際添附スヘキ圖書類

〔大阪土〕

河川

- 一 現在ノ府縣費支辨河川及新ニ府縣費支辨ニ編入セントスル河川ノ區域ヲ色別セル管內圖
- 二 府縣費支辨河川ニ編入セントスル區域ニ於ケル灌溉區域(紅色)及水害區域(青色)ヲ明記セル陸地測量部發行五萬分一地形圖(陸地測量部發行五萬分一地形圖ノナキ箇所ハ適當ナル圖面ヲ使用ノコト)
- 三 府縣費支辨河川ニ編入セントスル詳細ナル理由書
- 四 現在府縣費支辨河川ト新ニ府縣費支辨ニ編入セントスル河川及權衡上將來府縣費支辨河川ニ編入ノ必要アルヘキモノトノ比較ニ關スル圖書
- 五 新ニ府縣費支辨河川ニ編入スル結果増額スヘキ河川ノ經費
- 六 新ニ府縣費支辨ニ編入セントスル河川ノ左記事項ニ關スル調査表
 - 1 河川名(幹支派川ノ區別ヲモ掲グルコト)
 - 2 編入區域及其ノ航路ノ延長
 - 3 編入區域ノ堤防ノ延長
 - 4 編入區域ニ於ケル休止ヲ要スル箇所ノ延長
 - 5 灌溉段別
 - 6 氾濫段別
 - 7 其ノ他河川ノ狀態

〔大阪土〕

●府費支辨及府費補助ニ屬スル河川港灣等ノ名稱區域

大正二年五月五日
大阪府告示第百二十號

- 七 出水時ニ於テ鐵道、道路其ノ他ノ交通機關及市街地ニ及ボス影響
- 八 新ニ府縣費支辨河川ニ編入セントスル區域ニ於ケル既往十ヶ年間各年度ノ維持修繕費、改修費、水害復舊費及各年ノ水害損耗額
- 九 新ニ府縣費支辨河川ニ編入セントスル河川カ支派川又ハ本川ノ上流部ナル時ハ其ノ本川トノ治水上ノ關係ヲ記載セラル圖書

改正 大正三年八月告示第一六〇號、一二月第二七八號、五年五月第一二八號、一三年八月第二四一號、昭和三年一〇月第五四八號、五年八月第七二五號
參照 大正九年四月告示第一三四號、昭和十一年七月府令第六〇號、第六一號、第六二號、第六三號
府費支辨及府費補助ニ屬スル河川港灣等ノ名稱區域左記ノ通り相定ム
左ニ掲グル河川ノ堤防費ハ府費ヲ以テ支辨ス

淀川	城攝國界下流海口ニ至ル但シ安治川及水無瀬川ノ内三島郡島本村大字山崎鐵橋下流繪尾川ノ内同郡大冠村大字東天川中堤橋下流穗谷川ノ内北河内郡牧野村大字下島字金田(明治橋下流長三百七十七間)下流天野川ノ内同村大字禁野字番ノ阪下流ヲ包含ス
木津川	大阪市西區土佐堀通り五丁目以下海口ニ至ル
神崎川	西成郡中島村大字江口下流海口ニ至ル但シ天竺川ノ内豊能郡庄内村大字牛立字牛立墓地下流ヲ包含ス
中津川	西成郡豊崎町大字北長柄下流海口ニ至ル
芥川	左岸三島郡清水村大字服部字西ノ川原第千三百四十九番ノ一地先 右岸三島郡清水村大字服部字小山谷第千四百四十番地先 以下淀川落合ニ至ル

第四類 河川 第一章 總則

寢屋川	左岸北河内郡豊野村大字秦字マシツカ第四十七番地先 右岸北河内郡豊野村大字秦字イノウチ第二百三十二番地先 以下淀川落合ニ至ル
猪名川	豊能郡細河村大字古江下流神崎川ニ至ル但シ千里川ノ内同郡南豊島村大字原田下流ヲ包含ス
尻無川	大阪市西區松島仲ノ町一丁目以下海口ニ至ル
大和川	和河國界下流海口ニ至ル但シ中河内郡堅下村下流大字高井田谷川鐵橋下流ヲ包含ス
石川	南河内郡長野村大字長野下流大和川ニ至ル但シ南河内郡道明寺村大字國分鯉尾堤、同郡古市村大乗橋下流西川堤及同村大字古市小字開キ宮附田境界ニ達スル堤ヲ包含ス
大津川	牛瀧川榎尾川合流所下流海口ニ至ル
男里川	菟砥川山中川合流所下流海口ニ至ル
茨木川	左岸三島郡安威村大字安威字山西佐保川合流點ヨリ同郡宮島村大字島字外島安威川合流點ニ至ル 右岸三島郡福井村大字中河原字東河原勝尾寺川合流點ヨリ同郡三宅村大字太中字開キ安威川合流點ニ至ル
安威川	左岸三島郡三宅村大字太田字橋詰太田橋ヨリ同郡味生村大字新在家字川田茨木川合流點ニ至ル 右岸三島郡安威村大字安威字川向太田橋ヨリ同郡宮島村大字島字外島茨木川合流點ニ至ル
牛瀧川	左岸泉南郡山直町大字新在家 右岸泉南郡山直町大字小倉 以下大津川落合ニ至ル
榎尾川	左岸泉北郡南池田村大字浦田 右岸泉北郡南池田村大字和田 以下大津川落合ニ至ル
榎井川	左岸泉南郡上ノ郷村大字母山 右岸泉南郡日根野村大字日根野 以下海ニ至ル

〔大阪土〕

〔大阪土〕

東條川	左岸南河内郡中村大字神山字トノホバ橋詰金剛橋ヨリ同郡石川村大字山城字大西石川合流點ニ至ル 右岸南河内郡中村大字神山字畑田橋詰金剛橋ヨリ同郡石川村大字山城字大西石川合流點ニ至ル
恩智川	左岸中河内郡三野郷村大字福万寺字味福榮橋ヨリ北河内郡住道村大字三箇字三ノ割北堤寢屋川合流點ニ至ル 右岸中河内郡三野郷村大字福万寺字矢福榮橋ヨリ北河内郡住道村大字三箇字三ノ割中島寢屋川合流點ニ至ル
久安寺川	左岸豊能郡細河村大字伏尾字影淵新千代橋ヨリ同郡同村大字木部字陽田猪名川(池田川)合流點ニ至ル 右岸豊能郡細河村大字伏尾字坂川垣内新千代橋ヨリ同郡同村大字古江字南河原猪名川(池田川)合流點ニ至ル
檜尾川	左岸三島郡五領村大字萩ノ庄檜尾川橋ヨリ同郡大冠村大字東天川中堤橋ニ至ル 右岸三島郡磐手村大字下檜尾川橋ヨリ同郡大冠村大字東天川中堤橋ニ至ル
天野川	左岸北河内郡川越村大字山ノ上笹原橋ヨリ同郡牧野村大字禁野番ノ坂ニ至ル 右岸右同斷
箕面川	自豊能郡箕面村今井橋 至兵庫縣縣界
千里川	自豊能郡櫻井谷村内田明治橋 至猪名川合流點
天竺川	自豊能郡中豊島村大字服部 至神崎川合流點
佐保川	自三島郡福井村大字福井福井橋 至同郡同村茨木川合流點

勝尾寺川	自三島郡豐川村道祖本加治屋橋 至同 郡福井村茨木川合流點
女瀨川	自三島郡高槻町西垣内東海道線鐵橋 至同 郡同 町芥川合流點
北川	自北河内郡交野村郡津出鼻橋 至同 郡川越村天野川合流點
讚良川	自北河内郡府縣道枚方八尾線高橋(四條暖豐野村界) 至同 郡寢屋川村寢屋川合流點
東除川	自中河内郡惠我村南河内郡高鷲村界高鷲橋 至大和川合流點
西除川	自中河内郡布忍村大字更池(布忍橋) 至泉北郡大和川合流點
飛鳥川	自南河内郡駒ヶ谷村月讀橋 至同 郡古市町石川合流點
梅川	自南河内郡石川村大字大ヶ塚大ヶ塚橋上流二百米 至同 郡駒ヶ谷村石川合流點
津田川	自泉南郡貝塚町阪和鐵橋 至海口
近木川	自泉南郡貝塚町阪和鐵橋 至海口

〔大阪土〕

〔大阪土〕

金熊寺川	自泉南郡信達村大字岡中西出橋 至同 郡雄信達村菟砥川合流點
山中川	自泉南郡東島取村新家阪和鐵橋 至同 郡菟砥川合流點
安治川	東成郡城北村大字毛馬毛馬閘門
木津川	大阪市西區土佐堀通り五丁目以下
尻無川	大阪市西區松島仲ノ町一丁目以下
大和川末流	泉北郡向井村大字遠里小野曲リ所下流海口ニ至ル
神崎川	西成郡中島村大字江口下流海口ニ至ル
中津川	西成郡豐崎村大字北長柄安治川分流以下海口ニ至ル但シ諸派川ヲ包含ス

左ニ掲グル河川浚渫費ハ府費ヲ以テ支辨ス

左ニ掲グル河川海口ノ梁杭標灣ハ府費ヲ以テ支辨ス

木津川海口

左ニ掲グル物揚場費ハ府費ヲ以テ支辨ス

大阪市北區富田町物揚場

左ニ掲グル河川流域ノ水源砂防費ハ府費ヲ以テ支辨ス

淀、神崎、大和、三川及大和川以南各川

左ニ掲グル河川ノ堤防費ハ府費ヲ以テ補助ス

川名	起	終	點
西條川	南河内郡高向村大存日野美濃出橋下流石川ニ至ル		
石津川	泉北郡上神谷村大字鉢ヶ峯寺友田川合流所下流	左岸同郡鶴田村大字下崎 右岸同郡八田莊村大字八田ニ至ル	
山中川	泉南郡東鳥取村大字自然田下流阪和鐵橋ニ至ル		
穗谷川	北河内郡津田村大字津田下渡揚橋下流同郡山田村大字田口東高野街道長ヶ山獄橋ニ至ル		
西除川	南河内郡狹山池下流中河内郡布忍村大字更池(布忍橋)ニ至ル		
津田川	泉南郡有眞香村大字阿間河瀧下流阪和鐵橋ニ至ル		
近木川	泉南郡西葛城村大字木積南山橋下流阪和鐵橋ニ至ル		
金熊寺川	泉南郡東信達村大字金熊寺下流岡中西出橋ニ至ル		
菟砥川	泉南郡東鳥取村大字自然田下流男里川ニ至ル		
楠根川	中河内郡意岐部村大字御厨橋下流寢屋川ニ至ル		
平野川	東成郡平野郷町百濟橋下流寢屋川ニ至ル		
三日市川	南河内郡三日市村大字三日市橋下流石川ニ至ル		
梅川	南河内郡白木村大字寺田平石街道高橋下流同郡石川村大字大ヶ塚橋上流二百米ニ至ル		
箕面川	豐能郡箕面村大字西小路下流、同村今井橋ニ至ル		

〔大阪土〕

〔大阪土〕

飛鳥川	南河内郡山田村大字山田字大道井堰下流同郡駒ヶ谷村月讀橋ニ至ル
天野川	南河内郡天野村大字下里下流狹山池ニ至ル
山邊川	豐能郡西能勢村大字山邊一ノ平川合流所下流大路次川ニ至ル
番川	泉南郡淡輪村下流海口ニ至ル
山田川	三島郡味下村鐵橋下流安威川ニ至ル
大路次川	豐能郡西能勢村大字宿野天神橋下流管轄界ニ至ル
佐備川	南河内郡東條村大字佐備下流石川ニ至ル
天竺川	豐能郡中豐島村大字服部下流同郡櫻井谷村内田明治橋ニ至ル
前川	北河内郡交野村大字私部住吉神社前石橋下流天野川ニ至ル
春木川	泉南郡北掃守村大字春木下流海口ニ至ル
新家川	泉南郡新家村大字新家下流櫻井川ニ至ル
勝尾寺川	三島郡豐川村大字清水下流同村道祖本加治屋橋ニ至ル
千里川	豐野郡櫻井谷村大字野畑字釘貫下流同村内田明治橋ニ至ル
十三間川	東成郡敷津村大字北島大和川分流所下流西成郡今宮村大阪市界ニ至ル
東除川	南河内郡狹山池下流中河内郡惠我村南河内郡高鷲村界高鷲橋ニ至ル

第四類 河川 第一章 総則

原川	南河内郡國分村下流大和川ニ至ル
深山川	泉南郡山直上村大字積川下流牛瀧川ニ至ル
見出川	泉南郡北中通村大字鶴原下流海口ニ至ル
佐野川	泉南郡北中通村大字下瓦屋下流海口ニ至ル
大川	泉南郡深日村下流海口ニ至ル
佐保川	三島郡福井村字耳原堰下流同村大字福井福井橋ニ至ル
南前川	北河内郡友呂岐村大字大井境橋下流寢屋川ニ至ル
太井川	南河内郡磯長村大字太子下流梅川ニ至ル
松尾川	泉北郡南松尾村大字久井長谷川合流所下流牛瀧川ニ至ル
西川	泉南郡多奈川村大字谷川下流海口ニ至ル
東川	泉南郡多奈川村大字谷川下流西川ニ至ル
余野川	豊能郡東能勢村大字余野城越橋下流久安寺川ニ至ル
田尻川	豊能郡歌垣村大字和田小和田川合流所下流管轄界ニ至ル
野間川	豊能郡東郷村大字野間中平原川合流所下流管轄界ニ至ル
東横尾川	泉北郡横山村大字善正南面利川合流所下流横尾川ニ至ル

〔大阪土〕

〔大阪土〕

父鬼川	泉北郡横山村大字佛並菽ノ堰下流横尾川ニ至ル
今川	東成郡南百濟村大字湯谷島下流平野川ニ至ル
玉川	三島郡如是村大字芝生字大南下流安威川ニ至ル
和田川	泉北郡美木多村大字別所下ノ橋下流石津川ニ至ル
百濟川	泉北郡西百舌島村大字百濟陶器街道石長橋下流石津川ニ至ル
初谷川	豊能郡吉川村初谷橋下流管轄界ニ至ル
和谷川	泉南郡西葛城村大字馬場字上出下流近木川ニ至ル
茶屋川	泉南郡下莊村大字箱作字城谷口橋下流海口ニ至ル
讚良川	北河内郡豊野村大字小路字狐樋下流同郡府縣道枚方八尾線高橋(四條堰豊野村)界ニ至ル
岡部川	北河内郡四條堰村大字中野下流河内街道百間上流ヨリ讚良川合流所ニ至ル
清瀧川	北河内郡四條堰村大字中野下流河内街道百間上流ヨリ寢屋川ニ至ル
權現川	北河内郡四條堰村大字南野字楠公橋下流寢屋川ニ至ル

左ニ掲グル港灣費ハ府費ヲ以テ補助ス

岸和田港

第四類 河川 第一章 總則

谷川 港

左ニ掲クル堤防費ハ府費ヲ以テ補助ス

海岸堤防 敷地ノ官有ニ屬スルモノニシテ原形ニヨリ修繕スルモノ

楠根川府費支辨編入ノ件

昭和八年九月十八日
大阪府告示第六百九十一號

左記區域ヲ府費支辨河川ニ編入ス

楠根川 右岸 自中河内郡若江村大字若江北字西口一

七六

左岸 至大阪市旭區新喜多町元島崎二五七ノ六
自中河内郡小阪町中小阪字カメダ一二

八

至大阪市旭區新喜多町西喜澤二二一ノ

六

古川外一河川府費支辨編入ノ件

昭和十年四月三十日
大阪府告示第三百十九號

改正 昭和十一年二月告示第一二九三號

左記區域ヲ府費支辨河川ニ編入ス

古川 右岸 自北河内郡諸堤村大字諸口一、六一六

〔大阪土〕

第二章 施行河川及準用河川 共通則

〔大阪土〕

河川堰堤規則

昭和十年五月二十七日
内務省令第三十六號

第一條 本令ニ於テ堰堤ト稱スルハ貯水又ハ取水ノ爲河川法ヲ施行又ハ準用スル河川、水流又ハ水面ニ設ケル堰堤ニシテ基礎地盤ヨリ堤頂迄ノ高土堰堤ニ在リテ八十米以上其ノ他ノ堰堤ニ在リテハ十五米以上ノモノヲ謂フ

第二條 本令ニ於テ許可ヲ受ケタル者ト稱スルハ堰堤ノ新築、改築又ハ除却ニ付河川法第十七條又ハ第十八條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者又ハ其ノ承繼人ヲ謂フ

第三條 堰堤ノ新築又ハ改築ノ許可申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スベシ

- 一 計畫説明書(別記第一號様式)
 - 二 工事費概算書
 - 三 計算書(堰堤ノ安定及貯水池ノ容積ニ關スル計算其ノ他必要ナル水理計算)
 - 四 降水量表(時量、四時間連續量、日量、月量及年量)
 - 五 圖面
- 申請者名、題目、圖面番號(何枚ノ内第何號)及作成年月日ヲ記入シ圖面目錄ヲ添附スベシ

第四類 河川 第二章 施行河川及準用河川共通則

公共用財産用途廢止ニ關スル件

大正十一年六月二十一日
内務省訓令第十一號

公共財産中河川法ノ規定ニ依ラサル河川、水流、水面ニシテ河川法ニ依ル河川ニ關スル工事ノ爲不用ニ歸スルモノノ用途廢止ニ付テハ部局長タル北海道廳長官及府縣知事ハ稅務監督局長ニ通知ヲ發スル前其ノ用途廢止ノ事由ヲ記シタル書類ニ圖面ヲ添附シ豫メ内務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

番地

左岸 至北河内郡庭窪村大字藤田七〇五番地
自大阪市旭區今津町一、四八六番地
至北河内郡九個莊村大字神田一、一四

下八個莊川

右岸

自北河内郡諸堤村大字諸口一、五八〇
至同 郡南郷村大字新田六九八

左岸

自北河内郡諸堤村大字諸口一、五七八
至同 郡南郷村大字諸福五二四ノ一

イ 一般平面圖

陸地測量部刊行五萬分ノ一圖ニ左ノ事項ヲ明示スベシ

- 1 堰堤位置
 - 2 集水區域
 - 3 集水路
 - 4 堰堤ニ因リ影響ヲ受ケベキ道路、橋梁、用惡水路其ノ他既設工作物ノ位置並ニ流筏木及舟航ノ區域
- 貯水池豫測圖
- 1 平面圖
 - 2 縮尺ハ五千分ノ一以上トシ左ノ事項ヲ明示スベシ但シ航空寫眞ヲ用フルモ妨ナシ
 - 一 堰堤並ニ附屬及附帶設備ノ位置
 - 一 溢水區域
 - 一 測點
 - 一 其ノ他參考トナルベキ事項
- 縮尺ハ縮二百分ノ一、横五千分ノ一以上トシ左ノ事項ヲ明示スベシ
- 一 最低河床
 - 一 堰堤位置
 - 一 堰堤築造前後ノ各水位(水面勾配ヲ記入スルコト)
 - 一 測點ノ番號及標高
 - 一 測點間ノ距離及遞加距離
 - 一 其ノ他參考トナルベキ事項

第四類 河川 第二章 施行河川及準用河川共通則

3 横断面圖

縮尺ハ二百分ノ一以上トシ左ノ事項ヲ明示スベシ

一 地盤線

一 測點ノ番號及標高

一 堰堤築造前後ノ各水位

ハ 堰堤及主ナル附屬設備ノ設計圖

ニ 水位流量曲線圖

ホ 流況曲線圖

ハ 流量累加曲線圖

ト 堰堤築造豫定箇所ヲ其ノ上流及下流ヨリ撮影シタル寫眞ニ堰堤外型ノ輪廓ヲ明示シタルモノ

第四條 堰堤ノ新築又ハ改築ノ許可ヲ受ケタルトキハ左ノ書類及圖面ヲ添附シ工事施行ノ認可ヲ申請スベシ

一 實施計畫說明書(別記第二號様式)

二 工事費豫算書

三 計算書

イ 堰堤ノ安定ニ關スル計算書(圖式計算法ニ依ルモ妨ナシ)

ロ 貯水池容積計算書

ハ 堰堤ニ因ル水ノ滯溜作用ヲ算定スルニ必要ナル水理計算書

ニ 附屬及附帶設備ニ關スル計算書

四 附表

イ 地質ノ説明ニ必要ナル表

〔大阪土〕

ロ 降水量表(第三條第四號ノ表ニ其ノ後ニ於ケル觀測ノ結果ヲ補足スルコト)

ハ 最高最低氣溫表

ニ 水位及流量表

ホ 掘鑿土石ノ數量表

ハ 其ノ他參考トナルベキ表

五 圖面

申請者名、題目、圖面番號(何枚ノ内第何號)及作成年月日ヲ記入シ圖面目錄ヲ添附スベシ

イ 一般平面圖

陸地測量部刊行五萬分ノ一圖ニ第三條第五號「イ」ノ各事項ノ外既設及新設置水標ノ位置ヲ記入スベシ

ロ 貯水池實測圖

平面圖、縱断面圖及横断面圖トシ縮尺及記載事項ハ第三條第五號「ロ」ニ同シ尙横断面圖ニハ地盤ノ地質ヲ明示シ横断面圖及横断面圖ニハ實測年月日ヲ記入スベシ

ハ 地質ノ説明ニ必要ナル圖面

ニ 堰堤設計圖

ホ 附屬及附帶設備ノ設計圖

ハ 堰堤ノ安定計算ニ關スル圖面

ト 水位流量曲線圖(第三條第五號「ニ」ノ圖面ニ其ノ後ニ於ケル觀測ノ結果ヲ補足スルコト)

〔大阪土〕

チ 流況曲線圖(第三條第五號「ホ」ノ圖面ニ其ノ後ニ於ケル觀測ノ結果ヲ補足スルコト)

リ 流量累加曲線圖(第三條第五號「ハ」ノ圖面ニ其ノ後ニ於ケル觀測ノ結果ヲ補足スルコト)

× 貯水位ト貯水量及貯水位ト貯水面積トノ關係ヲ示ス圖表

1 貯水池容量曲線圖

2 貯水面曲線圖

ル 堰堤築造箇所ヲ其ノ上流及下流ヨリ撮影シタル寫眞ニ堰堤外型ノ輪廓ヲ明示シタルモノ

第五條 堰堤ノ新築又ハ改築ノ許可ノ申請ト同時ニ工事施行ノ認可ヲ申請スルトキハ第三條ノ規定ニ依ル添附書類及圖面ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第六條 堰堤除却ノ許可申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スベシ

一 實施計畫說明書(別記第三號様式)

二 圖面

イ 堰堤並ニ附屬及附帶設備ノ構造圖(除却部分ヲ淡赤色ヲ以テ著色シ必要ナル寸法ヲ記入スルコト)

ロ 除却材料ノ處置ニ關スル設計圖

第七條 本令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ依リ提出スベキ書類又ハ圖面中技術ニ關スルモノハ其ノ調査又ハ設計ヲ擔當

第四類 河川 第二章 施行河川及準用河川共通則

シタル技術者之ニ署名捺印スベシ

第八條 許可ヲ受ケタル者ハ工事ノ施行又ハ監督ノ爲擔任技術者ヲ置リベシ

許可ヲ受ケタル者ハ工事著手前項ノ技術者ノ經歷書ヲ添附シ地方長官ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

地方長官ハ擔任技術者ノ施行又ハ監督ニ付適當ナラズト認ムルトキハ其ノ解任ヲ命ズルコトヲ得

第九條 許可ヲ受ケタル者ハ工事ニ著手セントスルトキハ地方長官ニ届出ヅベシ

第十條 地方長官必要アリト認ムルトキハ許可ヲ受ケタル者ヲシテ基礎地盤工事其ノ他工事ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ検査員ヲ派遣シ工事ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條 工事完了シタルトキハ許可ヲ受ケタル者ハ左ノ書類及圖面ヲ添附シ其ノ認可ヲ申請スベシ

一 出來形調查書(別記第二號様式ニ準シ作成スルコト)

二 計算書(第四條第三號各項目ニ付計算スルコト)

三 附表(第四條第四號「イ」乃至「ニ」及「ハ」ノ表ニ準シ作成スルコト)

四 圖面(第四條第五號ノ圖面ニ準シ作成スルコト)

前項ノ認可申請アリタルトキハ地方長官ハ検査員ヲ派遣シ検査ヲ爲サシムベシ

第十二條 前條ノ認可ヲ受ケタル後ニ非ザレバ堰堤ヲ貯水又

ハ取水ノ用ニ供スルコトヲ得ズ
 地方長官特別ノ事由アリト認ムルトキハ工事完了前ト雖モ
 期間ヲ定メ假メ貯水又ハ取水ヲ認可スルコトヲ得
 前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十三條 許可ヲ受ケタル者堰堤ヲ貯水又ハ取水ノ用ニ供セ
 シトスルトキハ堰堤操作ニ關スル規程ヲ設ケ地方長官ニ届
 出ツベシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ
 地方長官必要アリト認ムルトキハ前項ノ規程ノ變更ヲ命ズ
 ルコトヲ得

第十四條 地方長官必要アリト認ムルトキハ許可ヲ受ケタル
 者ヲシテ堰堤ノ維持管理ノ爲擔任技術者ヲ置カシムルコト
 ヲ得
 前項ノ擔任技術者ニ付テハ第八條第二項及第三項ノ規定ヲ
 準用ス

第十五條 許可ヲ受ケタル者ハ工事完了後毎年一回別記第四
 號様式ノ堰堤狀況報告書ヲ地方長官ニ提出スベシ
 地方長官必要アリト認ムルトキハ検査員ヲ派遣シ堰堤ノ檢
 査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十六條 内務大臣必要アリト認ムルトキハ検査員ヲ派遣シ
 堰堤又ハ其ノ工事ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得
 第十七條 検査員第十條、第十一條第二項、第十二條第三項、
 第十五條第二項又ハ前條ノ規定ニ依リ検査ヲ爲ストキハ別
 記第五號様式ノ證券ヲ携帯スベシ
 第十八條 地方長官ハ別記第六號様式ノ堰堤臺帳ヲ調製スベ
 シ

(別記)
 第一號様式

〔大阪土〕

第十九條 認可ヲ受ケズシテ堰堤ヲ貯水又ハ取水ノ用ニ供シ
 タル者ハ三月以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金又ハ
 拘留ニ處ス
 第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス
 一 本令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ依リ提出スル書類若
 ハ圖面ニ虚偽ノ記載ヲ爲シ又ハ届出若ハ報告ヲ怠リタル
 者
 二 検査員ノ検査ヲ拒ミ又ハ妨ガタル者
 第二十一條 代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本人又ハ雇主
 ノ業務ニ關シ前二條ニ掲グル違反行爲ヲ爲シタルトキハ本
 人又ハ雇主ハ自己ノ指揮ニ出テザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ
 免ルルコトヲ得ズ
 處罰ヲ適用スベキ者法人ナルトキハ其ノ代表者ニ、未成年
 者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但
 シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テ
 ハ此ノ限ニ在ラズ

附則
 第二十二條 本令ハ昭和十年六月十五日ヨリ之ヲ施行ス
 第二十三條 本令施行ノ際現ニ工事中ノ堰堤ニ付テハ許可ヲ
 受ケタル者ハ遲滞ナク第八條第二項ノ届出ヲ爲スベシ
 第二十四條 本令施行ノ際現ニ貯水又ハ取水ノ用ニ供スル堰
 堤ニ付テハ許可ヲ受ケタル者ハ遲滞ナク第十三條第一項ノ
 届出ヲ爲スベシ

計 畫 說 明 書

1 計 畫 ノ 概 要

申請者	氏 名	住 所	職 業
目的	(洪水調節、水運、灌漑、上水道、工業、發電等ノ別ヲ記載スルコト)		
取及水取水河水量	河 川 名	取水量(m ³ /sec)	取 水 口 位 置
	{各取水河川別=幹川何川支(派)何川ト記載スルコト}		(郡市町村大字字地番)
注 水 口	注 水 河 川 名		注 水 口 位 置
	{各注水河川別=幹川何川支(派)何川ト記載スルコト}		(郡市町村大字字地番)
堰 堤	位 置	築造箇所河川名	
	(左右岸別、郡市町村大字字地番)	{幹川何川支(派)何川ト記載スルコト}	
使 用 水 量 (m ³ /sec)	使 用 期 間	使 用 概 要	發電ニ在リテハ有効電力、上水道ニ在リテハ給水區域等、灌漑ニ在リテハ灌漑面積、其ノ他ニ在リテハ之ニ準ジ記載スルコト
	工 期	工概事費算	堰堤附屬設備 附帶設備 其ノ他 合計
調 任 技 術 計 擔 者	住所氏捺印		
	經 歴		
	歷		

備 考
 河川名ニハ總テ施行河川(河川法ヲ施行スルモノ)、準用河川(河川法ヲ準用スルモノ)、普通河川(河川法ヲ施行又ハ準用セザルモノ)ノ別ヲ記載スルコト

(第二表)

堰	基礎地盤ノ概要				
	型式	{土堰堤、石塊堰堤、重力(溢流型可動扉附)コンクリート 堰堤、支壁堰堤等ノ別ヲ記載スルコト}			
堤	寸法	{高、堤頂幅、敷幅、堤頂長、上下流法勾配等堰堤ノ概要ヲ 知り得ル程度ニ記載シ堤體積(m ³)、堤頂標高(m)、最高 水位ト堤頂トノ高差(m)、最大溢流水深(m)ヲ附記スル コト}			
	築式ノ選位置及理由				
貯	名稱	(何貯水池又ハ何調整池)	現地況		
	貯水位(m)	最高	最低	最水水高位面積貯ノ積(m ²)	
水	水深(m)	最大	有効	貯容水積(m ³)	全 有効
	堰最大背ヨリ距離ノ離(m)	河川名	洪水時	平水時	濁水時

備考

- 1 堰堤基礎地盤ノ試錐ヲ爲シタルトキハ地質状態ヲ示ス圖面ヲ添附スルコト
- 2 標高ハ總テ陸地測量部水準基標ニ據ルモノヲ記載スルコト

(第一表)

2 計畫ノ説明

集水區域	集水面積(km ²)	地 表 状 態		
降	何川流域(何觀測所)	"	"	"
	時量最大			
	四時間連續量最大			
	日量	最大		
水	日量	最小		
		平均		
	月量	最大		
	月量	最小		
量(mm)	年量	最大		
	年量	最小		
流	何川(測定位置ヲ記載スルコト)	"	"	"
	洪水量	最大(年月日)		
量(m ³ /sec)		普通		
	平水量	自至最大		
		自至最小		
		年年平均		
	低水量	自至最大		
		自至最小		
	年年平均			
	濁水量	最小(年月日)		
		普通		

備考

- 1 「集水面積」、「降水量」及「流量」ノ各欄ハ堰堤設置河川、取水河川別ニ記載スルコト
- 2 「降水量」及「流量」欄中「最大」、「最小」ハ既往ノ記録中最大、最小ノモノヲ、「普通」ハ數年ニ一回起ル程度ノモノヲ記載スルコト
- 3 平水量トハ一年ヲ通シ185日ハ之ヨリ下ラザル程度ノ水量トス
- 4 低水量トハ一年ヲ通シ275日ハ之ヨリ下ラザル程度ノ水量トス
- 5 濁水量トハ一年ヲ通シ355日ハ之ヨリ下ラザル程度ノ水量トス

〔大阪土〕

〔大阪土〕

(第四表)

貯水使用方法ノ概要		
取水量決定ノ理由		
堰堤ヨリノ放水ノ流量	最大制限放流量(m ³ /sec)	最小責任放流量(m ³ /sec)
取水水位ト取水河係		
洪水時堰堤ニ因ル水面		

備考

- 1 取水量及使用水量決定ノ理由ニハ説明ニ必要ナル圖面ヲ添附スルコト
- 2 取水量ト取水河川ノ水位トノ關係ニハ説明ニ必要ナル河川縱横斷面圖ヲ添附スルコト

〔大阪土〕

(第三表)

附	集	取水設備 (堰堤、樋門、制水門等ノ設備概要ヲ各取水河川別ニ記載スルコト)
	水路	{延長(m)、種別(隧道、暗渠、開渠等)及流下能力}{(m ³ /sec)ヲ各集水路別ニ記載スルコト}
屬	路	注水設備 (設備概要ヲ各注水口別ニ記載スルコト)
	貯水引出設備	
設	洪水放流設備	
	餘水放流設備	
備	排砂又ハ排沙設備	
	其ノ他	

〔大阪土〕

實施計畫說明書

1 計畫ノ概要

第四類 河川 第二章 施行河川及準用河川共通則

申請者	氏名	住所	職業	業
目的	(洪水調節、水運、灌漑、上水道、工業、發電等ノ別ヲ記載スルコト)			
取及取水河水量	河川名	取水量(m ³ /sec)	取水口位置	
	{各取水河川別=幹川何川支(派)何川ト記載スルコト}		(郡市町村大字字地番)	
注水口	注水河川名	注水口位置		
	{各注水河川別=幹川何川支(派)何川ト記載スルコト}	(郡市町村大字字地番)		
堰堤	位置	築造箇所河川名		
	(左右岸別、郡市町村大字字地番)	{幹川何川支(派)何川ト記載スルコト}		
使用水量	使用期間	使用概要	發電=在リテハ有効落差理論馬力數、上水道=在リテハ給水區域給水人口等、灌漑=在リテハ灌漑面積、其ノ他=在リテハ之ニ準ジ記載スルコト	
			(m ³ /sec)	
工期	著手完了	工事費豫算	堰堤附屬設備附帶設備其ノ他合計	
工事方施法	(直營、請負等ノ別ヲ記載スルコト)			
貯効水率(%)	(貯水池有効容積ヲ堰堤貯原(堰堤工事費豫算額ヲ貯水池體積ニテ除シタルモノヲ記載スルコト) 水價記載スルコト)			
調擔者查任設技計術	住所氏名捺印			
	經歷			

四一

備考

河川名ニハ總テ施行河川(河川法ヲ施行スルモノ)、準用河川(河川法ヲ準用スルモノ)、普通河川(河川法ヲ施行又ハ準用セザルモノ)ノ別ヲ記載スルコト

第二號様式

〔大阪土〕

(第五表)

關係河川ノ治水及水利其ノ他ニ及ボス影響並ニ之ニ對スル設備、方法ノ概要	治水	
	灌漑	
	流筏木	
	漁業	
	舟航	
	水道	
	發電	
	上水利事業以外ノ業	
	風致、名勝	
	既設工作物	
	其ノ他	

〔大阪土〕

第四類 河川 第二章 施行河川及準用河川共通則

四〇

(第一表)

3 計畫ノ説明

集水區域	集水面積(km ²)		地 表 狀 態		
降 水 量 (mm)	何川流域 (何觀測所)		"	"	"
	時量最大				
	四時連續最大				
	日量	最大			
		最小			
	月量	最大			
		最小			
	年量	最大			
		最小			
	流 量 (m ³ /sec)	何川 (測定位置ヲ記 載スルコト)		"	"
洪水量		最大 (年月日)			
		普通			
平水量	自至	最大			
	年年	最小			
低水量	自至	最大			
	年年	最小			
渴水量	最大	(年月日)			
	普通				
氣 溫	觀測所名	觀測所位置	最	高	最
		(郡市町村大字)			低

備 考

- 1 「集水面積」、「降水量」及「流量」ノ各欄ハ堰堤設置河川、取水河川別ニ記載スルコト
- 2 「降水量」、「流量」及「氣溫」欄中「最大」、「最小」、「最高」、「最低」ハ既往ノ記録中最大、最小、最高、最低ノモノヲ、「普通」ハ數年ニ一回起ル程度ノモノヲ記載スルコト
- 3 平水量トハ一年ヲ通シ185日ハ之ヨリ下ラザル程度ノ水量トス
- 4 低水量トハ一年ヲ通シ275日ハ之ヨリ下ラザル程度ノ水量トス
- 5 渴水量トハ一年ヲ通シ355日ハ之ヨリ下ラザル程度ノ水量トス

第四類 河川 第二章 施行河川及準用河川共通則

2 地 質 調 査

貯ノ態 水地質 區域狀		
貯水野荒 水源溪廢 區域其狀 及山崩、他		
堰 堤	地層ノ種類及分布	
	風化ノ狀態	
基 礎	岩質	(岩質軟弱ナルモノニ付テハ耐壓強度試驗ヲ行ヒ其ノ結果ヲ記載スルコト)
	軟ハ性ノ有 質可地無 又溶層	
地 盤	斷層ノ狀態	
	層節龜空ノ 理理裂洞狀 、、、等態	
試 錐	試深對ルノ 錐度應地變 ノニス質化	
	試類ニハ 錐及岩穿 機名心孔 ノ稱徑徑 種竝又(mm)	
試 掘	掘能 進率	
	岩探率 心取(%)	
地 質 技 術 擔 者	水ハ筒及 ノ逸所水 湧シノ量 出シ深(1/min) 又ル(m)	
	住 所 氏 名 捺 印	
備 考	經 歷	

備 考 試錐、試掘ニ依リ得タル標本ヲ添附スルコト

第四類 河川 第二章 施行河川及準用河川共通則

〔大阪土〕

〔大阪土〕

(第三表)

附	集水	取水設備 (堰堤、樋門、制水門等ノ設計要領ヲ各取水河川別ニ記載スルコト)
	水路	{延長(m)、種別(隧道、暗渠、開渠等)及流下能力(m ³ /sec)ヲ各集水路別ニ記載スルコト}
	路注水設備	(設計要領ヲ各注水口別ニ記載スルコト)
屬	堰水標	位 置 構 造 堰水位標高(m)
	量水標	位 置 種 類 零點標高(m)
設	洪水設備	構 造 門 扉 又 ハ 管
	貯出水設備	{設計ノ要領ヲ記載シ流 出能力(m ³ /sec)ヲ附記 スルコト} {門扉ニ在リテハ種類、門數、寸 法、操作設備等ヲ、管ニ在リテ ハ種類、徑、弁ノ種類等ヲ記載 スルコト}
	洪水設備	構 造 門 扉
	貯出水設備	{設計ノ要領ヲ記載シ流 出能力(m ³ /sec)ヲ附記 スルコト} {種類、門數、寸法、一門ノ重 量(t)操作設備等ヲ記載スル コト}
	餘流水設備	構 造 門 扉
備	排砂水設備	構 造 門 扉 又 ハ 管
	其他	{設計ノ要領ヲ記載シ流 出能力(m ³ /sec)ヲ附記 スルコト} {門扉ニ在リテハ種類、門數、寸 法、操作設備等ヲ、管ニ在リテ ハ種類、徑、弁ノ種類等ヲ記載 スルコト}

(第二表)

堰	型 式	{土堰堤、石塊堰堤、動力(溢流型可動扉附)非溢流型}コンクリート 堰堤、支壁堰堤等ノ別ヲ記載スルコト				
	寸	高 (m)	堤頂幅(m)	敷幅(m)	堤頂長(m)	法(%)
堤	法	可動扉ヲ附設スル場合ニハ其ノ高ヲ區別シテ記載スルコト		溢流部ト非溢流部トヲ區別シテ記載スルコト		(上流側、下流側)
		溢流部ト非溢流部トヲ區別シテ記載スル場合ニハ其ノ長ヲ區別シテ記載スルコト		溢流部ト非溢流部トヲ區別シテ記載スル場合ニハ其ノ長ヲ區別シテ記載スルコト		
貯水	池	堤體積(m ³)	堤頂標高(m)	最高水位ト堤頂トノ高差(m)	最大溢流水深(m)	
		築式	造ノ位選	置定	及理	型由
貯水	池	名 稱	(何貯水池又ハ何調整池)		現地況	
		貯水位(m)	最高		最低	最水水面高位面貯ノ積(m ²)
貯水	池	水 深(m)	最大		有効	貯積水容(m ³) 全 有効
		堰最大背水距離(m)	河川名	洪水時	平水時	湯水時

備考

標高ハ總テ陸地測量部水準基標ニ據ルモノヲ記載スルコト

〔大阪土〕

〔大阪土〕

(第五表)

關 係 河 川 ノ 治 水 及 水 利 其 ノ 他 ニ 及 ボ ス 影 響	治 水	
	灌 溉	
	流 筏 木	
	漁 業	
	舟 航	
	水 道	
	發 電	
	上 水 利 事 業 以 外 ノ	
	風 致、 名 勝 既 設 工 作 物	
	其 ノ 他	

〔大阪土〕

(第四表)

貯 水 使 用 方 法 ノ 詳 細		
取 水 決 定 及 使 用 水 量 ノ 理 由		
取 水 量 ト 取 水 河 川 ノ 水 位 ト ノ 關 係	最大制限放流量(m ³ /sec)	最小責任放流量(m ³ /sec)
及 之 ニ 對 ス ル 設 備 ノ 概 要		

〔大阪土〕

備 考

- 1 取水量及使用水量決定ノ理由ニハ説明ニ必要ナル圖面ヲ添附スルコト
- 2 取水量ト取水河川ノ水位トノ關係ニハ説明ニ必要ナル縱横斷面圖ヲ添附スルコト

堰堤狀況報告書

(年月日報告)

第四號様式

第四類 河川 第二章 施行河川及準用河川共通則

名稱	(何堰堤)	所在地	位置	所在河川名
			(左右岸別、郡市町村大字字地番)	(幹川何川支(派)何川ト記載スルコト)
報告者	氏名		住所	
擔技術任者	職名		氏名	捺印
報告事項				
堰	狀 況			
	上流側			
	下流側			
	頂部			
	監査坑			
	可動扉			
	水叩			
	堤體滲透水ノ有無			
	堰水標			
	量水標			
	洪水報知設備			
	貯水引出設備			
	洪水放流設備			
	餘水放流設備			
排砂又ハ排水設備				
可動扉操作設備				
其ノ他				
池底變化ノ狀況				
既往一年間ノ出水狀況				
堰堤ノ安定記事項				
堰ニスベキ事				

實施計畫説明書

第三號様式

第四類 河川 第二章 施行河川及準用河川共通則

申請者	氏名	住 所	職 業	
堰	名稱	(何堰堤又ハ何貯水池)		
	目的	(洪水調節、水運、灌漑、上水道、工業、發電等ノ別ヲ記載スルコト)		
	位置	位 置	所在河川名	
		(左右岸別、郡市町村大字字地番)	(幹川何川支(派)何川ト記載スルコト)	
堤	型式	土堰堤、石塊堰堤、重力(溢流型可動扉附)コンクリート (非溢流型) 堰堤、支壁堰堤等ノ別ヲ記載スルコト		
	寸法	高(m)	堤頂幅(m)	堤頂長(m)
				法(%)
除却理由				
除却部分	名 稱	材 料	數 量	
殘存部分	名稱			
除却方法及順序				
除却處置				
工事費豫算	總額	内 譯	工 著手	
			期 完了	

〔大阪土〕

〔大阪土〕

堰 堤 臺 帳

第六號様式

第四類 河川 第二章 施行河川及準用河川共通則

番 號	名 稱	堰堤(池)	
一 般 要 項			
許 可 ヲ 受 者	氏 名	住 所	職 業
目 的	(主)洪水調節 水運 灌溉 上水道 工業 發電 用 取水貯水堰堤 (副)洪水調節 水運 灌溉 上水道 工業 發電		
堰 堤 位 置	位	置	所 在 河 川 名
	(左岸) 郡市 町村大字 字 (右岸) 郡市 町村大字 字	川(河川法施行準用)水系 川 (河川法施行準用)	
工 事 方 法	直營 請負	工 著 手	年 月 日
		期 完 了	年 月 日
工 事 關 係 者	調査設計擔任技術者		
	地質調査擔任技術者		
	工事擔任技術者		
	工事請負者		
	工事請負者ノ擔任技術者		
貯 水 池 調 整 池			
貯 水 位 (m)	最高	最水水面 最高位貯ノ積 (m ²)	集面 水積 (km ²)
	最低		洪水 量 (m ³ /sec)
水 深 (m)	最大	貯容 水積 (m ³)	全
	有効		有効
堰 大 背 水 ヨリノ 距 離 (m)	河 川 名	洪 水 時	平 水 時
			濁 水 時

備 考

本様式中不用文字ハ之ヲ抹消スルコト

五三

〔大阪土〕

〔大阪土〕

第五號様式

第四類 河川 第二章 施行河川及準用河川共通則

(表)

第 號

堰堤検査員之證

官 氏

名

九 種

六 種

(裏)

年

月

日

内務省印

道府縣又ハ

五二

堰		堤		
型	土堰堤 石塊堰堤 重力コンクリート堰堤 支壁堰堤			
式	溢流型(可動扉附) 非溢流型			
寸	高 (m)	堤頂幅(m)	敷 幅(m)	堤頂長(m)
	固定堰堤 溢流部 非溢流部 可動堰堤 可動扉 角 落			全 長 内 { 固定堰堤 可動堰堤
法	堤 體 積 (m ²)	堤 頂 標 高 (m)	固定堰堤頂 溢流部 非溢流部 可動扉上端	其 他 最高水位ト堤頂トノ高差 (m) 溢流堤頂上最大水深(m)
	基礎地盤ノ地質			
伸縮接合	構造 遮水法 間隔	監 査	位置	寸 法
	數	坑		高 幅 長 横斷面積
グラウチング	位置 間隔	止 水	位置	構造
	數 深	壁		

備 考

- 1 伸縮接合及止水壁ノ構造ハ堰堤標準横斷面ニ示スモ妨ナシ
- 2 標高ハ總テ陸地測量部水準基標ニ據ルモノヲ記載スルコト

〔大阪土〕

堰堤附近平面略圖

貯水調整池平面圖	
[大阪土]	

備 考

- 1 堰堤附近平面略圖ニハ堰堤、河川、鐵道線路、驛、堰堤ヘノ交通路(自動車通行可能ノ部分ハ——、不可能ノ部分ハ-----ヲ以テ表ハスコト)、都會地、方位等ヲ記入スルコト
- 2 貯水池調整池平面圖ニハ貯水池又ハ調整池、堰堤、河川、主ナル附屬及附帶設備、府縣界、市町村界、方位、縮尺等ヲ記入スルコト

堰堤標準横断面圖

計 算 資 料					
堤 體 材 料					
區 分	種 別	配 合	使用數量(m ³)	試驗體強度 (kg/cm ²)	摘 要
A					
B					
C					
D					
.....					

備 考

「區分」A.B.C.D.....ハ標準横断面圖中ニ點線ヲ以テ記載シ
其ノ限界ヲ明瞭ナラシムルコト

〔大阪土〕

〔大阪土〕

附 屬 設 備

堰水標	位 置	構 造	堰水位標高(m)
量水標	位 置	種 類	零點標高(m)
洪水報知設備			
貯水引出設備	構 造	門 扉	管
	流出能力 m ³ /sec	種類 寸法 門 操作設備 手動 電動機	種類 徑 弁ノ種類
洪水放流設備	構 造	門 扉	管
	流出能力 m ³ /sec	種類 寸法 門 一門ノ重量 操作設備 手動 電動機 カソリン機關 デイズル機關	種類 徑 門 t
餘水放流設備	構 造	門 扉	管
	流出能力 m ³ /sec	種類 寸法 門 操作設備 手動 電動機	種類 徑 門
排排砂水又設備	構 造	門 扉	管
	流出能力 m ³ /sec	種類 寸法 門 操作設備 手動 電動機	種類 徑 弁ノ種類
其 他			

河川敷地内土石砂利及生産物

取締規程

明治三十五年四月二十四日
大阪府令第四十六號

改正

昭和三年九月府令第五六號

第一條 河川法ヲ施行シ又ハ河川法ニ規定シタル事項ヲ準用セシ河川敷地内ノ土石、砂利、竹木、葎、雜草又ハ果實ノ類ヲ採取若ハ伐截セムトスル者ハ大阪府知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス、但シ明治三十年大阪府令第八十二號及明治三十四年大阪府告示第六十九號ノ河川ニ付テハ其ノ費用ヲ負擔スル市町村其ノ他公共團體ヲ管理スル行政廳ノ許可ヲ受ケヘシ

第二條 前條ノ出願ニ付テハ明治二十九年大阪府告示第百號及明治三十一年大阪府告示第百五號ノ規定ニ準據スヘシ

第三條 第一條ニ反シ採取若ハ伐截シタル者ニ對シテハ相當ノ料金ヲ追徴シ三日以上三十日未滿ノ拘留又ハ壹圓以上貳拾圓未滿ノ科料ニ處ス

第一條但書ノ河川ニ付テハ前項ノ料金ハ其ノ行政廳ニ於テ大阪府知事ノ認可ヲ受ケ之ヲ追徴スルコトヲ得

國道府縣道其他工用土石砂利採取ニ關スル件

土木課長通牒

〔大阪土〕

〔國道府縣道堤防等〕當府ニ於テ施行スル工事ノ爲土石砂利等ヲ採取スルトキハ從來ヨリ其ノ工事附近ノ河川ニ於テ當該工事請負人ヲシテ(出張所)限リ採取セシメラレ候處往々府費工事ニ名ヲ藉リ指定以上ノ數量ヲ採取シ他ニ賣却スル向キ有之取締上忽緒ニ付スルヘカラサルモノ有之候條將來採取ノ必要アル場合ハ豫メ採取場所及數量期間等ヲ明記シ必ス伺出相成度依命此段及通牒候也

土石砂利拂下願書土木出張所

送付ノ件

明治三十二年五月
第一〇三八號通牒

本文略

市長宛

土石拂下願書ハ土木課出張所へ送付ノ件

大正四年五月
土甲第三七七一號

本文略

郡市長宛

〔大阪土〕

漁業免許ト水面使用許可トノ關係ニ付取扱方ノ件

明治四十四年三月二十日
水第三一三〇號土木、水産兩局長通牒

各地方長官宛

改正漁業法實施ノ後漁業ノ免許ト官ニ屬スル公有水面使用ノ許可トノ關係ニ付テハ左ノ通御取扱相成度依命此段及通牒候也

追テ河川法ヲ施行シタル河川又ハ河川法ヲ準用シタル河川ニ於テ漁業ノ爲メ工作物ヲ施設シ又ハ占用ヲ爲ス等ノ場合ニハ各其ノ法令ニ依リ許可ヲ受ケシムヘキハ勿論ナルモ許可ニ依リテ生スル權利義務ハ漁業法第十一條ノ規定ニ依リ當然漁業權ノ處分ニ隨伴シ其ノ移轉ニ付テハ別ニ許可ヲ要セサルモノトス

一 漁業法施行規則第十二條第七號第十三條第一號又ハ第二號(工作物ノ施設其ノ他ノ行爲ニ依リ水面ヲ限界スルモノ)ニ該當スル場合ハ其ノ水面ノ使用ニ付テハ明治二十三年內務省訓令第三十六號第七條ノ規定ニ依ルモノトス但シ此場合ニ於ケル使用料ハ其ノ事實ト地方ノ狀況トニ依リテハ之ヲ徵收セサルコトヲ得

二 前號以外ニ該當スル場合ニ於テモ漁業ノ爲メ工作物ヲ

第四類 河川 第二章 施行河川及準用河川共通則

施設スルモノノ如キハ其ノ工作物等ノ施設ノ區域ニ付キ亦前號ニ同シ

公有水面使用ノ免許ニ關スル事項ハ漁業ノ免許又ハ許可ノ願書ニ之ヲ併記セシメ同時ニ處理スルモ支障ナシ

三 前二號以外ニ該當スル場合ニ於テハ水面使用ノ規定ニ依ルヲ要セサルモノトス

四 慣行アル場合ニ於テ其ノ慣行ニ從ヒ漁業ヲ爲スモノハ水面使用ノ規定ニ依ルヲ要セサルモノトス

五 水面使用ノ期間ハ漁業ノ免許期間ト同一ナルコトヲ要ス

六 水面使用ニ關スル權利義務ハ漁業法第十一條ノ規定ニ依リ漁業權ノ處分ニ從ヒ當然相續讓渡又ハ抵當權ノ目的トナルヘキモノナルコト勿論ナルモ命令書ノ變更ヲ要スル場合ニハ更ニ其ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

七 漁業ノ爲メニスル公有水面使用ニ關シ明治二十三年內務省訓令第三十六號第一條ノ規定ニ依リ關係市町村會ノ意見ヲ聞クハ其ノ意見ヲ徵スルニ及ハサルモノトス

八 公有水面ノ使用ト漁業トハ免許取消其ノ他處分上同一ノ取扱ヲ爲シ兩者支離スルカ如キコトナキ様注意ヲ要ス

●道路兼用堤防占用許可並ニ占用料徴收ニ關スル件

大正十年十一月十五日
土第四一二七號内務部長通牒

〔東成郡、北河内郡、中河内郡、南河内郡、三島郡、豐能郡、泉北郡各郡長〕及堺、大阪兩市長宛

河川法施行又ハ同法準用ノ堤防ト道路ト效用ヲ相兼ネル箇所ノ占用出願ニ對シテハ左記各號ニ依リ御取扱ヒ相成度尙町村道管理者ヘモ同様御通達相成度此段依命及通牒候也

記

- 一、堤防兼用道路占用ニ關シテハ兩管理者宛出願ノ許可ヲ受ケシムルコト但シ本願ヲ受理シタルトキハ意見ヲ付シ進達スルコト
- 明治三十一年大阪府令第三十九號及同三十四年府令第六十九號ノ河川ノ道路兼用箇所ニ付認許ヲ稟請スル場合又ハ道路占用願ヒテ進達スル場合ハ他ノ出願ニ對スル意見ヲ副申スルコト
- 二、占用料ハ路面ニ對シテハ道路管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ收入トス
- 三、從來已ニ堤防敷占用トシテ許可シタル占用料ニ對シテハ期間内ハ堤防敷占用料トシテ處理スルモノトス

〔大阪土〕

四、第二號記載部分ノ維持修繕ハ道路管理者之ヲ爲シ其ノ費用ハ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ負擔トス但シ災害復舊ニ要スル費用ノ負擔ニ關シテハ其都度協商スルモノトス

第三章 施行河川

●河川法

明治二十九年四月八日
法律第七十一號

改正

大正四年六月法律第四號、昭和二年三月第三號、九年三月第二〇號

第一章 總則

- 第一條 此ノ法律ニ於テ河川ト稱スルハ主務大臣ニ於テ公共ノ利害ニ重大ノ關係アリト認定シタル河川ヲ謂フ
- 第二條 河川ノ區域ハ地方行政廳ノ認定スル所ニ依リ流水河川ノ區域外ニ出テテ永期ニ渉ルヘキモノト認ムルトキハ地方行政廳ハ其ノ河川ノ區域ヲ變更スヘシ
- 第三條 河川並其ノ敷地若ハ流水ハ私權ノ目的トナルコトヲ得ス
- 第四條 地方行政廳ニ於テ河川ノ支川若ハ派川ト認定シタルモノハ命令ヲ以テ特別ノ規程ヲ設ケタル場合ヲ除クノ外總テ河川ニ關スル規程ニ從フ
- 堤防、護岸、水制、河津、曳船道其ノ他流水ニ因リテ生スル公利ヲ増進シ又ハ公害ヲ除却若ハ輕減スル爲ニ設ケタルモノニシテ地方行政廳ニ於テ河川ノ附屬物ト認定シタルモノハ命令ヲ以テ特別ノ規程ヲ設ケタル場合ヲ除クノ外總テ河川ニ關スル規程ニ從フ
- 第五條 此ノ法律ニ規定シタル事項ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ

第四類 河川 第三章 施行河川

〔大阪土〕

河川ニ流入シ若ハ河川ヨリ分岐スル水流若ハ水面又ハ第一條ノ認定ヲ受ケサル河川ニ準用スルコトヲ得

第二章 河川ノ管理

- 第六條 河川ハ地方行政廳ニ於テ其ノ管内ニ係ル部分ヲ管理スヘシ但シ主務大臣カ自ラ河川ニ關スル工事ヲ施行シタルモノニ付必要ト認ムルトキ又ハ他府縣ノ利益ヲ保全スル爲ニ必要ト認ムルトキハ主務大臣ニ於テ代テ之ヲ管理シ又ハ其ノ維持修繕ヲナスコトヲ得
- 第七條 地方行政廳ハ河川ニ關スル工事ヲ施行シ其ノ維持ヲナスノ義務アルモノトス但シ第四十三條ニ依リ通航料徴收ノ許可ヲ得タル者ヲシテ其ノ義務ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ妨ケス
- 第八條 河川ニ關スル工事ニシテ利害ノ關係スル所一府縣ノ區域ニ止マラザルトキ又ハ其ノ工事至難ナルトキ若ハ其ノ工費至大ナルトキ又ハ河川ノ全部若ハ一部ニ付キ大體ニ涉ル一定ノ計畫ニ基キテ施行スル改良工事ナルトキハ主務大臣ハ自ラ其ノ工事ヲ施行シ又ハ其ノ工事ニ因リ特ニ利益ヲ受クル公共團體ノ行政廳ニ命シテ之ヲ施行セシムルコトヲ得
- 前項ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ此ノ法律ニ依リテ地方行政廳ノ有スル職權ヲ直接施行スルコトヲ得
- 第九條 地方行政廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ管内ノ下級

行政廳ヲシテ河川ニ關スル工事ノ一部ヲ施行セシメ又ハ其ノ維持ヲナサシムルコトヲ得

第十條 河川ノ附屬物ニシテ兼テ他ノ工作物ノ效用ヲナスモノアルトキハ地方行政廳ハ其ノ工作物ノ管理者ヲシテ其ノ附屬物ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ其ノ維持ヲナサシムルコトヲ得

他ノ工作物ニシテ兼テ河川ノ附屬物ノ效用ヲナスモノアルトキハ地方行政廳ニ於テ其ノ工作物ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ其ノ維持ヲナサシムルコトヲ得

第十一條 他ノ工事ニ因リ河川ニ關スル工事ノ必要ヲ生シタルトキハ地方行政廳ハ其ノ工事ノ施行者ヲシテ河川ニ關スル工事ヲ施行セシムルコトヲ得

河川ニ關スル工事ニ因リ必要ヲ生シタル他ノ工事又ハ河川ニ關スル工事ヲ施行スル爲ニ必要ナル他ノ工事ハ地方行政廳ニ於テ併セテ之ヲ施行スルコトヲ得

第十二條 行政廳ハ河川ニ關スル工事ノ請負ヲナスコトヲ得

第十三條 河川ニ關スル工事ノ請負ノ制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 地方行政廳ハ其ノ管理ニ屬スル河川ノ臺帳ヲ調製シ主務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

〔大阪土〕

ハ命令ヲ以テ之ヲ禁止若ハ制限シ又ハ地方行政廳ノ許可ヲ受ケシムルコトヲ得

第二十條 左ノ場合ニ於テ地方行政廳ハ許可ヲ取消シ若ハ其ノ效力ヲ停止シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ又ハ既ニ施設シタル工作物ヲ改築若ハ除却セシメ又ハ原形ノ回復ヲ命ジ又ハ許可セラレタル事項ニ因リテ生スル危害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ヲナサシムルコトヲ得

一 工事施行ノ方法若ハ施行後ニ於ケル管理ノ方法公安ヲ害スルノ虞アルトキ

二 河川ノ狀況ノ變更其ノ他許可ノ後ニ起リタル事實ニ因リ必要ヲ生スルコトキ

三 河川ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ許可ヲ與ヘタルモノノ外ニ工事、使用若ハ占用ヲ許可スル爲ニ必要ナルトキ

四 此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規程ニ依リ必要ヲ生スルトキ

五 法律命令ニ違背シタルトキ
六 公益ノ爲ニ必要アルトキ
第二十一條 本章ノ規程ニ依リ與ヘタル許可ニ依リテ生スル權利義務ハ地方行政廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ他人ニ移スコトヲ得ス

第二十二條 法律、命令若ハ許可ノ條件ニ違背シタル者ハ行

之ヲ定ム

主務大臣ノ認可ヲ經タル臺帳ニ記載セル事項ニ關シテハ反對ノ立證ヲ許サス但シ臺帳調製後其ノ事實ノ變更シタルコトヲ證スルヲ妨ケス

第十五條 地方行政廳ニ於テ河川管理ノ爲特ニ吏員ヲ置クコトヲ要スルトキハ其ノ定員、給料、手當、職務權限並其ノ費用ノ負擔者等ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第三章 河川ノ使用ニ關スル制限並警察

第十六條 舟筏ヲ通航及流水ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 左ニ記載スル工作物ヲ新築、改築若ハ除却セムトスル者ハ地方行政廳ノ許可ヲ受ケヘシ

一 流水ヲ停滯セシメ若ハ引用シ又ハ流水ノ害ヲ豫防スル爲ニ施設スル工作物

二 河川ニ注水スル爲ニ施設スル工作物

三 河川ノ區域内ニ於テ敷地ニ固著シテ施設スル工作物

又ハ河川ニ沿ヒ若ハ河川ヲ横過シ若ハ其ノ床下ニ於テ施設スル工作物

第十八條 河川ノ敷地若ハ流水ヲ占用セムトスル者ハ地方行政廳ノ許可ヲ受ケヘシ

第十九條 流水ノ方向、清潔、分量、幅員若ハ深淺又ハ敷地ノ現狀等ニ影響ヲ及ボスノ虞アル工事、營業其ノ他ノ行爲ヲナスヘシ

第二十三條 洪水ノ危險切迫ナルトキハ地方行政廳又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ其ノ現場ニ於テ直ニ防禦ノ爲ニ必要ナル土地ヲ使用シ土砂、竹木其ノ他ノ材料、車馬其ノ他ノ運搬具及器具等ヲ使用若ハ徵收シ又ハ其ノ現場ニ在ル者ヲ使役シ又ハ家屋其ノ他ノ障害物ヲ破毀スルコトヲ得

使役シ又ハ家屋其ノ他ノ障害物ヲ破毀スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ地方行政廳又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ其ノ管内ニ於テ夫役ヲ命ジ又ハ下級公共團體ニ命ジテ土地、材料、運搬具、器具及夫役ヲ供セシメ又ハ市町村長其ノ他ノ市町村吏員等ヲ指揮シテ必要ナル處分ヲナサシムルコトヲ得

地方行政廳ハ其ノ管内ノ下級公共團體ニ命ジテ豫メ洪水防禦ノ爲ニ必要ナル準備ヲナサシムルコトヲ得

第四章 河川ニ關スル費用ヨリ生スル收入等

第二十四條 河川ニ關スル費用ハ府縣ノ負擔トス

主務大臣ニ於テ第六條但書ニ依リ河川ノ管理若ハ其ノ維持修繕ヲナス場合ニ於テハ國庫ニ於テ其ノ費用ノ全部若ハ一部ヲ負擔スルコトヲ得

第一項費用ノ範圍ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第二十五條 通航料徴収ノ許可ヲ受ケテ施設シタル工作物ノ爲ニ要スル費用ハ其ノ徴收期間許可ヲ受ケタル者ノ負擔トス

第二十六條 河川ノ改良工事ニ要スル豫算費用ニシテ其ノ府縣内ノ地價總額千分ノ二箇半ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ノ三分ノ二以内ヲ國庫ヨリ補助スルコトヲ得但シ地價總額百分ノ二箇半ヲ超過スル部分ニ付テハ其ノ超過額ノ四分ノ三以内ヲ補助スルコトヲ得

前項ニ於テ地價ト稱スルハ其ノ年分地租ヲ徴收スヘキ土地ノ一月一日現在地價ヲ謂フ
災害ニ因リ必要ヲ生シタル工事ニ要スル費用ハ第一項ニ依ルノ限ニ在ラス

工事費用精算ノ上豫算ヨリ減スルコトアルモ既ニ與ヘタル補助金ハ之ヲ還付セシメサルコトヲ得

第二十七條 第八條ニ依リ主務大臣ニ於テ工事ヲ施行スル場合ニ於テハ府縣ハ前條ノ規程ニ準シテ其ノ豫算費用ヲ負擔シ國庫ハ其ノ殘額ヲ負擔スヘシ
前項ノ場合ニ於テ府縣ノ負擔スヘキ金額並不足額ノ補充及殘餘金ノ處分等ハ主務大臣之ヲ定ム

第二十八條 第八條ニ依リ主務大臣ニ於テ工事ヲ施行スル場合ニ於テハ府縣ハ其ノ負擔スヘキ豫算金額ヲ國庫ニ納付スヘシ

〔大阪土〕

第二十九條 地方行政廳ハ其ノ管内ノ下級公共團體ヲシテ河川ニ關スル費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十條 河川ノ附屬物ニシテ兼テ他ノ工作物ノ效用ヲナスモノアルトキハ其ノ工作物ノ管理者タル行政廳ノ直接ニ管轄スル公共團體若ハ管理者タル私人ヲシテ其ノ附屬物ニ關スル費用ノ全部若ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十一條 營業ノ結果ニ因リ特ニ河川ニ關スル工事ノ必要ヲ生セシムルモノアルトキハ其ノ營業者ヲシテ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十二條 河川ニ關スル工事ニシテ他ノ工事ニ因リ必要ヲ生シタルモノナルトキハ其ノ費用ハ工事ノ必要ヲ生シタル程度ニ於テ其ノ原因タル工事ノ費用負擔者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

河川ニ關スル工事ニ因リテ必要ヲ生シタル他ノ工事ノ費用ハ其ノ工事ノ管理者タル行政廳ノ直接ニ管轄スル公共團體若ハ管理者タル私人ノ負擔トス但シ命令ノ定ムル所ニ從ヒ河川ニ關スル費用ノ内ヨリ其ノ費用ノ全部若ハ一部ヲ補助スルコトヲ妨ケス

第三十三條 河川ニ關スル工事ニシテ他ノ府縣若ハ他府縣内ノ公共團體ニ於テ著シク利益ヲ受クルモノナルトキ又ハ河川ニ關スル工事若ハ其ノ維持ニシテ主トシテ他府縣内ノ住民ノ河川ノ使用ニ因リ必要ヲ生スルモノナルトキハ其ノ府

〔大阪土〕

縣若ハ其ノ府縣内ノ公共團體ヲシテ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十四條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政廳ノ命シタル事項ヲ遵守スル爲ニ要スル費用ハ特別ノ規程ヲ設ケタル場合ヲ除クノ外其ノ命ヲ受ケタル者ノ負擔トス

第五十二條ニ依リ主務大臣若ハ地方長官ニ於テ義務者ノ履行スヘキ事項ヲ自ラ執行シ若ハ第三者ヲシテ執行セシメタル力爲ニ要シタル費用ハ其ノ義務者ヨリ之ヲ追徴スルコトヲ得

第三十五條 公共團體ハ河川ニ關スル工事若ハ費用ノ爲寄付ヲナスコトヲ得

第三十六條 公共團體ハ河川ニ關スル費用ニ付キ私人若ハ其ノ区域内ノ下級公共團體ニ補助ヲナスコトヲ得

第三十七條 公共團體ハ河川ニ關スル費用ニ付キ利害關係ノ厚薄ヲ標準トシテ其ノ区域内ニ於テ不均一ノ賦課ヲナスコトヲ得

第三十八條 河川ニ關スル工事ノ爲必要ナルトキハ地方行政廳ハ管内ノ土地若ハ森林ノ所有者ニ命シ補償金トシテ時價相當ノ金額ヲ下付シテ其ノ所有ニ係ル土石、砂礫、芝草、竹木及運搬具ヲ供給セシムルコトヲ得但シ時價ニ關シテ協議整ハサルトキ又ハ所有者不明ナルトキ若ハ其ノ所在不明

ナルトキハ地方行政廳ハ相當ト認ムル金額ヲ供託シテ本條ノ供給ヲナサシムルコトヲ得

第三十九條 河川ニ關スル工事ノ爲メ必要ナルトキハ地方行政廳ハ其ノ堤外地ニ立入り又ハ其ノ土地ノ材料置場等ニ供シ又ハ已ムヲ得サルトキハ其ノ土地ニ現在スル建設物其ノ他ノ障害物ヲ除却スルコトヲ得

堤外地ニ非サル沿岸若ハ沿堤土地ニ關シテハ其ノ地先ニ施行スヘキ工事ノ爲必要ナル場合ニ限り前項ヲ適用スルコトヲ得

前二項ノ適用ニ依リ損害ヲ受ケタル所有者ハ使用若ハ除却ノ後三箇月以内ニ府縣ニ對シ補償金ヲ請求スルコトヲ得

第四十條 第二十三條第一項ノ處分ニ因リ著シク損害ヲ受ケタル者アルトキハ地方行政廳ハ其ノ管内ノ市町村、町村組合若ハ水利組合ニ命シテ其ノ物件ノ價額ヲ補償セシムルコトヲ得其ノ價額ハ行政廳之ヲ定ム

前項補償ノ手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第四十一條 法律、命令若ハ許可認可ノ條件ニ違背シタル工事、設備、使用、占用若ハ工作物ノ管理ニ因リ損害ヲ受ケシメタル者ハ其ノ損害ヲ賠償スヘシ
前項ニ依リ行政廳ニ於テ下付スヘキ賠償金ハ其ノ行政廳ノ直接ニ管轄スル公共團體ノ負擔トス

第四十二條 流水ヲ停滯シ若ハ引用スル爲ノ工作物ノ施設其

ノ他河川ノ使用若ハ占用ヲ許可スルトキハ其ノ管理者、使用者若ハ占用者ヨリ使用料若ハ占用料ヲ徴收スルコトヲ得

本條ノ使用料若ハ占用料其ノ他河川ヨリ生スル收入ハ府縣ニ歸ス

第四十三條 地方行政廳ハ私人若ハ其ノ管内下級公共團體ニ於テ舟筏ノ便ヲ謀ル爲新築若ハ改築工事ヲ施行スル場合ニ限リ舟筏ヨリ通航料ヲ徴收スルコトヲ許可スルコトヲ得但シ其ノ年限ハ當初許可シタル時ヨリ三十箇年ヲ超過スルコトヲ得ス

通航料ノ徴收ヲ停止スヘキ場合ニ於ケル補償其ノ他通航料ノ制限等ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十四條 河川敷地ノ公用ヲ廢シタルトキハ地方行政廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ但シ此ノ法律施行前私人ノ所有權ヲ認メタル證據アルトキハ其ノ私人ニ下付スヘシ

第四十五條 河川附近ノ土地若ハ工作物ノ所有者ハ命令ノ規程ニ依リ行政廳ノ命スル所ニ從ヒ其ノ土地ノ缺壞若ハ土砂流出ヲ豫防スル爲又ハ其ノ工作物ノ河川ニ及ボス損害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ノ全部若ハ一部ヲナシ又ハ其ノ費用ノ全部若ハ一部ヲ負擔スルノ義務ヲ有ス

第四十六條 河川ニ土砂ヲ流出スルノ虞アル土地ノ所有者ハ

〔大阪土〕

行政廳ニ於テ其ノ土地ニ竹木芝草ヲ植附ケ若ハ培養シ又ハ其ノ他土砂扞止ノ設備ヲナシ若ハ之ヲ維持スルコトヲ拒ムコトヲ得ス

前項ニ依リ植附タル竹木芝草ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ土地所有者ヲシテ收益ノ全部若ハ一部ヲ取得シテ之ヲ培養スルノ義務ヲ負ハシムルコトヲ得

土砂扞止ノ爲ニ要スル土地ハ行政廳ニ於テ土地收用法ニ依リ之ヲ收用スルコトヲ得

第一項土地ノ區域ハ地方行政廳ニ於テ豫メ之ヲ告示スヘシ

第四十七條 此ノ法律ヲ以テ定メタルモノノ外河川附近ノ土地、家屋若ハ其ノ他ノ工作物ニ關シ河川ノ公利ヲ增進シ又ハ公害ヲ除却若ハ輕減スル爲ニ必要ナル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十八條 河川若ハ河川附近ノ土地ニ關シテ規定シタル事項ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ河川ニ關スル工事ニ因リ新ニ河川トナルヘキ區域若ハ其ノ附近ノ土地ニ之ヲ準用スルコトヲ得

第五章 監督及強制手續
第四十九條 主務大臣ハ河川ニ關スル行政ヲ監督ス

〔大阪土〕

直ニ其ノ納付ノ目的又ハ過料ニ充用スルコトヲ得

前項保證金ハ他ノ債權ノ爲ニ差押フルコトヲ得ス

第五十五條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ私人ニ於テ負擔スヘキ費用及過料ハ此ノ法律ニ於テ特ニ民事訴訟ヲ許シタル場合ヲ除クノ外行政廳ニ於テ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ徴收スルコトヲ得

前項ノ費用及過料ニ付キ行政廳ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有スルモノトス

此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ公共團體ニ於テ負擔スヘキ費用ニ關シテハ此ノ法律ニ於テ特ニ民事訴訟ヲ許シタル場合ヲ除クノ外主務大臣若ハ地方長官ハ必要ナル場合ニ於テハ金額ヲ定メテ之ヲ其ノ豫算表ニ掲ケ其ノ他必要ナル處分ヲ指揮シ直ニ其ノ金額ヲ支出セシムルコトヲ得

第五十六條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政廳ニ付與シタル職權ハ行政處分ニ依リ之ヲ強制スルコトヲ得

行政廳ノ許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ關シテモ本條及前條ヲ準用ス

第五十七條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ於テ規定シタル事項ニ關シテハ河川視察ノ職務ヲ有スル官吏ヲシテ命令ノ定ムル所ニ從ヒ警察官ノ職權ノ全部若ハ一部

認可ヲ要スルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十五條 及**第三十六條**ニ規定シタル事項並此ノ法律ニ依リ行政廳ニ付與シタル職權ニ關シテハ命令ヲ以テ制限ヲ設クルコトヲ得

第五十條 他ノ府縣若ハ他ノ府縣内ノ公共團體ヲシテ費用ヲ負擔セシムル爲ニ必要ナル手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條 主務大臣ハ地方行政廳ニ命シテ河川ニ關スル工事ヲ施行セシメ又ハ河川ノ區域及其ノ附屬物ノ認定若ハ臺帳ノ更正ヲナサシメ其ノ他此ノ法律ニ規定シタル地方行政廳ノ職權ヲ施行セシムルコトヲ得

第五十二條 義務者ニ於テ此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ義務ヲ履行セス若ハ之ヲ履行スルモ必要ノ期限内ニ終了スルノ見込ナキトキ又ハ其ノ履行ノ方法宜ヲ得サルトキハ主務大臣若ハ地方長官ハ自ラ之ヲ執行シ又ハ

第三者ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

第五十三條 私人ニ於テ此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ義務ヲ怠ルトキハ主務大臣若ハ地方長官ハ一定ノ期限ヲ示シ若期限内ニ履行セサルトキ若ハ之ヲ履行スルモ不充分ナルトキハ千圓以内ニ於テ指定シタル過料ニ處スルコトヲ豫告シテ其ノ履行ヲ命スルコトヲ得

第五十四條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シ納付セシメタル保證金ハ行政廳ニ於テ

ヲ執行セシムルコトヲ得

第五十八條 此ノ法律ニ規定シタル私人ノ義務ニ關シテハ命令ヲ以テ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ノ罰則ヲ設ケルコトヲ得

第六章 訴訟及訴訟

第五十九條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ主務大臣若ハ地方行政廳ノナシタル處分ニ對シテ不服アル私人若ハ公共團體ハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得
此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令若ハ地方行政廳ノ委任ニ依リ下級行政廳ノナシタル處分ニ對シテ不服アル私人若ハ公共團體ハ地方長官ニ訴願シ地方長官ノ裁決ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得
此ノ法律ニ依リ行政訴訟ノ提起ヲ許シタル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第六十條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シ行政廳ノ違法處分ニ依リ權利ヲ毀損セラレタリトスル私人若ハ公共團體ハ前條ニ依リ訴願ノ裁決ヲ經タル後行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得但シ主務大臣若ハ地方行政廳ノ處分ニ對シテハ直ニ之ヲ提起スルコトヲ得
第六十一條 第四十一條第一項ニ依リ損害賠償ヲ請求スル私人若ハ公共團體ハ損害ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

〔大阪土〕

法律、命令若ハ許可認可ノ條件ニ違背シタルヤ否ヤニ付キ爭アルトキハ前數條ノ手續ニ依リ其ノ違背シタリトノ事實確定シタル後ニ非サレハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ前項ノ期間ハ確定ノ日ヨリ起算スルモノトス

第六十二條 第三十八條若ハ第三十九條ニ依リ下付スヘキ補償金額ニ對シ不服アルトキハ行政廳ニ於テ補償金額ノ通知ヲナシタル日ヨリ六箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得但シ第三十九條ノ場合ニ於テ補償金額請求ノ後三箇月以内ニ其ノ金額ノ通知ナキトキハ其ノ期限經過後六箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六十三條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シテハ本章ノ規程ニ依リ特ニ許シタル場合ヲ除クノ外訴願若ハ行政訴訟ヲ提起シ又ハ行政廳ニ對シ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七章 附則

第六十四條 此ノ法律ノ全部若ハ一部ヲ施行スヘキ區域及時期ハ主務大臣之ヲ定ム

第六十五條 河川ノ臺帳ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ二箇年以内ニ之ヲ調製スヘシ

〔大阪土〕

告示スヘシ
前項ノ工事ヲ終了シタルトキハ官報ヲ以テ之ヲ告示スヘシ

第五條 河川法第六條但書ニ依リ内務大臣ニ於テ河川ノ管理又ハ維持修繕ヲナストキハ内務省直轄ノ土木事業ニ準シテ土木出張所長之ヲ行フ

第六條 河川法第三十八條ニ依リ府縣知事ニ於テ土石、砂礫、芝草、竹木及運搬具ノ供給ヲナシメントスルトキハ少クトモ五日前ニ其ノ供給セシムヘキ物件ノ種類、數量及補償金額等ヲ其ノ所有者ニ通知スヘシ

第七條 河川法第三十九條ニ依リ府縣知事ニ於テ堤外地、沿岸若ハ沿堤土地ニ立入り又ハ之ヲ材料置場等ニ供セントスルトキハ少クトモ五日前ニ又之ニ現在スル建設物其ノ他ノ障害物ヲ除却セントスルトキハ少クトモ十五日前ニ其ノ場所若ハ建設物等ヲ其ノ所有者ニ通知スヘシ

第八條 河川法施行前ニ確定シタル河川ニ關スル費用ノ豫算ハ河川法施行ノ爲其ノ效力ヲ失ハス
前項豫算ニ依リ執行スヘキ事項ハ從前ノ規程又ハ慣習ニ依リ既ニ定リタル執行者ニ於テ之ヲ行フ

第九條 河川法施行前ニ私人ノ所有權ヲ認メタル河川ノ敷地ニシテ荒地ニアラサルモノハ從前ノ所有者若ハ其ノ相續人ノ請求ニ因リ府縣知事ハ公益ヲ妨ケサル限ニ於テ其ノ占用ヲ許可スヘシ

第六十六條 北海道ニ付テハ本法中府縣ニ關スル規定ハ道ニ關シ、水利組合ニ關スル規定ハ土功組合ニ關シ之ヲ適用ス

第六十七條 北海道ノ河川中主務大臣ノ指定スルモノニ關シテハ當分ノ内第二十四條第一項及第四十二條第二項ノ規定ニ拘ラズ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

河川法施行規程

明治二十九年六月三日
勅令第二百三十六號

改正 明治三十二年六月勅令第二八六號、昭和九年一〇月第二九九號

第一條 内務大臣ニ於テ公共ノ利害ニ重大ノ關係アリト認定シタル河川ハ官報ヲ以テ之ヲ告示スヘシ

第二條 内務大臣ニ於テ河川法ノ全部若ハ一部ヲ施行スヘキ區域及時期ヲ定メタルトキ亦同シ

第三條 沿岸、沿堤及河川附近ノ土地ノ區域ハ府縣知事之ヲ定メ内務大臣ノ定ムル方法ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第四條 河川法第八條ニ依リ内務大臣ニ於テ自ラ工事ヲ施行シ又ハ河川ニ關スル工事ニ因リ特ニ利益ヲ受ケル公共團體ノ行政廳ニ命シテ工事ヲ施行セシムル場合ニ於テハ官報ヲ以テ其ノ工事ヲ施行スヘキ河川並ニ其ノ區域及起工年度ヲ

第十條 府縣知事ニ於テ從前ノ所有者若ハ其ノ相續人ニ前條ノ占用ヲ許可セサルトキ又ハ之ヲ禁止スルトキハ府縣ハ內務大臣ノ認可ヲ得テ相當ノ補償金ヲ下付スヘシ
公共ノ利益トナルヘキ事業ノ爲前項處分ノ必要ヲ生スルトキハ府縣知事ハ其ノ事業ノ許可ノ條件トシテ其ノ執行者ヲシテ補償金ノ全部若ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ妨ケス
河川ニ關スル工事ニ因リ下付ノ必要アル第一項ノ補償金ハ其ノ工事ノ豫算費用中ニ算入スヘシ

第十一條 河川法若ハ之ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政廳ノ許可ヲ受クヘキ事項ニシテ其ノ施行ノ際ニ現存スルモノハ河川法若ハ之ニ基キテ發スル命令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス但其ノ施行ノ日ヨリ三箇月以内ニ府縣知事ニ於テ更ニ許可ヲ受クヘキコトヲ命シタルモノハ此ノ限ニアラズ

河川法施行前許可ニ附シタル條件ハ河川法若ハ之ニ基キテ發スル命令ニ抵觸セサル程度ニ於テ效力ヲ有ス

第十二條 河川法施行前ニ許可シタル通航料ノ徵收ハ從前ノ規程ニ依ル但徵收ノ期限ナキモノハ府縣知事ニ於テ河川法施行後三十箇年以内ノ期限ヲ定メテ之ヲ許可スヘシ

第十三條 內務大臣ハ河川法ニ規定シタル私人ノ義務ニ關シ其ノ發スル所ノ命令ニ三月以下ノ懲役若ハ禁錮、百圓以下ノ罰金、拘留又ハ科料ノ罰則ヲ附スルコトヲ得

〔大阪土〕

府縣知事及警視總監ハ河川法ニ規定シタル私人ノ義務ニ關シ其ノ發スル所ノ命令ニ五十圓以下ノ罰金、拘留又ハ科料ノ罰則ヲ附スルコトヲ得

第十四條 河川法第四條、第五條、第十三條、第十五條、第十六條、第十九條、第四十五條及第四十六條第二項ニ依リテ發スル命令ハ府縣令ヲ以テスルコトヲ得但東京府ニ在テハ第十六條及第十九條中警察ニ係ル事項ハ警視廳令ヲ以テスルコトヲ得

第十五條 北海道ニ付テハ本令中府縣ニ關スル規定ハ道ニ關シ、府縣知事ニ關スル規定ハ北海道廳長官ニ關シ、府縣令ニ關スル規定ハ北海道廳令ニ關シ之ヲ適用ス
河川法第六十七條ノ規定ニ依リ指定シタル河川ニ在リテハ前項ノ規定ニ拘ラズ第十條中府縣ハ內務大臣ノ認可ヲ得テトアルハ國庫トス

●河川法ニ依リ河川敷地認定ノ件

明治四十年三月四日
大阪府告示第四十八號

河川法第二條ニ依リ左ノ區域ヲ河川敷地ト認定ス

一、淀川右岸 自西成郡大道村大字南大道河川測標 YP35 號二十間上流

〔大阪土〕

番號 區 域

第一號 自三島郡吹田町字御旅島第五千四十三番地先

第二號 自東淀川區小松町第六百五十二番地先
別紙圖面ノ區域 (略ス)

第三號 自東淀川區小松町第二百二十八番地先

第四號 自東淀川區江口町第二百二十四番地先
別紙圖面ノ區域 (略ス)

第五號 自東淀川區江口町第一番地先

第六號 自東淀川區江口町第七番地ノ三地先
別紙圖面ノ區域 (略ス)

第七號 自東淀川區小松町第二百二十八番地先

第八號 自東淀川區江口町第八百十八番地先
別紙圖面ノ區域 (略ス)

第九號 自東淀川區小松町第二百二十八番地先

第十號 自東淀川區江口町第八百十八番地先
別紙圖面ノ區域 (略ス)

●淀川派川神崎川堤防ノ公用廢止並區域認定

昭和四年三月十四日
大阪府告示第四百十二號

淀川派川神崎川筋ニ於ケル左記堤防ノ公用ヲ廢止シ更ニ之ヲ

●淀川派川神崎川區域變更並公用廢止

昭和二年二月二十八日
大阪府告示第八十四號

淀川派川神崎川ノ區域ヲ左記ノ通一部變更シ其ノ公用ヲ廢止セリ

左岸 河川敷

第四類 河川 第三章 施行河川

一、同 同

至同郡同村同大字河川測標 YP47 號
自西成郡西中島村大字柴島河川測標 YP48 號

一、淀川左岸

至同郡川北村大字矢倉地先海口
自北河內郡庭窪村大字大庭七番字大切六六
二番宅地ノ西

一、同 同

至同郡同村大字八雲舊下島字長池甲一二四
番田ノ西
自東成郡城北村大字赤川字堤下一三四七番
宅地ノ北

一、同 同

至同郡同村大字毛馬字南脇八九八番畑ノ西
自同郡同村大字毛馬關門

一、同 同

至大阪市西區常吉町地先海口
右沿堤内ニ建設ノ河川幅杭間

同河川ノ區域ニ認定ス

大阪市西淀川區加島町字錢坐第千三百八十番地先ヨリ大阪市西淀川區加島町字外浮之島第千三百七十八番地ノ三地先ニ至ル堤防

淀川派川神崎川區域變更

昭和十年十月四日 大阪府告示第七百三十八號

河川法第二條ニ依リ淀川派川神崎川ノ河川區域ヲ左ノ通變更ス

右岸ノ一部

區	域	摘	要
自大阪市西淀川區佃町七九一番地先			
至同 市同	區同町七九六番地先		
		左記圖面ノ區域	

(圖面略ス)

淀川派川神崎川區域變更竝公

(大阪土)

用廢止

昭和十一年一月二十四日 大阪府告示第六十六號

淀川派川神崎川河川ノ區域ヲ左記ノ通變更シ其ノ公用ヲ廢止ス

右岸

一、自大阪市西淀川區佃町七九一番地

至同 市同 區同町一〇二番地

二、自大阪市西淀川區蒲島町一番地

至同 市同 區佃町七九六番地

左岸

一、自大阪市西淀川區大和田町一三六九番地ノ二

至同 市同 區同 町一七九四番地ノ六

左記圖面ノ通

(圖面略ス)

淀川派川神崎川支川安威川及小支川茨木川區域認定

昭和十一年六月十二日 大阪府告示第六百七十二號

河川法第二條ニ依リ河川法施行河川淀川派川神崎川支川安威川及小支川茨木川ノ河川區域左ノ通認定ス

淀川派川神崎川支川安威川

左岸

大阪府三島郡安威村大字安威字長ヶ淵五百三十三番地先

右岸

大阪府三島郡安威村大字安威字花園百二十七番地先

淀川派川神崎川小支川茨木川

左岸

大阪府三島郡安威村大字安威字山西千一百一十一番地先

右岸

大阪府三島郡福井村大字中河原字勝尾寺川筋二十一番地先

ヨリ下流神崎川合流ニ至ル區間ノ國有河敷全部

ヨリ下流安威川合流ニ至ル區間ノ國有河敷全部

(大阪土)

淀川河川區域ノ變更竝公用廢止

昭和四年三月二十五日 大阪府告示第五百五十七號

淀川ノ内河川ノ區域ヲ左記ノ通變更シ其ノ公用ヲ廢止セリ

右岸 大阪市北區堂島濱通四丁目二十七番地地先ヨリ大阪市此花區下福島二丁目百五十番ノ一地先ニ至ル

(別紙圖面ノ區域略ス)

淀川竝淀川支川寢屋川區域變更竝公用廢止

昭和七年三月七日 大阪府告示第五百五十二號

淀川竝淀川支川寢屋川ノ區域ヲ左記ノ通變更シ其ノ公用ヲ廢止セリ

一、淀川

河川敷

大阪市東區京橋三丁目四十七番地地先ヨリ

別紙圖面ノ通

大阪市東區京橋二丁目四十一番地地先ニ至ル

一、淀川支川寢屋川

河川敷

七五

淀川支川天野川區域變更竝公用廢止

昭和二年六月三十日 大阪府告示第二百九十六號

淀川支川天野川左記河川ノ區域ヲ變更シ其ノ公用ヲ廢止セリ

大阪府北河内郡牧野村大字禁野字南川原第八百番地地先ヨリ同府同郡同村大字同字同第八百五十一番地地先ニ至ル

堤防敷地(圖面ノ通)

大阪府北河内郡牧野村大字禁野字南川原第八百一番地地先ヨリ同府同郡同村大字同字同第八百八番地地先ニ至ル

河川敷地(圖面ノ通)

(別紙圖面ノ區域略ス)

大阪市東區京橋二丁目四十一番地先ヨリ
大阪市東區京橋二丁目二十八番地先ニ至ル
別紙圖面ノ通
(圖面略ス)

●淀川派川中津川ノ區域變更並
公用廢止

昭和四年四月二十二日
大阪府告示第二百三十六號

淀川派川中津川ノ區域ヲ左記ノ通變更シ其ノ公用ヲ廢止セリ
河川敷

大阪市此花區常吉町八十二番地ノ一地先ヨリ同市同區同町同
番地ノ一地先ニ至ル
別紙圖面ノ區域 (圖面略ス)

堤防敷

大阪市此花區常吉町八十二番地ノ一地先ヨリ同市同區同町同
番地ノ一地先ニ至ル
別紙圖面ノ區域 (圖面略ス)

●淀川派川中津川區域變更並公
用廢止

昭和四年六月三日
大阪府告示第三百十七號

淀川派川中津川筋ニ於ケル河川區域ヲ左記ノ通變更シ其ノ公
用ヲ廢止セリ

(大阪土)

河川敷

左岸 大阪市此花區島屋町第三百九十番地先ヨリ大阪市
此花區島屋町第四百三番ノ一地先ニ至ル

右岸 大阪市此花區秀野町第四十一番地ノ三地先ヨリ大
阪市此花區西島町第四百二十八番地先ニ至ル
(圖面ノ通) (圖面略ス)

公共物揚場
淀川派川中津川筋左記公共物揚場ノ區域ヲ變更シ其ノ公用ヲ
廢止セリ
昭和五年三月二十日
大阪府告示第二百二十九號

●淀川派川中津川公共物揚場ノ
區域變更並公用廢止

昭和五年三月二十日
大阪府告示第二百二十九號

淀川派川中津川筋左記公共物揚場ノ區域ヲ變更シ其ノ公用ヲ
廢止セリ

右岸 大阪市西淀川區傳法町北一丁目地先千鳥橋下流
(圖面ノ通)

公共物揚場

左岸 大阪市此花區四貫島元宮町地先千鳥橋下流
(圖面ノ通)

公共物揚場
淀川派川尻無川ノ內河川ノ區域ヲ左記ノ通變更シ其ノ公用ヲ
廢止セリ
昭和四年四月二十二日
大阪府告示第二百三十七號

(圖面ノ通)

(圖面略ス)

(大阪土)

●淀川派川中津川公共物揚場區
域變更並公用廢止

昭和五年九月二十二日
大阪府告示第八百三十八號

淀川派川中津川筋左記公共物揚場ノ區域ヲ變更シ其ノ公用ヲ
廢止セリ

公共物揚場

大阪市此花區四貫島元宮町森集橋上流 (圖面ノ通)

(圖面略ス)

●淀川派川中津川區域變更

昭和六年三月三十一日
大阪府告示第二百二十七號

淀川派川中津川ノ區域ヲ左ノ通變更ス
淀川派川
中津川
左岸 大阪市東淀川區長柄濱通四丁目
右岸 同上
長柄濱河頭部扉以下傳法閘門ニ至ル

第四類 河川 第三章 施行河川

●淀川派川尻無川ノ區域變更並
公用廢止

昭和四年四月二十二日
大阪府告示第二百三十七號

淀川派川尻無川ノ內河川ノ區域ヲ左記ノ通變更シ其ノ公用ヲ
廢止セリ

左岸

第一號 大阪市西區仲ノ町一丁目六十一番地先ヨリ大阪市西區仲
ノ町一丁目十二番地先ニ至ル
別紙圖面ノ通 (圖面略ス)

第二號

大阪市西區高砂町一丁目一番地ノ一地先ヨリ大阪市西區
高砂町一丁目十一番地先ニ至ル
別紙圖面ノ通 (圖面略ス)

第三號

大阪市西區高砂町一丁目四十四番地先ヨリ大阪市西區高
砂町一丁目三十番地ノ甲地先ニ至ル
別紙圖面ノ通 (圖面略ス)

第四號

大阪市西區十返町三十七番地ノ三地先ヨリ大阪市西區十
返町一丁目三十三番地ノ甲地先ニ至ル
別紙圖面ノ通 (圖面略ス)

第四類 河川 第三章 施行河川

返町三十五番地ノ二地先ニ至ル

別紙圖面ノ通 (圖面略ス)

第五號

大阪市西區十返町三十四番地先ヨリ大阪市西區十返町二十番地先ニ至ル

別紙圖面ノ通 (圖面略ス)

第六號

大阪市西區花園町六十一番地ノ乙ノ九地先ヨリ大阪市西區花園町六十一番地ノ乙ノ十地先ニ至ル

別紙圖面ノ通 (圖面略ス)

右岸

第一號

大阪市西區梅本町六十七番地先ヨリ大阪市西區梅本町四十一番地ノ一地先ニ至ル

別紙圖面ノ通 (圖面略ス)

第二號

大阪市西區梅本町三十九番地先ヨリ大阪市西區梅本町三十番地ノ一地先ニ至ル

別紙圖面ノ通 (圖面略ス)

第三號

大阪市港區九條北通一丁目七百九十四番地先ヨリ大阪市港區九條通一丁目八百五十六番地先ニ至ル

別紙圖面ノ通 (圖面略ス)

第四號

〔大阪土〕

大阪市港區九條通一丁目八百五十九番地先ヨリ大阪市港區九條中通一丁目八百七十七番地先ニ至ル

別紙圖面ノ通 (圖面略ス)

●淀川派川木津川ノ區域變更並公用廢止

昭和四年十一月十四日
大阪府告示第六百七十七號

淀川派川木津川ノ内河川ノ區域ヲ左記ノ通變更シ其ノ公用ヲ廢止セリ

右岸

大阪市西區川口町三十六番地先ヨリ大阪市西區本田三番町九十一番地先ニ至ル

左記圖面ノ通 (圖面略ス)

●淀川派川木津川區域變更並公用廢止

昭和九年七月二十日
大阪府告示第五百二十二號

淀川派川木津川河川ノ區域ヲ左記ノ通變更シ其ノ公用ヲ廢止セリ

〔大阪土〕

第三號

自大阪市浪速區木津川町二丁目九十六番地ノ二地先
至大阪市浪速區木津川町一丁目九番地ノ三地先

同

(圖面略ス)

●淀川支川寢屋川ノ區域認定

昭和五年五月八日
大阪府告示第三百九十三號

淀川支川寢屋川筋ニ於ケル河川區域ヲ左記ノ通認定ス

河川敷

左岸 大阪市東區京橋前ノ町
右岸 大阪市北區網島町

以下淀川ニ至ル
(圖面略ス)

●淀川支川寢屋川區域變更並公用廢止

昭和五年五月八日
大阪府告示第三百九十四號

淀川支川寢屋川ノ區域ヲ左記ノ通變更シ其ノ公用ヲ廢止セリ
河川敷

右岸 番號	區域	備考
第一號	自大阪市大正區千島濱通三丁目五百一十一番地先 至大阪市大正區千島濱通一丁目二百四十番地ノ一地先	別紙圖面ノ通
第二號	自大阪市大正區千島濱通一丁目二百四十番地ノ一地先 至大阪市大正區新炭屋町百七十二番地先	同
第三號	自大阪市大正區三軒家濱通四丁目十一番地先 至大阪市大正區三軒家濱通一丁目十六番地先	同
第四號	自大阪市西區松島町三丁目二十七番地先 至大阪市西區松島町二丁目六十二番地先	同
左岸 番號	區域	備考
第一號	自大阪市西成區津守町三百九十三番地先 至大阪市西成區津守町三百八十七番地先	別紙圖面ノ通
第二號	自大阪市西成區津守町八百六十八番地ノ四地先 至大阪市西成區津守町六百七十三番地ノ二地先	同

第四類 河川 第三章 施行河川

大阪市東區京橋前ノ町五番地先ヨリ大阪市東區京橋二丁目二十八番地先ニ至ル

(圖面略ス)

淀川支川寢屋川同芥川區域變更

昭和五年七月十四日
大阪府告示第六百五號

淀川支川寢屋川同芥川ノ區域ヲ左記ノ通變更シ昭和五年七月二十五日ヨリ施行ス

一 淀川支川寢屋川

左岸 北河内郡豐野村大字秦字マシヅカ

右岸 北河内郡豐野村大字秦字イノウチ

第千四百七十七番地先

第千二百三十二番地先

以下淀川落合ニ至ル

一 淀川支川芥川

左岸 三島郡清水村大字服部字西ノ川原

右岸 三島郡清水村大字服部字小山谷第

二千四百四十番地先

以下淀川落合ニ至ル

淀川支川寢屋川區域變更並公用廢止

〔大阪土〕

昭和十年八月十六日
大阪府告示第五百八十一號

淀川支川寢屋川河川ノ區域ヲ左記ノ通變更シ其ノ公用ヲ廢止ス

右岸 大阪市旭區今福町千二百四十九番地地先ヨリ下流大阪

市旭區相生町三十七番地地先ニ至ル

左岸 大阪市旭區新喜多町二百七十七番地地先ヨリ下流大阪

市旭區鳴野町八百十五番地地先ニ至ル

(左記圖面ノ通)

(圖面略ス)

淀川支川水無瀬川區域變更

昭和六年三月三十一日
大阪府告示第二百二十八號

淀川支川水無瀬川ノ區域ヲ左ノ通變更ス

水無瀬川 右岸 三島郡島本村大字東大寺字鍋黒二百十番

地先

左岸 三島郡島本村大字東大寺字半阪山三十七

番地先

以下桂川落合ニ至ル

(圖面略ス)

新淀川河川區域變更

昭和七年七月二十五日
大阪府告示第五百一號

明治四十年三月大阪府告示第四十八號ヲ以テ認定シタル淀川筋河川區域ノ一部ハ之ヲ左ノ通派川新淀川ノ河川區域ニ變更ス

新淀川河川區域

左岸 大阪市東淀川區天神橋筋九丁

右岸 目九番地先所在標柱ヨリ

同市同區濱町百拾六番地先所

在標柱ヲ

見通シタル線

(幹川分界)ヨ

左岸 同 市此花區島舟町地先導流堤先

右岸 同 市西淀川區矢倉町地先右岸河

導流堤ノ方向ニ對シ北西九十度

ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

河ノ方位四六間五分ノ點ト右岸

〔大阪土〕

一 無堤部右岸河敷線起點ヨリ右岸河敷杭第一號ニ至ル間ハ其ノ見通線ヨリ外方ノ土地

以上別紙圖面ノ通

(圖面略ス)

淀川小派川正蓮寺川區域變更並公用廢止

昭和十一年四月三十日
大阪府告示第四百七十二號

淀川小派川正蓮寺川河川ノ區域ヲ左記ノ通變更シ其ノ公用ヲ廢止セリ

左岸 大阪市此花區島屋町四百二十五番地ノ一地先ヨリ大阪市

此花區島屋町新開一番地ノ一地先ニ至ル

(左記圖面ノ通)

(圖面略ス)

右岸 大阪市此花區西島町四百二十八番地先ヨリ大阪市此花區

常吉町六十三番地先ニ至ル

(左記圖面ノ通)

(圖面略ス)

間ニ於テ

一 有堤部ハ堤外堤敷線ヨリ傳法西島兩閘門ノ箇所ハ構造物

ノ外端線ヨリ各外方ノ土地

但シ堤塘外側ニ接シテ護岸ヲ施シタル箇所ニ在リテハ護

岸法先線ヲ以テ堤外堤敷線トス

(圖面略ス)

第四類 河川 第三章 施行河川

●河川法施行前ニ私人ノ所有權ヲ認メアル河川ノ敷地取扱方ノ件

明治三十一年六月二十八日
乙第七三號土木局長回答

大阪府知事宛

本月二十三日乙第二八二六號ヲ以テ河川法施行以前ニ私人ノ所有權ヲ認メアル河川敷地取扱方ニ關シ御問合ノ趣了承右ハ御見込ノ通ト存候此段及回答候也

大阪府知事伺(明治三十一年六月二十三日)
乙第二八二六號

従前私人ノ所有權ヲ認メタル河川ノ敷地ハ河川法第三條ニ依リ私權ノ目的ト爲ルコトヲ得サル筋合ニテ其區域ハ法第二條ニ依リ地方行政廳ニ於テ認定スヘキ管ナルモ河川臺帳ノ認可ヲ得タル上ニアラサレハ確認シ難キ部分少ナカラサルニ依リ右等ノ如キ河川敷地ノ不確定ナル當時ニ於テモ賣買讓與ハ有效ノモノトシ荒地ニアラサルモノハ其ノ認定前ノ所有者若ハ相續人ノ請求ニ依リ公益ヲ妨ケサル限ニ於テ占用ヲ許可スヘキ筋ニ候哉差懸リタル件有之候間至急何分ノ御回示有之度此段及問合候也

●河川法第四條第二項ニ依レル兩府縣ニ跨ル河川附屬物ニ關スル件

(大阪土)

スル件

明治三十五年六月二十五日
内務省令第十六號

改正 大正一四年一〇月内務省令第一八號

- 第一條 河川ノ附屬物カ府縣ノ境界ニ係ルトキハ關係府縣知事ノ一ニ於テ其附屬物ノ全部又ハ其一部ヲ管理スルコトヲ得
- 第二條 前條ノ場合ニ於テハ關係府縣知事協議ノ上管理ヲ爲スヘキ附屬物及其管理者ヲ定ムヘシ
前項ノ協議調ハサルトキハ内務大臣ノ指揮ヲ受クヘシ
管理ヲ爲スヘキ附屬物及其管理者確定シタルトキハ關係府縣知事ハ之ヲ告示スヘシ
- 第三條 管理者タル府縣知事ハ其附屬物ニ關スル工事ヲ施行シ其維持ヲ爲スノ義務アルモノトス
- 第四條 本令ノ規定ニ依レル河川ノ附屬物ニ要スル費用ハ其管理者タル府縣知事ノ管轄スル府縣ノ負擔トス
前項ノ費用ニ付テハ他ノ關係府縣ヲシテ其一部ヲ負擔セシムルコトヲ得此場合ニ於テハ明治三十二年内務省令第二十號ノ規定ヲ準用ス
- 第五條 本令ノ規定ニ依レル河川ノ附屬物ヨリ生スル收入ハ其管理者タル府縣知事ノ管轄スル府縣ニ歸ス
- 第六條 本令ノ規定ニ依レル河川ノ附屬物ニ付テハ各關係府

縣知事ニ於テ其管轄區域ニ屬スル部分ノ河川臺帳ヲ調製スヘシ

●淀川支派川ノ認定

明治二十九年十月一日
大阪府告示第四百二號

改正 明治三十三年八月告示第一六〇號、大正八年一〇月第二八四號、一一年六月第一六九號、昭和三年一〇月第五四六號

左記河川ハ河川法ニ依リ淀川ノ支派川ト認定ス

淀川支川

- 一、水無瀬川
區域 三島郡島本村大字東大寺字鍋黒以下淀川合流ニ至ル(昭和六年三月三十一日告示第二百二十八號ニヨリ區域變更)(六四頁參照)
- 一、檜尾川
區域 三島郡磐手村大字成合落合橋以下淀川合流ニ至ル
- 一、芥川
區域 三島郡芥川村大字芥川國道第三號路線芥川橋以下淀川合流ニ至ル(昭和五年七月十四日告示第六百五號ニヨリ區域變更)(六三頁參照)
- 一、船橋川
區域 北河内郡招提村車谷川合流處以下淀川合流ニ至ル

第四類 河川 第三章 施行河川

(大阪土)

一、穂谷川

區域 北河内郡山田村大字田口東高野街道長ヶ嶽橋以下淀川合流ニ至ル

一、天野川

區域 北河内郡交野村大字私部前川合流處以下淀川合流ニ至ル

一、寢屋川

區域 左岸 北河内郡豊野村大字秦字堤第七百八十八番ノ一地先府縣道枚方八尾線安全橋以下北河内郡寢屋川村大字萱島流作新田猪ノ鼻橋(寢屋川接續點)ニ至ル
右岸 北河内郡豊野村大字秦字堤ソエ第八百十九番ノ三地先府縣道枚方八尾線安全橋以下北河内郡四宮村大字巢本字猪ノ鼻第一番地先猪ノ鼻橋(寢屋川接續點)ニ至ル(昭和五年七月十四日告示第六百五號ニ依リ區域變更)(六三頁參照)

淀川派川

- 一、神崎川
區域 左岸西成郡中島村大字江口右岸三島郡味生村大字一津屋以下海ニ至ル

但シ諸分派川(大野川ヲ除ク)ヲ包含ス

一、中津川

區域 左岸西成郡豊崎町北長柄字蓬萊第四十六番地先(長柄運河頭部)ヨリ西成郡鷺洲町海老江字堤外島第八百四十二番地先(中津川接續點)ニ至ル

右岸同上以上左右護岸肩間

一、木津川

區域 左岸大阪市西區土佐堀通五丁目右岸外國人居留地以下海ニ至ル

一、尻無川

區域 左岸大阪市西區仲之町一丁目右岸大阪市西區梅本町以下海ニ至ル

●淀川派川認定

昭和六年三月三十一日 大阪府告示第二百二十六號

河川法第四條第一項ニ依リ左記河川ヲ淀川ノ派川ト認定ス

淀川派川

新淀川 左岸 大阪市東淀川區天神橋筋九丁目九番地先 標柱

〔大阪土〕

右岸 大阪市東淀川區濱町百十六番地先標柱 見通シ線以下海ニ至ル

●淀川派川認定

昭和六年四月一日 大阪府告示第二百三十八號

河川法第四條第一項ニ依リ左記河川ヲ淀川ノ派川ト認定ス

淀川小派

六軒屋川 左岸 大阪市此花區新家町二丁目千三百三十六番地先 右岸 大阪市此花區嬉ヶ崎町千六百三十五番地先 中津川分派點

淀川小派 左岸 大阪市此花區四貫島元 右岸 大阪市西淀川區傳法町 中津川分派點

正蓮寺川

左岸 大阪市此花區傳法町 右岸 大阪市西淀川區傳法町 以下海ニ至ル

●淀川支川認定

昭和七年二月二十九日 大阪府告示第二百二十七號

河川法第四條第一項ニ依リ左記河川ヲ淀川ノ支川ト認定ス

淀川支川

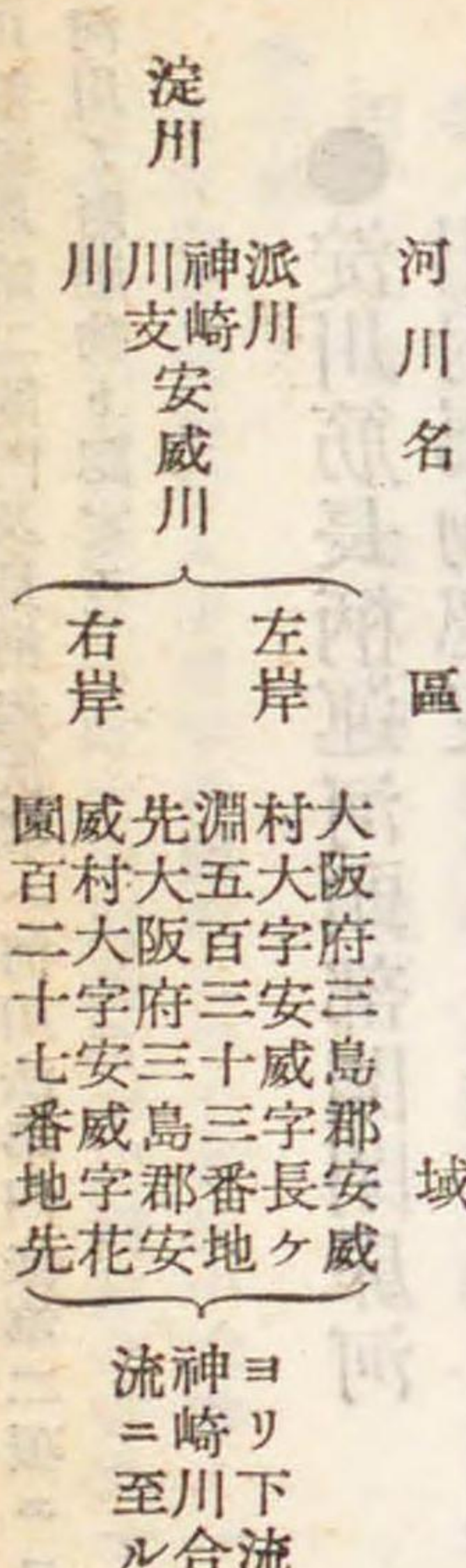
左岸 三島郡島本村大字山崎字香附子 右岸 同郡同村大字同 字同三百 地内兩岸 標柱以下淀川合流點ニ至ル

〔大阪土〕

●淀川派川神崎川支川及小支川認定

昭和十一年六月十二日 大阪府告示第六百一十一號

河川法第四條ニ依リ左ノ河川ヲ河川法施行河川淀川派川神崎川支川及小支川ニ認定ス



第四類 河川 第三章 施行河川

右岸 大阪市東淀川區濱町百十六番地先標柱 見通シ線以下海ニ至ル

●淀川派川認定

昭和六年四月一日 大阪府告示第二百三十八號

河川法第四條第一項ニ依リ左記河川ヲ淀川ノ派川ト認定ス

淀川小派

六軒屋川 左岸 大阪市此花區新家町二丁目千三百三十六番地先 右岸 大阪市此花區嬉ヶ崎町千六百三十五番地先 中津川分派點

淀川小派 左岸 大阪市此花區四貫島元 右岸 大阪市西淀川區傳法町 中津川分派點

正蓮寺川

左岸 大阪市此花區傳法町 右岸 大阪市西淀川區傳法町 以下海ニ至ル

淀川支川

左岸 大阪市此花區傳法町 右岸 大阪市西淀川區傳法町 以下海ニ至ル

〔大阪土〕

●淀川筋毛馬、六軒屋川、西島、傳法開門、毛馬洗堰、正蓮寺川締切堰堤ヲ河川附屬物ニ認定

明治四十四年四月二十七日 大阪府告示第四百七十七號

淀川筋毛馬、六軒屋川、西島、傳法ノ四開門及毛馬洗堰、正蓮寺川締切堰堤ハ内務大臣ノ認可ヲ受ケ河川法第四條第二項ニ依リ河川ノ附屬物ト認定ス

●淀川筋毛馬第二開門、長柄起伏堰ヲ河川附屬物ニ認定

大正七年四月二十五日 大阪府告示第二百二十號

淀川筋毛馬第二閘門及長柄起伏堰ハ河川法第四條第二項ニヨリ河川ノ附屬物ト認定ス

●淀川筋長柄運河頭部開閉扉河川附屬物認定

大正八年五月十五日
大阪府告示第百三十一號

淀川筋長柄運河頭部開閉扉ハ河川法第四條第二項ニヨリ河川ノ附屬物ト認定セリ

洗堰「サイフォン」河川附屬物認定

大正十一年四月十日
大阪府告示第九十八號

淀川筋傳法第二閘門及六軒屋洗堰「サイフォン」ハ内務大臣ノ認可ヲ受ケ河川法第四條第二項ニ依リ河川ノ附屬物ト認定ス

●淀川筋堤防河川附屬物認定

大正十一年五月二十二日
大阪府告示第百四十四號

左記堤防ハ河川法第四條第二項ニ依リ河川ノ附屬物ト認定ス

●淀川筋傳法第二閘門及六軒屋

河川附屬物調査

一、河川 淀川筋

堤防 右岸

番號	起點	終點	所在地		面積	工種	長	摘要
			市町村大字小字	地番				
壹號	同	同	西成郡 北長柄	一本松	四六七番地先	土堤	一八八間三	
			南長柄	八幡裏	一九一番地先			
			北長柄	舞鶴	一二一番ノ二			

〔大阪土〕

式號	西成郡	豊崎町	南長柄	八幡裏	面積	
					地番	土堤
同	同	同	同	同	一九一番地先	一九四間六
					二一三番	
					一四八番ノ三地先	

〔大阪土〕

●淀川竝派川中津川河川附屬物

認定

大正十一年六月二十二日
大阪府告示第百七十號

淀川竝派川中津川筋ニ於ケル左記工作物ヲ河川ノ附屬物ト認定ス

淀川筋左岸

第一號

北河内郡樟葉村大字楠葉字木津代第二番ノ五地先(京都府界)ヨリ北河内郡樟葉村大字楠葉字大瀬戸第三千二百八十三番地先ニ至ル 堤防

第二號

北河内郡樟葉村大字楠葉字樋ノ上浦第三千八百八十五番ノ二地先ヨリ北河内郡樟葉村大字楠葉字樋ノ上浦第四千七十番ノ一地先ニ至ル 堤防

第三號

北河内郡牧野村大字渚字外關第二千七百五十六番ノ一地先ヨリ北河内郡枚方町大字岡新町字川端第三百九十八番ノ一地先ニ至ル 堤防

第四類 河川 第三章 施行河川

第四號

北河内郡枚方町大字岡新町字堤付第三百四十七番ノ五地先ヨリ北河内郡枚方町大字三ツ矢字ウチノ第三十八番ノ二地先ニ至ル 堤防

第五號

北河内郡蹠陀村大字出口字上長畑第千二百二十番ノ二地先ヨリ北河内郡蹠陀村大字出口字牛池第千二百十六番地先ニ至ル 堤防

第六號

北河内郡庭窪村大字大庭七番字大切第六百六十二番地先ヨリ毛馬洗堰左岸橋臺ニ至ル 堤防

第七號

長柄運河頭部扉ヨリ大阪市西區常吉町第三番地先ニ至ル 堤防

第八號

大阪市西區常吉町第三番地先流末突堤
淀川筋右岸
第一號

第四類 河川 第三章 施行河川

三島郡島本村大字山崎字香附子第三百二番地先(京都府界)ヨリ三島郡島本村大字山崎字大道第九百五十七番地先ニ至ル 堤防

第二號 三島郡島本村大字廣瀬字島谷第二十三番ノ三地先ヨリ三島郡五領村大字上牧字大鼓第七百六十二番地先ニ至ル 堤防

第三號 三島郡大冠村大字大塚字クワ乙ノ第十九番地先ヨリ三島郡大冠村大字大塚村字南砂田第四百十六番地先ニ至ル 堤防

第四號 三島郡三ヶ牧村大字唐崎字内羽口第二千二十番地先ヨリ三島郡三ヶ牧村大字唐崎字内羽口第七百三十六番地先ニ至ル 堤防

第五號 三島郡味生村大字一津屋字高畑第三百三十一番地先ヨリ西成郡大道村大字北大道字三千外島第三十四番ノ二地先ニ至ル 堤防

第六號 西成郡大道村大字北大道字上蒲池第千二百九番ノ二地先ヨリ以下海ニ至ル 堤防

派川中津川筋左岸

西成郡豊崎町北長柄字蓬萊第四十六番地先(長柄運河頭部扉)ヨリ西成郡鷺洲町海老江字堤外島第八百四十二番地先(中津川接續點)ニ至ル 堤防

●澁川竝同支川芥川堤防河川附屬物認定
大正十二年四月九日
大阪府告示第百十四號

澁川竝同支川芥川筋ニ於ケル左記工作物ヲ河川ノ附屬物ト認定ス
澁川筋右岸
三島郡三箇牧村大字唐崎字藏ヶ下第千四百四十七番地ノ二地先ヨリ三島郡三箇牧村大字唐崎字内羽口第二千二十番地先ニ至ル 堤防

支川芥川筋右岸
三島郡三箇牧村大字唐崎字馳出シ第千五百一第千五百二番合併地ノ一地先ヨリ三島郡三箇牧村大字唐崎字藏ヶ下第千四百四十七番地ノ二地先ニ至ル 堤防

●澁川堤防河川附屬物認定
大正十三年九月二十九日
大阪府告示第百二十九號

澁川筋ニ於ケル左記工作物ヲ河川ノ附屬物ト認定ス

〔大阪土〕

河川附屬物調査

一、河川 澁川筋
堤防 左岸

郡	村	大字	小字	地番	工種	長	摘
北河内郡	牧野村	磯島	鍛冶屋畑	二五七四ノ一 四五九ノ一	土堤	五四三・メートル	

●澁川護岸共同荷揚場河川附屬物認定
昭和四年三月二十五日
大阪府告示第百五十八號

左記工作物ハ河川法第四條第二項ニ依リ河川ノ附屬物ト認定ス

河川附屬物調査

一、河川 澁川筋

護岸 右岸

番號	郡	市	町	村	大字	小字	地番	工種	長	摘	要

第四類 河川 第三章 施行河川

第一號	北大阪市 堂島濱通	四丁目	二七地先	鐵筋混凝土	七五間
此同花區	二下丁目	島	一五〇ノ一地先		

共同荷揚場

右岸

第一號	番號	郡市	終起	地點		工種	長	摘	要
				所	在				
此花區	二下丁目	島	一三八地先	一〇間					

●淀川河川附屬物西島、傳法兩
開門ヲ派川新淀川ノ附屬物ニ
變更ノ件
昭和七年七月二十五日
大阪府告示第五百二號

明治四十四年四月大阪府告示第四百七十七號ヲ以テ淀川筋河川
ノ附屬物ト認定シタル西島、傳法兩開門ハ各之ヲ派川新淀川
ノ附屬物ニ變更ス

●淀川河川附屬物堤防、導流堤
ヲ派川新淀川ノ附屬物ニ變更
ノ件
昭和七年七月二十五日
大阪府告示第五百三號

大正十一年六月大阪府告示第七十號ヲ以テ淀川ノ附屬物ニ
認定シタル左記工作物ハ之ヲ派川新淀川ノ附屬物ニ變更ス

〔大阪土〕

〔大阪土〕

終起	番號	延長	摘	要
大阪市此花區西島町	第一號	一、四〇九間七		
同市西區傳法町北五丁目	第二號	九間五		
同市東淀川區天神橋筋九丁目	第三號	三、八九〇間〇		
計		五、三〇九間二		

導流堤

終起	番號	延長	摘	要
大阪市此花區西島船町	第一號	三二七間三		

右岸

堤防

終起	番號	延長	摘	要
大阪市西淀川區西島町	第一號	七三七間六		
同市東淀川區濱町	第二號	四、四五三間七		
計		五、一九一間三		

以上別紙圖面ノ通

(圖面略ス)

淀川堤防公用廢止

昭和八年三月八日
大阪府告示第七十六號

淀川筋ノ内左記ノ通河川ノ附屬物タル堤防ノ公用ヲ廢止セリ
堤防

地ノ一地先ニ至ル (圖面ノ通)
(圖面略ス)

淀川堤防公用廢止

昭和十一年七月十五日
大阪府告示第七百十五號

右岸 大阪市東淀川區柴島町字松木川第四百四十五番地ノ一
地先ヨリ大阪市東淀川區柴島町字調布第二百七十番

左記區域ニ於ケル淀川ノ河川附屬物タル堤防ノ公用ヲ廢止セリ

番號	區	域	備	考
第一號	自大阪府北河内郡庭窪村大字八雲字寺前乙一九番地 至大阪府北河内郡庭窪村大字八雲字元屋敷乙二四番地ノ一			
第二號	自大阪府北河内郡庭窪村大字八雲字樋ノ尻六四番地 至大阪府北河内郡庭窪村大字八雲字寺前乙一七番地		左記圖面ノ通	

(圖面省略)

淀川支川天野川堤防公用廢止

淀澱川河川附屬物認定

大正十一年六月二十二日
大阪府告示第七十一號

左記淀川支川天野川堤防ノ公用ヲ廢止シ更ニ之ヲ澱川附屬物ト認定ス

北河内郡枚方町大字岡字向島第七百二十八番ノ一地先ヨリ

〔大阪土〕

北河内郡枚方町大字岡新町字川端第三百九十八番ノ一地先ニ至ル 堤防
北河内郡枚方町大字岡新町字中堤角第三百五十五番ノ一地先ヨリ北河内郡枚方町大字岡新町字堤付第三百四十七番ノ一地先ニ至ル 堤防

〔大阪土〕

淀川支川天野川堤防河川附屬物認定

昭和二年六月三十日
大阪府告示第二百九十七號

河川附屬物調書

一、河川 天野川筋右岸

郡名	終點	起點	所在	地名	番	工種	長
北河内	同	同	野	禁野	七九九	土堤	一七四米五
同	同	同	野	南川原	八六三ノ一		

六軒屋第二閘門河川附屬物認定

大正十二年六月十四日
大阪府告示第二百十二號

六軒屋第二閘門ハ内務大臣ノ認可ヲ受ケ河川法第四條第二項ニ依リ河川ノ附屬物ト認定ス

澱川支川水無瀨川堤防河川附屬物認定

大正十三年九月八日
大阪府告示第二百八十號

澱川支川水無瀨川筋ニ於ケル左記工作物ヲ河川ノ附屬物ト認定ス

河川附屬物調書

一、河川 澱川支川水無瀨川筋

堤防

左岸

郡	三島郡	三島郡	郡	三島郡	三島郡
村	島本村	島本村	村	島本村	島本村
大字	山崎	山崎	大字	山崎	山崎
小字	種ノ口	種ノ口	小字	種ノ口	種ノ口
地番	一〇九	一〇九	地番	一〇九	一〇九
工種	土堤	土堤	工種	土堤	土堤
長	一二五間七八	一二五間七八	長	一二五間七八	一二五間七八
摘要			摘要		

堤防 右岸

郡	三島郡	三島郡	郡	三島郡	三島郡
村	島本村	島本村	村	島本村	島本村
大字	廣瀬	廣瀬	大字	廣瀬	廣瀬
小字	河原	河原	小字	河原	河原
地番	二七〇ノ一	二七〇ノ一	地番	二七〇ノ一	二七〇ノ一
工種	土堤	土堤	工種	土堤	土堤
長	一一八間九	一一八間九	長	一一八間九	一一八間九
摘要			摘要		

●淀川派川神崎川堤防河川附屬物認定

昭和二年二月二十八日
大阪府告示第八十三號

左記堤防ハ河川法第四條第二項ニヨリ河川ノ附屬物ト認定ス

河川附屬物調書

淀川派川神崎川

堤防 左岸

〔大阪土〕

番號	第一號	第二號	第三號	番號	第一號	第二號	第三號
郡區	三島郡	東淀川區	東淀川區	郡區	三島郡	東淀川區	東淀川區
町村	吹田村	小松町	小松町	町村	味生村	江口町	江口町
大字	一律屋			大字	天王島		
小字	下島			小字	第五千二百番地ノ二先		
地番	第一千三百三十七番地ノ九先	第六百五十二番地先 舊堤防取付箇所	第六百五十二番地先 舊堤防取付箇所	地番	第八百二十四番地先 新堤防取付箇所	第八百二十四番地先 舊堤防取付箇所	第八百二十四番地先 新堤防取付箇所
工種	土堤	土堤	土堤	工種	土堤	土堤	土堤
長	一、四〇〇間	六・六	六・六	長	一九・九	一九・九	一九・九
摘要				摘要			

●淀川派川神崎川堤防河川附屬物認定

昭和四年三月十四日
大阪府告示第四百十號

左記堤防ハ河川法第四條第二項ニヨリ河川ノ附屬物ト認定ス

河川附屬物調書

淀川派川神崎川

堤防 左岸

番號	第一號	番號	第一號
郡區	三島郡	郡區	三島郡
町村	大野	町村	大野
大字	小野	大字	小野
小字	在	小字	在
地番	在	地番	在
工種	土堤	工種	土堤
長		長	
摘要		摘要	

第四類 河川 第三章 施行河川

第一號	第二號	第三號	第四號	第五號	第六號
西淀川區	西淀川區	西淀川區	西淀川區	豐能郡	東淀川區
加島町	加島町	加島町	加島町	庄内村	國次町
同	同	同	同	同	吹田町
錢坐	外浮之島	宮東	外浮之島	前島	外島
同	同	同	同	同	天王島
第一千三百七十番地ノ二地先	先第一千三百七十八番地ノ三地	先第一千三百七十八番地ノ一地	先第一千三百七十八番地ノ一地	先第一千三百七十八番地ノ六地	先第一千三百七十八番地ノ一地
土堤	土堤	土堤	土堤	土堤	土堤
100.0間	七五.0	三七.0	壘.0	104.0	104.1

淀川派川神崎川堤防河川附屬

認定

昭和八年十一月十七日 大阪府告示第八百五十六號

左記工作物ハ河川法第四條第二項ノ規定ニ依リ河川ノ附屬物ト認定ス

一、河川 淀川派川神崎川筋

〔大阪土〕

堤防左岸

〔大阪土〕

番號	起點	終點	所在	地番	工種	長	摘要
同	同	同	在	在	土堤	六九五.〇間	
同	同	同	在	在	土堤		
同	同	同	在	在	土堤		

淀川派川神崎川堤防及河川敷 公用廢止

昭和八年十一月十七日 大阪府告示第八百五十七號

淀川派川神崎川筋ニ於ケル左記河川ノ附屬物タル堤防及河川敷ノ公用ヲ廢止セリ

左岸堤防

番號	區	域	摘要
同	同	同	別紙圖面ノ區域

左岸河川敷

番號	區	域	摘要
第一號	同	同	別紙圖面ノ區域

第二號	自大阪市東淀川區新高北通二丁目七七番地先 至同市同區新高北通二丁目八一番地先	別紙圖面ノ區域
第三號	自大阪市東淀川區三津屋新町九二番ノ一地先 至同市同區三津屋新町五五番地先	別紙圖面ノ區域

(圖面略ス)

淀川派川神崎川河川堤防公用

廢止

昭和九年六月六日
大阪府告示第三百九十七號

淀川派川神崎川筋ノ内左記該當ノ河川及其ノ附屬物タル堤防ノ公用ヲ廢止セリ

河川

- 右岸 大阪市西淀川區佃町七九五番地ノ一ヨリ
大阪市西淀川區蒲島町七一番地ノ一ニ至ル
- 左岸 大阪市西淀川區蒲島町一番地地先ヨリ
大阪市西淀川區蒲島町四三番地ノ一地地先ニ至ル

(圖面略ス)

堤防

- 右岸 大阪市西淀川區佃町一〇二番地地先ヨリ
大阪市西淀川區蒲島町七一番地ノ一地地先ニ至ル
- 左岸 大阪市西淀川區蒲島町一番地地先ヨリ
大阪市西淀川區蒲島町四三番地ノ一地地先ニ至ル

(圖面略ス)

堤防

淀川派川神崎川堤防公用廢止

昭和十一年一月二十四日
大阪府告示第六十七號

左記區域ニ於ケル淀川派川神崎川ノ河川附屬物タル堤防ノ公用ヲ廢止セリ

右岸

- 一、自大阪市西淀川區佃町二〇〇番地ノ二
至同市同區同町一〇二番地
- 二、自大阪市西淀川區蒲島町一番地
至同市同區同町三六番地

左岸

- 一、自大阪市西淀川區大和田町一三六九番地ノ二
至同市同區同町一七九四番地ノ六

(圖面略ス)

〔大阪土〕

〔大阪土〕

物認定

昭和十一年六月十二日
大阪府告示第六百十三號

淀川派川神崎川支川、安威川
小支川、茨木川堤防河川附屬

淀川派川神崎川支川安威川小支川茨木川筋ニ於ケル左記堤防ハ河川ノ附屬物ト認定ス

一、河川 安威川筋
堤防左岸

番號	第一號	第二號	第三號
郡市町村	大阪市東淀川區	大阪市東淀川區	三島郡
起點	相川南通二丁目	北大道町	玉島村
終點	北大道町	鳥飼八町	野々宮
所在	八四番地ノ一地先	二、四八二番地先 四四〇番地先	八五二番地ノ一地先 七七六番地先
工種	土堤	土堤	土堤
長	一、七五〇米	五、八五〇	七、五五〇
摘要			

堤防右岸

番號	郡市町村	起點	終點	所在	工種	長	摘要
	三島郡	野々宮	野々宮	八五二番地ノ一地先 七七六番地先	土堤	七、五五〇	

第一號	第二號	第三號	第一號		第二號		第三號	
			三島郡	吹田町	味舌村	味舌村	三島郡	味舌村
三島郡	三島郡	三島郡	味舌下	志乘	味舌下	久曾	東井領	一、七六九番地ノ一地先
三島郡	三島郡	三島郡	味舌下	一、五二八番地先	味舌下	掛休	一、三四三番地先	土堤
三島郡	三島郡	三島郡	味舌下	一、一〇〇番地先	味舌下	柳	一、一七三番地先	土堤
三島郡	三島郡	三島郡	味舌下	一、一七三番地先	味舌下	柳	一、一七三番地先	土堤
三島郡	三島郡	三島郡	味舌下	一、一七三番地先	味舌下	柳	一、一七三番地先	土堤
三島郡	三島郡	三島郡	味舌下	一、一七三番地先	味舌下	柳	一、一七三番地先	土堤
三島郡	三島郡	三島郡	味舌下	一、一七三番地先	味舌下	柳	一、一七三番地先	土堤
三島郡	三島郡	三島郡	味舌下	一、一七三番地先	味舌下	柳	一、一七三番地先	土堤
三島郡	三島郡	三島郡	味舌下	一、一七三番地先	味舌下	柳	一、一七三番地先	土堤

一、河川 茨木川筋
堤防左岸

第一號	第二號	第一號		第二號		第三號	
		三島郡	三宅村	安威村	安威村	安威村	安威村
三島郡	三島郡	安威村	鶴野	安威村	安威村	安威村	安威村
三島郡	三島郡	安威村	鶴野	安威村	安威村	安威村	安威村
三島郡	三島郡	安威村	鶴野	安威村	安威村	安威村	安威村
三島郡	三島郡	安威村	鶴野	安威村	安威村	安威村	安威村
三島郡	三島郡	安威村	鶴野	安威村	安威村	安威村	安威村
三島郡	三島郡	安威村	鶴野	安威村	安威村	安威村	安威村
三島郡	三島郡	安威村	鶴野	安威村	安威村	安威村	安威村
三島郡	三島郡	安威村	鶴野	安威村	安威村	安威村	安威村

堤防右岸

〔大阪土〕

〔大阪土〕

第一號	第二號	第一號	第二號
三島郡	三島郡	三島郡	三島郡
三宅村	春日村	三宅村	春日村
鶴野	春日村	鶴野	春日村
西向	春日村	西向	春日村
一六一番地先	春日村	一六一番地先	春日村
土堤	春日村	土堤	春日村
八、〇〇〇米	春日村	土堤	春日村
	春日村	土堤	春日村
	春日村	土堤	春日村
	春日村	土堤	春日村

淀川支川寢屋川堤防河川附屬物認定

昭和三年十月十八日
大阪府告示第五百四十七號

淀川支川寢屋川筋ニ於ケル左記工作物ヲ河川法第四條第二項ニ依リ河川ノ附屬物ト認定ス

河川附屬物調書

一、河川 淀川支川寢屋川
堤防右岸

第一號	第二號	第一號	第二號
北河内郡	北河内郡	北河内郡	北河内郡
九個庄村	友呂岐村	九個庄村	友呂岐村
神田	友呂岐村	神田	友呂岐村
東後	友呂岐村	東後	友呂岐村
一八五	友呂岐村	一八五	友呂岐村
土堤	友呂岐村	土堤	友呂岐村
一、三八二間〇〇	友呂岐村	土堤	友呂岐村
	友呂岐村	土堤	友呂岐村
	友呂岐村	土堤	友呂岐村
	友呂岐村	土堤	友呂岐村

堤防左岸

第四類 河川 第三章 施行河川

郡	市	町	村	大字	小字	所在地	地番	工種	長	摘要
北河内郡			寢屋川村	木田	乾角	在	七五一ノ二	土堤	一、八七六間〇〇	
			豊野村	秦	堤添	在	七八八ノ一			

●淀川支川寢屋川及芥川堤防河川附屬物認定

昭和五年九月二十二日
大阪府告示第八百三十九號
淀川支川寢屋川及芥川筋ニ於ケル左記調書ノ堤防ハ河川ノ附屬物ト認定ス

河川附屬物調書

一、河川 寢屋川

堤防左岸

番號	第一號	第二號	郡	市	町	村	大字	小字	所在地	地名	番	工種	長	摘要
	同	同	北河内郡			豊野村	秦	クホタ	在	七九八ノ二地先		土堤	二三・三間	
	同	同	北河内郡			豊野村		シンク	在	七八地先				
	同	同	北河内郡			豊野村		ホウシヨ	在	四六地先				
	同	同	北河内郡			豊野村		マシヅカ	在	一、〇四七地先				

〔大阪土〕

〔大阪土〕

番號	第一號	第二號	第三號	第四號	郡	市	町	村	大字	小字	所在地	地名	番	工種	長	摘要
	同	同	同	同	北河内郡			豊野村	秦	エツ、ミン	在	八二一地先		土堤	一四・六間	
	同	同	同	同	北河内郡			豊野村	國	山ノ下	在	一地先				
	同	同	同	同	北河内郡			豊野村	秦	觀音前	在	八三九地先		土堤	八・四	
	同	同	同	同	北河内郡			豊野村		同	在	八四六地先				
	同	同	同	同	北河内郡			豊野村		同	在	八四六地先				
	同	同	同	同	北河内郡			豊野村		同	在	九〇一地先				
	同	同	同	同	北河内郡			豊野村		同	在	九〇一地先				
	同	同	同	同	北河内郡			豊野村		同	在	九〇一地先				
	同	同	同	同	北河内郡			豊野村		同	在	九〇一地先				
	同	同	同	同	北河内郡			豊野村		同	在	九〇一地先				

堤防左岸

第三號	第二號
同 三島郡 同 清水村	同 三島郡 同 清水村
同 同 同 同	同 同 同 同
出 西垣内	川 内野
一、三〇七地先	一、二八五地先
同	同
五・八五	七五・四

堤防右岸

番 號	第一號	第二號
郡 市 町 村	同 三島郡 同 芥川町	同 三島郡 同 芥川町
大 字 小 字 地 番	同 芥川 同 西野	同 東上野
在 在 在 在	同 野	同 野
地 地 地 地	九四〇ノ一地先	九八〇地先
名 名 名 名	八八一地先	七九地先
番		
工 種	土 堤	同
長	四三・六五間	三三・八
摘 要		

淀川支川寢屋川堤防河川附屬

物認定

昭和六年三月九日 大阪府告示第百五十四號

河川附屬物調書

一、河川 寢屋川

堤防左岸

〔大阪土〕

〔大阪土〕

番 號	第一號	第二號	第三號	第四號	第五號
郡 市 町 村	同 中河内郡 同 北江村	同 北河内郡 住道村	同 同 同 同	同 同 同 同	同 同 同 同
大 字 小 字 地 番	同 鴻池	同 諸福	同 横山	同 堀北	同 荻島流作
在 在 在 在	仲拾四番一	大黒島	スミノドツ	ノノワリ	同
地 地 地 地	九〇九ノ一地先	七八七地先	三三ノ二地先	九〇地先	九〇地先
名 名 名 名	一、二二二ノ一地先	六ノ一地先	三三ノ二地先	九〇地先	一〇八地先
番					
工 種	土 堤	土 堤	土 堤	土 堤	土 堤
長	一、〇九五・〇間	六二・七	三三・八	三三・三	二〇三・四
摘 要	鴻池橋南詰ヨリ八	恩智橋下流四三間	他力橋南詰ヨリ上	東詰現行堤防認定	川橋上流終點ヨリ

堤防右岸

番 號	郡	市	町	村	大字	小字	地名	地名	番	工種	長	摘	要
第一號	同	北河内郡	同	寢屋川村	河	北	ハノワリ	一三四地先	一七二ノ二地先	土堤	一七五・三間	寢屋川橋(舊土橋)現行堤	
第二號	同	同	同	同	同	同	イノワリ	一七一ノ二地先	一七一ノ二地先	土堤	一七五・三間	下流七間現行堤	
第三號	同	同	同	同	同	同	同	一七二ノ二地先	一七二ノ二地先	土堤	一七五・三間	防上流九間	
第四號	同	同	同	同	同	同	同	一七二ノ二地先	一七二ノ二地先	土堤	一七五・三間	防上流九間	
第五號	同	同	同	同	同	同	同	一七二ノ二地先	一七二ノ二地先	土堤	一七五・三間	防上流九間	
第六號	同	同	同	同	同	同	同	一七二ノ二地先	一七二ノ二地先	土堤	一七五・三間	防上流九間	

淀川支川寢屋川堤防公用廢止

昭和十年八月十六日
大阪府告示第五百八十二號

左記區域ニ於ケル淀川支川寢屋川ノ河川附屬物タル堤防ノ公用ヲ廢止ス

左岸 大阪市旭區鳴野町九百三十番地地先ヨリ下流陸軍造兵廠大阪工廠内ニ至ル(左記圖面ノ通)

河川附屬物調書

河川 大和川筋
堤防左岸

(圖面略ス)

大和川堤防河川附屬物認定

昭和三年十二月三日
大阪府告示第六百二十號

大和川ニ於ケル左記調書ノ堤防ハ河川法第四條第二項ニ依リ河川ノ附屬物ト認定ス

(大阪土)

(大阪土)

番 號	郡	市	町	村	大字	小字	地名	地名	番	工種	長	摘	要
第一號	同	堺市	同	三寶町	香ヶ丘町	山鶴口	鶴口	二、〇八五・〇間	土堤	二、〇八五・〇間	起點ヨリ表先ニ長三百二十三間法高二分ノ石工ヨリ長八間法四分ノ其他ハ全部土堤ニテ終點ニ達ス		
第二號	同	泉北郡	同	五箇莊村	常盤	來地	來地	二、八九八・三	同	二、八九八・三			
第三號	同	中河内郡	同	惠我村	大堀	高月	高月	三、〇八五・〇	同	三、〇八五・〇			
第四號	同	南河内郡	同	道明寺村	國府	北河原	北河原	三、〇七〇・〇	同	三、〇七〇・〇			
第五號	同	同	同	玉出村	片山	戸崎	戸崎	三、〇七〇・〇	同	三、〇七〇・〇			
第六號	同	同	同	同	同	同	同	三、〇七〇・〇	同	三、〇七〇・〇			

第七號	第六號	第五號	第四號	第三號	第二號	第一號	番號
同	同	同	同	同	同	同	堤防右岸
同	同	同	同	同	同	同	起點
同	同	同	同	同	同	同	終點
同	同	同	同	同	同	同	所在
同	同	同	同	同	同	同	地名
同	同	同	同	同	同	同	番
同	同	同	同	同	同	同	工種
同	同	同	同	同	同	同	長
同	同	同	同	同	同	同	摘
同	同	同	同	同	同	同	要

●大和川支川石川堤防河川附屬物認定

昭和五年十月十三日
大阪府告示第九百二十八號

大和川支川石川筋ニ於ケル左記調書ノ堤防ハ河川ノ附屬物ト認定ス

一、河川 石川
堤防左岸

〔大阪土〕

〔大阪土〕

第七號	第六號	第五號	第四號	第三號	第二號	第一號	番號
同	同	同	同	同	同	同	郡市終起
同	同	同	同	同	同	同	町點點
同	同	同	同	同	同	同	大字所所
同	同	同	同	同	同	同	小字在在
同	同	同	同	同	同	同	地名地名
同	同	同	同	同	同	同	番番
同	同	同	同	同	同	同	工種
同	同	同	同	同	同	同	長
同	同	同	同	同	同	同	摘
同	同	同	同	同	同	同	要

大和川堤防左岸第三號トノ接続箇所ヲ起點ト

第十四號	第十三號	第十二號	第十一號	第十號	第九號	第八號
同 南河内郡	同 南河内郡	同 南河内郡	同 南河内郡	同 南河内郡	同 南河内郡	同 南河内郡
同 錦郡村	同 錦郡村	同 川西村	同 川西村	同 川西村	富田林町 新堂村	同 新堂村
同 錦郡	同 錦郡	同 甲田	同 甲田	同 甲田	富田林 中野	同 中野
サ、ハラ 川原	サ、ハラ 川原	同 上深	上 深	同 下深	東林丁 中島	同 下河原
四六二ノ一地先	四七九地先	一、二七六乙地先	一、二五八地先	一、二二〇地先	二二丙地先 六八一地先	七五七地先 六八二地先
同	同	同	同	同	同	同
110.0	110.0	110.0	110.0	110.0	110.0	110.0

〔大阪土〕

堤防右岸

〔大阪土〕

第七號	第六號	第五號	第四號	第三號	第二號	第一號	番號
同 南河内郡	同 南河内郡	同 南河内郡	同 南河内郡	同 南河内郡	同 南河内郡	同 南河内郡	郡市終起
同 彼方村	同 大伴村	同 大伴村	石川村 駒ヶ谷村	同 駒ヶ谷村	同 駒ヶ谷村	古市町 玉手村	町村點點
板持	山中田	同 北大伴	山城 通法寺	通法寺 大黒	大黒 碓井	碓井 片山	大字所所
馬場浦	平松	同 シマ	河原 梅川尻	大新開 墓原	樋ノ口 清水尻	小尻 戸崎	小字地地
七二八地先	三五九地先	六二一地先	六八九地先	一五九ノ一地先	五〇六ノ一地先	三五地先	長地名名
同	同	同	同	同	同	土堤	工程
110.0	110.0	110.0	110.0	110.0	110.0	110.0	長
							摘
							要

第九號	第八號
同 南河内郡	同 南河内郡
同 彼方村	同 彼方村
同 彼方	板持
ウチバタ	欠田
五二六地先	二六八地先
同	同
四五〇	一三五〇

●淀川派川尻無川護岸河川附屬物認定

昭和四年四月二十一日
大阪府告示第二百三十八號

左記工作物ハ河川法第四條第二項ニ依リ河川ノ附屬物ト認定ス

河川附屬物調書

第一號	番號	起點	終點	所在	地番	工種	長	摘要
西大阪區市	西大阪區市	郡市	町村	大字	小字	鐵筋混凝土	四〇間	
一仲丁目町	一仲丁目町	町	村	大字	小字	鐵筋混凝土	四〇間	

〔大阪土〕

〔大阪土〕

第六號	第五號	第四號	第三號	第二號
西大阪區市	西大阪區市	西大阪區市	西大阪區市	西大阪區市
花園町	十返町	十返町	一高丁砂目町	一高丁砂目町
六〇地先	二〇地先	三五ノ二地先	三〇ノ甲地先	一一地先
鐵筋混凝土	鐵筋混凝土	鐵筋混凝土	鐵筋混凝土	鐵筋混凝土
八七・六〇	四三・九〇	五九・九〇	五七・七〇	六五・五五

護岸

右岸

番號	起點		終點		郡市	町村	大字	小字	在在	地地	番番	工工	種種	長長	摘摘	要要
	郡市	町村	大字	小字												
第一號	西大阪區市	梅本町	西大阪區市	梅本町	西大阪區市	梅本町			在	在		鐵筋混凝土	二八・〇〇間			
	西大阪區市	梅本町	西大阪區市	梅本町												
第二號	西大阪區市	梅本町	西大阪區市	梅本町	西大阪區市	梅本町			在	在		鐵筋混凝土	二九・〇〇			
	西大阪區市	梅本町	西大阪區市	梅本町												
第三號	港大阪區市	一丁條北通	港大阪區市	一丁條北通	港大阪區市	一丁條北通			在	在		鐵筋混凝土	一一・〇〇			
	港大阪區市	一丁條通	港大阪區市	一丁條通												
第四號	港大阪區市	一丁條中通	港大阪區市	一丁條中通	港大阪區市	一丁條中通			在	在		鐵筋混凝土	一四・〇〇			
	港大阪區市	一丁條目	港大阪區市	一丁條目												

〔大阪土〕

〔大阪土〕

●淀川派川木津川護岸河川附屬物認定

昭和四年十一月十四日
大阪府告示第六百七十六號

河川附屬物調査

一、河川 淀川派川 木津川

護岸

左記工作物ハ河川法第四條第二項ニ依リ河川ノ附屬物ト認定ス
 常設第六十三番地先ニ至ル（式圖圖面ノ通）
 大阪府告示第六百七十六號（式圖圖面ノ通）
 大阪府告示第六百七十六號（式圖圖面ノ通）
 大阪府告示第六百七十六號（式圖圖面ノ通）

郡市	町村	大字	小字	地名	番	工種	長	摘	要
大阪市西區	川口町					鐵筋混凝土	三二・四間		
大阪市西區	本田三番町					鐵筋混凝土	九十一番地先		

●淀川派川木津川堤防公用廢止

昭和九年七月二十日
大阪府告示第五百二十三號

左記區域ニ於ケル淀川派川木津川ノ河川附屬物タル堤防ノ公用ヲ廢止セリ

區	域	備	考
左岸	自大阪市西成區津守町八百七十番地地先 至大阪市西成區津守町八百七十一番地ノ三地先	別紙圖面ノ通	

淀川派川本津川堤防公用廢止

昭和十年二月二十七日
大阪府告示第四百四十四號

左記區域ニ於ケル淀川派川本津川ノ河川附屬物タル堤防ノ公用ヲ廢止セリ

區	域	備	考
自大阪市西成區津守町二百九十一番地ノ一地先 至大阪市西成區津守町二百九十一番地ノ四地先		別紙圖面ノ通	

淀川小派川正蓮寺川堤防河川

附屬物認定

昭和七年二月八日
大阪府告示第八十七號

淀川小派川正蓮寺川筋左記ノ區域ニ於ケル河川ノ附屬物タル堤防ノ公用ヲ廢止セリ

淀川小派川正蓮寺川堤防公用廢止

廢止

昭和十一年四月三十日
大阪府告示第四百七十三號

左記區域ニ於ケル淀川小派川正蓮寺川ノ河川附屬物タル堤防ノ公用ヲ廢止セリ

左岸 大阪市此花區島屋町字古田第四百六番地ノ拾八地先
ヨリ同市同區同町字新開原第貳百參拾壹番地先ニ至ル(圖面ノ通)

左岸 大阪市此花區島屋町四百二十五番地ノ一地先ヨリ大阪市此花區島屋町新開一番地ノ一地先ニ至ル(左記圖面ノ通)

右岸 大阪市此花區西島町四百二十八番地先ヨリ大阪市此花區常吉町六十三番地先ニ至ル(左記圖面ノ通)

〔大阪土〕

〔大阪土〕

淀川小派川正蓮寺川護岸河川

附屬物認定

昭和十一年四月三十日
大阪府告示第四百七十四號

左記工作物ハ河川法第四條第二項ニ依リ河川ノ附屬物ト認定ス

一、河川 淀川小派川 正蓮寺川筋
護岸 左岸

郡	起點	終點	所在	地名	番	工種	長	摘	要
大阪市此花區	島屋町	新開	大字小字	地	四二五番地ノ一地先 一番地ノ一地先	鐵筋混凝土	四七・二米		
同市同區	同町	同町	大字小字	地	六三番地先	鐵筋混凝土	七三米		
郡	起點	終點	所在	地名	番	工種	長	摘	要
大阪市此花區	西島町	常吉町	大字小字	地	四二八番地先	鐵筋混凝土	七三米		
同市同區	同町	同町	大字小字	地	六三番地先	鐵筋混凝土	七三米		

淀川派川新淀川護岸河川附屬物認定

昭和七年七月二十五日
大阪府告示第五百四號

河川法第四條第二項ニ依リ淀川派川新淀川ニ於ケル左記工作物ヲ河川ノ附屬物ニ認定ス

左岸

堤防内護岸

終起	番號	延長	摘要
大阪市此花區西島町	第一號	二六八間四	
同市同區同傳法町五丁目	第二號	一四間五	
同市同區同傳法町五丁目	第三號	五五間三	
同市同區同傳法町五丁目	第四號	二〇間三	
同市同區同傳法町五丁目	第五號	四間五	
計		三六三間〇	

右岸

堤防内護岸

終起	番號	延長	摘要
大阪市西淀川區西島町	第一號	七〇八間六	
同市同區同西島町	第二號	三七間七	
同市同區同西島町	第三號	一三間八	
同市同區同西島町	第四號	三九間七	
計		一二三間六	

〔大阪土〕

〔大阪土〕

計

七九九間八

以上別紙圖面ノ通

(圖面略ス)

淀川支川檜尾川堤防公用廢止

昭和十一年七月十五日
大阪府告示第七百十六號

左記區域ニ於ケル淀川支川檜尾川ノ河川附屬物タル堤防ノ公用ヲ廢止セリ

右岸

自大阪府三島郡高槻町大字東天川字前川原一〇九番地
至大阪府三島郡高槻町大字野中馬東一四〇ノ二番地
左記圖面ノ通

(圖面省略)

淀川及淀川ノ支派川ノ附屬物

ト認定シタル堤防ニ對シ河川

法第四條第二項ニ依レル特別

命令ノ件 明治三十三年六月
大阪府令第三十八號

第四類 河川 第三章 施行河川

第一條 河川法ニ依リ淀川及淀川ノ支派川附屬物ト認定シタル堤防敷地中河川法施行前國有ニ屬シタルモノニシテ地租改正又ハ社寺土地處分ニ依リ官有ニ編入セラレ其ノ當時之ニ就キ所有又ハ分收ノ事實アルモノハ本令ニ依リ明治三十三年十二月三十一日迄ニ之カ證認ヲ大阪府知事ニ申請スルコトヲ得

第二條 前條ノ期限ヲ經過シタルモノ又ハ裁判所ノ判決ヲ受ケタルモノ證認ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス

第三條 證認ノ申請ヲ爲ス者ハ其ノ事實ヲ證スル爲メ少クモ左ノ書面ノ一ヲ添付スルコトヲ要ス

一、公簿若ハ公書ニ依リ所有又ハ分收ノ事實ヲ證スルモノ

二、高受又ハ正租ヲ納メタル證アルモノ

三、拂下、下付、賣買、讓與、質入、書入、寄附等ニ依ル所有又ハ分收ノ事實ヲ證スヘキモノ

四、竹木其ノ他生産物又ハ其ノ賣却代金ヲ分收シタル證アルモノ

五、自費ヲ以テ竹木ヲ栽植シタル證アルモノ

六、自費ヲ以テ田畑、宅地ニ開墾シタル證アルモノ

ルモノ

八二

第四條 證認ノ申請書ニハ其土地ノ位置ヲ示シタル詳細ノ圖面ヲ添付シ郡、市、區役所及町村役場ヲ經由スヘシ

第五條 市町村其他公共團體ニ於テ申請ヲナストキハ市町村會其ノ他公共團體ノ議會議決書ニ添付スヘシ

社寺ヨリ申請スル場合ハ神社ニアリテハ神職及ヒ氏子總代、寺院ニ在リテハ住職及檀徒總代之ニ連署シ且ツ寺院ノ申請ニハ其ノ所屬宗派管長ノ添書ヲ付スヘシ但シ氏子總代又ハ檀徒總代ナキトキハ信徒總代之ニ連署スヘシ、代理人ヨリ申請スル場合ハ代理ノ委任ヲ證スヘキ書面ヲ添付スヘシ

第六條 第三條證據書類ニシテ所有又ハ分收ノ事實ヲ證スルニ足ルト認ムルトキハ大阪府知事ハ之方證認ヲナスヘシ

第七條 前條ノ證認ヲ受ケタル堤防敷地ニシテ其ノ公用ヲ廢シタルトキハ大阪府知事ハ其ノ證認ヲ受ケタルモノ若ハ其ノ相續人ノ請求ニ依リ之ヲ下付スヘシ

第八條 第六條ノ證認ヲ受ケタル堤防敷地ニシテ荒地ニアラザルモノハ其ノ證認ヲ受ケタルモノ若ハ其ノ相續人ノ請求ニ依リ大阪府知事ハ公益ヲ妨ケサル限リニ於テ其ノ占用ヲ許可スヘシ

第九條 大阪府知事ニ於テ前條ノ請求ヲ許可セザルトキ又ハ之ヲ禁止スルトキハ相當ノ補償金ヲ下付スルコトアルヘシ

公共ノ利益トナルヘキ事業ノ爲メ前項處分ノ必要ヲ生スル

トキハ大阪府知事ハ事業ノ許可ノ條件トシテ其ノ執行者ヲシテ補償金ノ全部若ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第十條 第八條ノ占用ノ許可ヲ受ケムトスルモノハ第六條ノ證認ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ大阪府知事ニ請求スヘシ

從前既ニ占用ノ許可ヲ受ケタルモノハ本令ニ依リ認定ヲ受ケタル日ヨリ前項ノ許可ヲ得タルモノト看做ス

●河川法第六條但書ニ依リ内務大臣ノ管理ニ屬スル閘門通航規程

大正四年二月四日 内務省令第一號

第一條 閘門通航ノ時間、舟筏ノ長、幅及吃水ニ關スル制限ハ之ヲ告示ス

第二條 暴風雨、出水、大潮其ノ他必要ト認ムル場合ニ於テハ前條ニ依リ告示ノ時間ニ拘ハラス何時ニテモ舟筏ヲ通航セシメ又ハ其ノ通航ヲ停止スルコトアルヘシ

第三條 閘門ヲ通航セントスル汽船ハ豫メ適當ノ距離ニ於テ音響信號ヲ發スヘシ

第四條 閘門ヲ通航セントスル者ハ監守人ノ指示スル場所ニ

〔大阪土〕

〔大阪土〕

舟筏ヲ停メ其ノ出入ニ付キ監守人ノ指圖ニ從ヒ到著ノ順序ニ依リ舟筏ヲ徐航セシムヘシ但シ監守人ニ於テ必要ト認ムルトキハ通航順序ヲ變更セシムルコトアルヘシ

第五條 閘門ヲ通航セムトスル者ハ監守人ノ要求アリタルトキハ舟筏ノ乗組員、所有者及乗客ノ住所、氏名、發著地其ノ他ノ事項ヲ告ケ船鑑札又ハ營業鑑札ヲ示スヘシ

第六條 閘門通航ノ際ハ艫其ノ他閘門及附屬ノ設備ヲ毀損スヘキ器具ヲ使用シ又ハ掛帆ノ儘通航スヘカラス

第七條 閘門又ハ附屬ノ設備ニ舟筏ヲ繫留シ若ハ接觸セシメ其ノ他通航ノ妨害ト爲ルヘキ行爲ヲ爲スヘカラス

第八條 閘門内ニ於テ石炭、灰燼、塵芥其ノ他ノ物件ヲ棄擲スヘカラス

第九條 閘門通航ノ妨害又ハ閘門毀損ノ原因トナルヘキ難破物其ノ他ノ物件ハ指定ノ期間内ニ其ノ所有者ニ於テ之ヲ除却スヘシ

第十條 舟筏ノ乗組員及乗客ハ本規程ニ定ムルモノノ外閘門ノ通航ニ關シ監守人ノ指圖ニ從フヘシ

第十一條 第一條ニ依リ制限ニ違反シタル者、第二條ニ依リ通航停止中通航シタル者、第六條ニ違反シタル者又ハ第九條ニ依リ命ニ從ハサル者ハ五十圓以内ノ罰金又ハ拘留若ハ

料ニ處ス

第十二條 第四條、第五條、第七條又ハ第八條ニ違反シタル者ハ拘留又ハ料ニ處ス

第十三條 第三條又ハ第十條ニ違反シタル者ハ料ニ處ス

附則

第十四條 本規程ハ大正四年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十五條 明治三十八年四月内務省令第十一號船頭平閘門通航規程ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

●閘門通航時間並舟筏ノ長、幅及吃水ニ關スル件

昭和五年三月三十一日 内務省告示第七十四號

改正 昭和五年五月内務省告示第二四號、八年四月第一一三號

大正四年二月内務省令第一號閘門通航規程第一條ニ依リ通航時間並舟筏ノ長、幅及吃水ニ關スル制限左ノ通定ム

大正四年三月内務省告示第十五號大正七年五月同第四十五號

大正十一年五月同第百十九號及昭和二年六月同第三百四十八號ハ之ヲ廢止ス

河川名	閘門	通航時間	長	幅	吃水
-----	----	------	---	---	----

江同	利根川	木曾川	同	同	同	同	同	同	同	同	淀川
關宿關門	關利門	關船頭門	三栖關門	西島關門	傳第二關門	傳第一關門	六軒門	六軒門	毛第二關門	毛第一關門	毛第一關門
同	通間但自日出後一 航汽船ニ限ルハ定期	自日出後一 日没後一 定期	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	自午前十一時 至午後十時
筏舟四十 三十米以 內	筏舟四十 三十米以 內	筏舟三十 六、五米 以內	筏舟三十 五米以內	筏舟二十 五米以內	筏舟三十 五米以內	筏舟二十 五米以內	筏舟三十 五米以內	筏舟三十 五米以內	筏舟	筏舟	筏舟四十 三十米以 內
筏舟四十 三十米以 內	筏舟四十 三十米以 內	筏舟四十 三十米以 內	筏舟三十 六、五米 以內	筏舟三十 五米以內	筏舟二十 五米以內	筏舟三十 五米以內	筏舟三十 五米以內	筏舟	筏舟	筏舟	筏舟九米 二米以內
筏舟一、 二米以內	筏舟一、 八米以內	筏舟一、 七米以內	筏舟	筏舟	筏舟	筏舟	筏舟	筏舟	筏舟	筏舟	筏舟一、 五米以內

〔大阪土〕

信濃川	荒川派川	新荒川	同	同	北上川
大河津門	小松門	小名木川門	船堀關門	協谷關門	協谷關門
至自	晝	同	同	同	至自
日出	夜				日出
筏舟三十 三米以內	筏舟四十 三十米以 內	筏舟四十 三十米以 內	筏舟四十 三十米以 內	筏舟四十 三十米以 內	筏舟四十 三十米以 內
筏舟三十 三米以內	筏舟四十 三十米以 內	筏舟四十 三十米以 內	筏舟四十 三十米以 內	筏舟四十 三十米以 內	筏舟四十 三十米以 內
筏舟二米 以內	筏舟二、 一米以內	筏舟	筏舟	筏舟	筏舟一、 二米以內

〔大阪土〕

河川法第六條但書ニ依リ淀川 筋附屬物管理維持修繕ノ件

昭和六年四月六日 内務省告示第八十三號

河川法第六條但書ニ依リ昭和六年四月一日以降本大臣ニ於テ 淀川筋左ノ附屬物ヲ管理シ其ノ維持修繕ヲ行フ

- 一 長柄起伏堰
- 一 運河給水樋門

河川法第六條但書ニ依リ淀川 筋ノ河川並ニ其ノ附屬物ノ維持修繕ノ件

昭和六年四月六日 内務省告示第八十四號

河川法第六條但書ニ依リ昭和六年度以降本大臣ニ於テ淀川筋

- 一 運河頭部扉
- 一 平戶樋門

ノ河川並ニ其ノ附屬物(西島開門、傳法開門、長柄起伏堰、運河給水樋門、運河頭部扉、毛馬開門、毛馬洗堰、三栖開門、三栖洗堰、平戸樋門ヲ除ク)ノ維持修繕ヲ行フ其ノ河川名並ニ區域左ノ如シ

河川名 維持修繕ノ區域

本川

淀川

左岸 京都市伏見區地内觀月橋以下 大阪府大
右岸 京都市伏見區地内觀月橋以下 大阪府大
市東淀川區天神橋筋九丁目 地内兩岸標柱ニ至ル
市同 區濱町

支川

木津川

左岸 京都府綴喜郡八幡町地内兩岸標柱以下淀川合
右岸 京都府綴喜郡八幡町地内兩岸標柱以下淀川合
流點ニ至ル

同

船橋川

左岸 大阪府北河内郡牧野村地内兩岸標柱以下淀川
右岸 大阪府北河内郡牧野村地内兩岸標柱以下淀川
合流點ニ至ル

同

穗谷川

左岸 大阪府北河内郡牧野村地内兩岸標柱以下淀川
右岸 大阪府北河内郡牧野村地内兩岸標柱以下淀川
合流點ニ至ル

支川

天野川

左岸 大阪府北河内郡牧野村地内兩岸標柱以下淀川
右岸 大阪府北河内郡牧野村地内兩岸標柱以下淀川

〔大阪土〕

合流點ニ至ル

同小支川

水無瀬川

左岸 大阪府三島郡島本村地内兩岸標柱以下桂川
右岸 大阪府三島郡島本村地内兩岸標柱以下桂川
合流點ニ至ル

支川

檜尾川

左岸 大阪府三島郡高槻町地内兩岸標柱以下淀川合
右岸 大阪府三島郡高槻町地内兩岸標柱以下淀川合
流點ニ至ル

同

芥川

左岸 大阪府三島郡高槻町地内兩岸標柱以下淀川合
右岸 大阪府三島郡高槻町地内兩岸標柱以下淀川合
流點ニ至ル

同

新高瀬川

左岸 京都府京都市伏見區地内兩岸標柱以下淀川
右岸 京都府京都市伏見區地内兩岸標柱以下淀川
合流點ニ至ル

同小支川

七瀬川

左岸 京都府京都市伏見區地内兩岸標柱以下新高瀬
右岸 京都府京都市伏見區地内兩岸標柱以下新高瀬
川合流點ニ至ル

支川

桂川

左岸 京都府京都市伏見區地内兩岸標柱以下淀川合
右岸 京都府京都市伏見區地内兩岸標柱以下淀川合
流點ニ至ル

同小支川

小畑川

左岸 京都府乙訓郡大山崎村地内兩岸標柱以下桂川
右岸 京都府乙訓郡大山崎村地内兩岸標柱以下桂川

〔大阪土〕

木曾川維持(岐阜、愛知、三重)
淀川維持(京都、大阪)
荒川維持(埼玉、東京)
信濃川維持(新潟)

合流點ニ至ル

同小支川

小泉川

左岸 京都府乙訓郡大山崎村地内兩岸標柱以下桂川
右岸 京都府乙訓郡大山崎村地内兩岸標柱以下桂川
合流點ニ至ル

派川

新淀川

釜川

●河川法ニ依ル許可處分ニ關スル件

昭和六年八月五日 内務省發土第五四號土木局長通牒

東京府外十一府縣知事宛

河川法第六條ニ依リ當省ニ於テ維持修繕ヲ行フ區域内ニ河川法ニ基キ工作物設置ノ許可ヲ爲ス場合ハ許可條件ニ必ス左記事項ヲ規定セラルルコトニ御取扱相成度

記

一 工事著手前所管ノ内務省土木出張所ノ承認ヲ受ケシムルコト

一 工事竣功シタルトキハ同出張所ノ承認ヲ經テ工作物ノ使用ヲ開始スルコト

(参考) 關係府縣

利根渡瀬兩川維持(東京、栃木、群馬、埼玉、茨城、千葉)

●淀川筋河川附屬物内務大臣ニ於テ直接管理ノ件

明治四十四年五月八日 大阪府告示第七十號

河川法第四條第二項ニ依リ附屬物ト認定シタル淀川筋毛馬開門、毛馬洗堰、傳法開門、六軒屋川開門、正蓮寺川締切堰堤、西島開門ノ管理ハ河川法第六條但書ニ依リ内務大臣ニ於テ直接施行相成ルヘキニ付自今之ニ關スル願書ハ内務省大阪土木出張所經由内務大臣ニ提出スヘシ

●淀川筋毛馬第二開門、長柄起伏堰及毛馬第一、第二開門前後ノ水路管理並ニ願書提出方ノ件

大正七年五月六日
大阪府告示第百二十七號

改正 大正一一年四月告示第一〇三號
河川法第四條第二項ニ依リ附屬物ト認定シタル淀川筋毛馬第二閘門長柄起伏堰及毛馬第一第二閘門前後ノ水路ノ管理ハ河川法第六條但書ニ依リ内務大臣ニ於テ直接管理セラルヘキニ依リ自今之ニ關スル願書ハ内務省大阪土木出張所經由内務大臣ニ提出スヘシ

淀川筋傳法第二閘門及六軒屋洗堰「サイフオン」ノ管理並願書ノ提出方ノ件

大正十一年五月十八日
大阪府告示第百三十八號

河川法第四條第二項ニ依リ河川ノ附屬物ト認定シタル淀川筋傳法第二閘門及六軒屋洗堰「サイフオン」ノ管理ハ河川法第六條但書ニ依リ内務大臣ニ於テ直接管理セラルヘキニ付自今之ニ關スル願書ハ内務省大阪土木出張所經由内務大臣ニ提出スヘシ

〔大阪土〕

内務大臣ニ於テ直接維持管理スル毛馬閘門、毛馬洗堰、長柄起伏堰、運河給水樋門、運河頭部扉ノ區域變更並願書提出方ノ件

昭和十年四月八日
大阪府告示第百六十二號

明治四十四年内務省訓令第百四十五號並ニ昭和六年内務省告示第八十三號ニ依リ内務大臣ニ於テ管理シ維持修繕ヲ行フ區域トシテ指定サレタル内毛馬閘門毛馬洗堰、長柄起伏堰、運河給水樋門、運河頭部扉ニ付明治四十四年五月大阪府告示第百七十號及大正七年五月大阪府告示第百二十七號ニ依リ告示セシ區域ノ一部ヲ左記ノ通變更シ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス自今之ニ關スル願書ハ内務省大阪土木出張所經由内務大臣ニ提出スヘシ

- 一、淀川本川及淀川派川中津川筋
 - 境界杭一號ヨリ三四號ニヨリ圍繞サレタル區域
 - 一、淀川派川新淀川筋
 - 境界杭一號ヨリ六號ニヨリ圍繞サレタル區域
- (圖面略)

〔大阪土〕

河川管理吏員設置規程

明治三十一年三月
大阪府令第三十一號

改正 明治三十一年七月府令第四四號、三十四年二月第一六號、三十五年四月第一四二號、三十八年一月第五號、大正六年八月第四六號
河川法第十五條ニ依リ河川管理ノ爲メ來ル四月一日ヨリ吏員ヲ設置シ其ノ規程左ノ通り相定ム

河川管理吏員設置規程

第一條 河川管理ノ爲メ吏員ヲ置キ其定員ヲ十名トス

第二條 河川管理吏員ハ内務部第二課ニ屬隸シ左ノ事務ニ從事ス

- 一、河川臺帳ニ關スルコト
- 一、河川敷地及流水ノ占用又ハ使用ニ關スルコト
- 一、河川ノ監視ニ關スルコト
- 一、河川内ノ土石砂利及生産物拂下ニ關スルコト
- 一、河川附近地ノ取締ニ關スルコト
- 一、河川法第十七條ノ工作物ノ新築改築若ハ除却ニ關スルコト

第三條 河川管理吏員ノ月俸ハ拾圓以上四拾圓以下トス

第四條 河川管理吏員ニシテ公務ノ爲旅行スルトキハ旅行手當ヲ支給ス但シ其ノ支給方法ハ別ニ之ヲ定ム

第五條 河川管理吏員ニ屬スル費用ハ地方税ノ負擔トス

第四類 河川 第三章 施行河川

河川監督巡查職務章程

明治四十四年七月二十九日
大阪府訓二七二號

第一條 河川監督巡查ハ所屬警察管署長ノ指揮監督ヲ受ケ專ラ左ノ事項ヲ擔任スルモノトス

- 一、河川及其ノ附屬物並ニ工作物ノ監督ニ關スル事項
- 二、河川及其ノ附屬物ノ占用其ノ他ノ行爲取締ニ關スル事項

三、河川附近ノ土地ニ於ケル行爲取締ニ關スル事項

四、船筏ノ通航及木材ノ流下取締ニ關スル事項

五、其他河川取締ノ上必要ナル事項

第二條 河川監督巡查ハ枚方警察署ニ一名十三橋警察署柴島警察分署ニ一名ヲ配置ス

第三條 河川監督巡查ノ受持區劃ハ淀川筋神崎樋門ヲ境界トシ、其ノ上流ハ枚方警察署所屬巡查神崎樋門及其ノ下流ハ十三橋警察署柴島分署所屬巡查ノ受持トス

第四條 河川監督巡查ハ毎日九時間勤務トシ普通巡回線路左ノ如シ

警察部
内務部
枚方警察署
十三橋警察署
柴島警察分署

イ、枚方警察署

第一區所屬署ヨリ淀川右岸ヲ三島郡島本村京都府管轄境界ニ至リ北河内郡樟葉村ニ渡リ左岸ヲ經テ歸署
第二區所屬署ヨリ淀川左岸北河内郡庭窪村ニ至リ西成郡味生村ニ渡リ右岸ヲ經テ歸署
ロ、十三橋警察署柴島分署

第一區所屬署ヨリ淀川右岸ヲ神崎樋門ニ至リ北河内郡庭窪村ニ渡リ左岸ヲ經テ歸署
第二區所屬署ヨリ淀川右岸ヲ西成郡福村ニ至リ同郡傳法町ニ渡リ下流ヲ經テ左岸ヲ歸署

第五條 河川監督巡查ノ巡回度數ハ普通線路ニアリテハ一日一區トシテ特別線路ハ必要ニ據リ内務省土木出張所員ト協議シ所屬署長ニ於テ臨時指定ス

第六條 河川監督巡查ノ巡回中ハ時々沿線ノ淀川改修事務所ニ立寄り所員ト取締上ノ打合ヲ爲スヘシ

第七條 河川監督巡查巡回中見聞シ又ハ執行シタル事故ハ細大漏サス日誌ニ記載所屬署長ニ申報スヘシ

第八條 河川監督巡查ハ河川ノ監督ニ關シ常ニ内務省土木出張所長又ハ土木監督技師トノ間ニ連絡ヲ保チ且事ノ急迫ナル場合ニアリテハ内務省技師ノ協議ニ應ジ適當ノ措置ヲ執リタル上所屬署長ニ申報スヘシ

第九條 河川ニ關シ許可ヲ與ヘタル事項ハ迅ニ内務部ヨリ關

〔大阪土〕

〔大阪土〕

〔大阪土〕

●水路取締規則

明治四十三年八月
大阪府令第六十八號

改正 昭和二年二月府令第九八號

第一章 通則

第一條 本令ニ於ケル用語ハ左ノ例ニ依ル

一、水路トハ船舶ノ自由ニ航行シ得ル河川、運河及港灣ノ水域ヲ謂フ

二、航路トハ水路ノ内船舶ノ航行ノ用ニ供スル水域ヲ謂フ但シ安治川ニ在リテハ浮筋ノ中央ヨリ左右各二十米、木津川及尻無川樋橋ノ渡下流ニ在リテハ浮筋ノ中央ヨリ左右各十五米ノ水域ヲ謂フ

第二條 警察署長ハ危險豫防上其ノ他交通保全ノ爲必要アリト認ムルトキハ水路ノ通行ヲ禁止シ若ハ制限シ又ハ本令ニ依リテ爲シタル許可ヲ取消シ若ハ制限スルコトヲ得

第三條 船舶ハ危險豫防其ノ他交通上ノ必要ニ基テ警察官吏ノ指示又ハ標示ニ從フヘシ

第四條 法令ニ依リ海技免狀受有者ヲ乗組マシムルコトヲ要セサル船舶ハ十六歳以上ノ者ニ非サレハ之ヲ操航スルコトヲ得ス但シ手漕ボート、傳馬船ノ類ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ船舶長十五米又ハ幅五米ヲ超ユルトキハ十六歳以上ノ者二名以上ニテ之ヲ操航スヘシ

〔大阪土〕

工作物ノ除却又ハ同法第十八條ニ依ル占用許可ノ取消ヲ要スルモノアルトキハ土木出張所長ハ府縣知事ニ通知スベシ

府縣知事前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ内務大臣ノ認可ヲ受ケタルモノトシテ直ニ處分スヘシ

第四條 河川法第八條第一項ニ依リ河川ニ關スル工事ヲ施行スル場合ニ於ケル河川法施行規程第十條ニ依ル補償金ノ下付ニ付テハ土木出張所長ハ内務大臣ニ稟伺ノ上之ヲ處理スヘシ

第五條 内務大臣ニ於テ改修工事ヲ完成シ府縣知事ニ引渡ヲ了シタル河川ニ付テハ土木出張所長ハ時々巡視シ又ハ其ノ所屬技師官ヲシテ巡視セシムヘシ巡視ノ結果必要アリト認ムルトキハ土木出張所長ハ其ノ措置ニ付直接府縣知事ニ商議スヘシ

第六條 土木出張所長ハ前條ニ依ル河川監督ノ願末ニ付重要ナルモノハ内務大臣ニ之ヲ報告スヘシ

第七條 本令第一條第二項第五條及前條ノ規定ハ砂防法第六條第一項ニ依リ内務大臣ニ於テ砂防ニ關スル工事ヲ施行スル場合ニ之ヲ準用ス

附則

明治三十八年四月内務省訓令第七號及第八號ハ之ヲ廢止ス

第二章 航法

- 第五條 船舶ハ航路ノ右側ヲ航行スヘシ
- 第六條 船舶航路ノ交叉セル場所ニ於テ左方ニ轉向セントスルトキハ大廻リヲ爲シ右方ニ轉向セントスルトキハ小廻リヲ爲スヘシ
- 第七條 櫓ノミヲ以テ航行スル船舶水流其ノ他ノ關係ニ依リ操船上危険ノ虞アル場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得
- 前項ニ依リ航行スル船舶ハ前二條ニ依リ航行スル船舶ノ進路ヲ避クヘシ
- 第八條 櫓ノミヲ以テ航行スル船舶航路ノ交叉セル場所ニ於テ原動機ヲ用ヒ航行スル船舶ト互ニ進路ヲ横切り衝突ノ虞アルトキハ原動機ヲ用ヒテ航行スル船舶ノ進路ヲ避クヘシ
- 第九條 他船ヲ追越サントスルトキハ掛聲其ノ他ノ合圖ヲ爲スヘシ但シ原動機ニ依リ運航スル船舶ニ在リテハ長聲一發ニ續ク短聲一發ノ汽笛、汽角、號角、其ノ他ノ信號ヲ爲スヘシ
- 第十條 船舶ハ濫リニ並列若ハ競争シテ航行スヘカラス
- 第十一條 船舶航行中行進ヒ難キ場合ハ水流ニ遵行スル船舶ニ於テ避讓スヘシ
- 第十二條 船舶航路ヲ横切ラントスルトキハ安全ナルコトヲ確メタル後航行スヘシ

〔大阪土〕

- 第十三條 船舶ハ他船及沿岸工作物ニ危害ヲ及ホスノ虞アル速度並ニ方法ヲ以テ航行スヘカラス
- 第十四條 船舶ハ左ノ各號ノ場所ニ於テハ徐行スヘシ
 - 一、渡船場附近
 - 二、航路ノ交叉セル場所
 - 三、航路ノ曲角
 - 四、橋梁下
 - 五、前各號ノ外交通上危険ヲ生スル虞アル場所
- 第十五條 船舶ハ航行中帆又ハ積荷等ノ爲進路ヲ見透シ難キトキハ見張人ヲ置クヘシ
- 第十六條 河川及運河ニ於テハ帆走スヘカラス但シ安治川築地渡下流淀川毛馬閘門上流、新淀川、木津川落合下ノ渡下流尻無川福崎渡下流及神崎川ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第十七條 船舶ハ錨ヲ船胸ニ垂下スヘカラス
總噸數百噸以上ノ船舶河川及運河航行中ハ投避準備トシテ左舷錨ヲ水面下ニ垂下シ置クヘシ
- 第十八條 船舶衝突其ノ他ノ事故ヲ生ジタルトキハ直ニ停船スヘシ
前項ノ場合ニ於テ人ヲ傷害シ又ハ物件ヲ損壞シタルトキハ直ニ被害者ノ救護其ノ他適當ナル措置ヲ爲シ双方遲滞ナク其ノ旨所轄警察署ニ届出ツヘシ

第三章 船燈信號

〔大阪土〕

- 第十九條 船舶夜間航行中ハ海上衝突豫防法第十條ニ規定スル白燈ヲ船尾ニ掲グヘシ但シ同法第七條ノ船舶ハ相當ノ光カヲ有スル白色燈ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
- 海上衝突豫防法第七條第三號、第四號ニ該當スル船舶夜間航行中ハ同條第三號ニ規定スル燈火ヲ其ノ前方ニ掲グヘシ但シ手漕ボート傳馬船ノ類ハ此ノ限ニ在ラス
- 第二十條 曳船水路ノ狀況ニ依リ海上衝突豫防法第三條ニ規定スル橋燈ヲ上下ニ連掲シ難キ場合ハ之ヲ橋燈ノ位置ニ相當ノ間隔ヲ保チ水平ニ掲グルコトヲ得
- 第二十一條 船舶ハ碇泊中海上衝突豫防法第十一條ノ規定ニ依リ碇泊燈ヲ掲グヘシ但シ原動機ヲ用フル五噸未満ノ船舶及櫓ノミヲ以テ運航スル船舶ニシテ航路ニ接近セザルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 第二十二條 汽船及帆船轉回スルトキハ晝間ニ在リテハ見易キ箇所ニ國際信號旗Rヲ夜間ニ在リテハ前橋ノ頂部ニ周圍ヲ照射スヘキ紅燈一箇ヲ掲グヘシ但シ總噸數二十噸未満ノモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラス
- 第二十三條 原動機ヲ用ヒテ航行スル船舶ハ航路ノ曲角又ハ前方ヲ見透シ難キ場所ニ於テハ汽笛、汽角、號角其ノ他ニ依リ長聲一發ノ發聲信號ヲ爲シ曳船中ハ長聲一發ニ續ク短聲二發ノ發聲信號ヲ爲スヘシ
- 第二十四條 本令ニ定ムルモノノ外船舶ノ航法、船燈信號ニ

關シテハ海上衝突豫防法ノ定ムル所ニ依ル

- 第四章 碇泊繫留
 - 第二十五條 船舶碇泊シタルトキハ看守ヲ怠ルヘカラス
 - 第二十六條 船舶ハ橋梁、標柱、檢潮器及其ノ保護杭ニ繫留シ又ハ之ニ障害ヲ及ホス虞アル行爲ヲ爲スヘカラス
 - 第二十七條 船舶ハ左ノ各號ノ場所ニ繫留スヘカラス但シ警察官吏ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 - 一、航路
 - 二、水路ノ交叉セル場所ノ曲角
 - 三、橋梁下
 - 四、入津料取立所前
 - 五、渡船場及消防船又ハ救命艇碇泊所附近
 - 第二十八條 共同荷揚場前ニハ現ニ貨物積卸中ノ船舶ノ外ハ繫留スヘカラス但シ他船ノ貨物積卸ノ障害トナラサルトキハ此ノ限ニ在ラス
 - 第二十九條 船舶ハ繫留中ノ他船ヲ航路ニ突出セシムル虞アル方法ニ依リ繫留スヘカラス
 - 第三十條 交通保全ノ爲必要アリト認ムルトキハ區域又ハ期間ヲ定メ船舶ノ碇泊ヲ制限スルコトアルヘシ
 - 第五章 水路ノ保全
 - 第三十一條 水路ニ土石、石炭殻、塵芥、油類及之ヲ含ム淤泥其ノ他交通上支障ヲ生スル虞アル物件ヲ投棄スヘカラス

第三十二條 水路ニ於ケル難破船其ノ他交通上支障ヲ生スルノ虞アル物件ハ所有者又ハ占有者ニ於テ速ニ之ヲ除去スヘシ

前項ノ難破船其ノ他ノ物件ニハ水面上ニ晝間ハ赤旗夜間ハ赤色ノ燈火ヲ掲出シ除去シ終ル迄之ニ保持スヘシ

第三十三條 船舶ハ法令ニ規定スル場合ヲ除クノ外濫リニ汽笛、汽角又ハ號角ヲ吹鳴スヘカラス

第三十四條 船舶ハ船體ト不相當ナル人員又ハ物件ヲ搭載スヘカラス但シ分割スヘカラスル物件ニシテ出發地所轄警察署ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條 水路ニ於テ左ノ各號ノ行爲ヲ爲サントスルトキハ其ノ目的、方法、期間及區域又ハ場所ヲ具シ所轄警察署長ノ許可ヲ受ケヘシ

一、總噸數二十噸以上ノ船舶ヲ解體、修繕、休航、機裝等ノ爲五日以上繋留セントスルトキ

二、神輿渡御又ハ川施餓鬼ノ類ヲ爲サントスルトキ

三、競漕其ノ他催物ヲ爲サントスルトキ

四、前各號ノ外交通上支障ヲ生スルノ虞アル行爲ヲ爲サントスルトキ

〔大阪土〕

一、總噸數二十噸以上ノ船舶ヲ上架又ハ進水セントスルトキ
二、難破船其ノ他ノ物件ノ引揚作業ヲ爲サントスルトキ
第三十七條 他ノ法令ニ基キ水路占用ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ目的、區域、期間及占用者ノ住所氏名ヲ見易キ個所ニ標示スヘシ
第三十八條 船舶ハ他ノ船舶又ハ建造物ニ爲口類ヲ鉤シテ航行スヘカラス
第三十九條 大阪市及堺市ノ水路ニ在リテハ游泳場以外ノ場所ニ於テ游泳スヘカラス
第六章 曳航
第四十條 船舶ヲ曳航セントスルトキハ他船ノ運航ヲ妨害セサル様相當ナル速度ヲ保持シ且左ノ制限ニ依ルヘシ
一、淀川天滿橋上流ニ在リテハ小型船(テントウ船、釵先船、上荷船及之ニ類スル船舶並ニ手漕ボート、傳馬船ノ類ヲ謂フ以下之ニ倣フ)ハ十隻以内船鑑札規則適用船、猪牙船、達磨船及之ニ類スル船舶ハ五隻以内總噸數二十噸以上ノ船舶ハ一隻
二、新淀川及神崎川(西島閘門筋ヲ除ク)ニ在リテハ小型船ハ五隻以内船鑑札規則適用船、猪牙船、達磨船及之ニ類スル船舶ハ三隻以内總噸數二十噸以上ノ船舶ハ二隻以内
三、淀川天滿橋下流堂島川又ハ土佐堀川ヲ經テ安治川口ニ

〔大阪土〕

至ル間、木津川、尻無川臨港鐵道橋下流、岩崎運河、木津川運河及三軒家堀制紡績大橋下流ニ在リテハ小型船

ハ三隻以内船鑑札規則適用船、猪牙船、達磨船及之ニ類スル船舶ハ二隻以内總噸數二十噸以上ノ船舶ハ一隻

四、西道頓堀川深里橋下流、寢屋川、三十間堀川、中津川、六軒屋川、傳法川、正蓮寺川、長堀川、東横堀川(九之助橋以南ヲ除ク)、天保山運河、大正運河、千歲運河、八幡屋運河及住友堀制ニ在リテハ小型船ハ二隻以内船鑑札規則適用船、猪牙船、達磨船及之ニ類スル船舶ハ一隻

前項第四號ノ河川運河ニ於テ總噸數二十噸以上ノ船舶ヲ曳航セントスルトキハ出發地所轄警察署長ノ許可ヲ受ケヘシ

第四十一條 前條以外ノ河川運河ニ於テ一時曳航セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ出發地所轄警察署長ノ許可ヲ受ケヘシ

一、日 時
二、航行區域
三、被曳船ノ種類、船數及其ノ最大積量

前項ノ許可ヲ受ケタル者ハ曳船航行中許可證ヲ携帯スヘシ

第四十二條 船舶河川運河内ニ於テ他船ヲ曳航スルトキハ曳船ト被曳船トノ間隔ヲ十米以内ニ保持スヘシ

第七章 筏
第四十三條 船舶ニ依リ筏ヲ曳航セントスルトキハ他船ノ運

航ヲ妨害セサル様相當ナル速度ヲ保持シ且左ノ制限ニ依ルヘシ

一、木津川中口町南端下流、三軒家堀制紡績大橋下流、三十間堀川及大正運河ニ在リテハ筏ノ長六十米幅四米以内

二、尻無川中ノ渡下流ニ在リテハ筏ノ長四十米幅四米以内

三、淀川(安治川ヲ除ク)木津川中口町南端上流、新淀川、神崎川、尻無川、臨港鐵道橋下流中ノ渡ニ至ル間、岩崎運河、木津川運河及千歲運河ニ在リテハ筏ノ長二十米幅四米以内

前項以外ノ河川ニ於テ筏ヲ曳航セントスルトキハ出發地所轄警察署長ノ許可ヲ受ケヘシ但シ筏ノ長十五米幅二・五米ヲ超ユルコトヲ得ス

第四十四條 曳航ニ依ラサル筏ノ運航ハ長十五米、幅二・五米ヲ超ユルコトヲ得ス

第四十五條 安治川ニ於テハ曳航ニ依ルノ外筏ヲ運航スヘカラス
第四十六條 筏ヲ五日以上繋留セントスルトキハ目的期間及區域ヲ具シ所轄警察署長ノ許可ヲ受ケヘシ
第四十七條 第三條、第四條第一項、第五條乃至第十三條、第十八條、第十九條第一項但書第二十六條、第二十七條、第二十九條、第三十條及第三十八條ノ規定ハ之ヲ筏ニ準用ス

第八章 罰則

第四十八條 第二條ノ規定ニ基ク禁止又ハ制限ニ違反シタル者、第三條、第十條、第十八條、第二十六條乃至第二十八條、第三十一條、第三十二條、第三十五條、第三十八條及第四十條乃至第四十六條ノ規定ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第四十九條 第四條乃至第六條、第七條第二項、第八條、第九條、第十一條乃至第十七條、第十九條、第二十一條乃至第二十三條、第二十五條、第二十九條、第三十四條、第三十六條、第三十七條及第三十九條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第三十條ノ規定ニ基ク制限ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

附則

第五十一條 第三十五條第三號ノ規定ハ沿岸海上ニ之ヲ適用ス

河川法第九條ニ依レル下級行政廳ヲシテ河川ニ關スル工事

〔大阪土〕

施行又ハ維持ヲ爲サシムル件

明治三十二年五月十五日
内務省令第十六號

改正 大正八年二月内務省令第二六號、一四年一〇月第二二號
第一條 府縣知事ニ於テ下級行政廳ヲシテ河川ニ關スル工事ヲ施行セシメ又ハ其ノ維持ヲ爲サシムルニハ其ノ行政廳ハ河川ニ就キ直接ニ利害ノ關係ヲ有スル公共團體ノ行政廳タルコトヲ要ス

第二條 府縣知事ニ於テ河川又ハ其ノ附屬物ノ全部若ハ一部ニ付大體ニ渉ル一定ノ計畫ニ基キ施行スル改良工事ニ屬スル工事ヲ下級行政廳ヲシテ施行セシムトスルトキハ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ其ノ變更ニ付亦同シ但シ些少ナル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

河川臺帳令

明治二十九年十月十五日
勅令第三百三十一號

改正 明治三一年勅令第一六七號、三二年第二八八號、大正一二年七月第三五四號、昭和九年一〇月第三〇七號
第一條 河川臺帳ハ帳簿及實測圖ヲ以テ組成ス

〔大阪土〕

第二條 河川臺帳ニハ市町村毎ニ區別シテ左ノ事項ヲ記載スヘシ但河川ノ狀況ニ依リ内務大臣ハ其ノ記載事項ヲ省略セシムルコトヲ得

一 河川ノ敷地及堤外地ノ區域
二 河川ノ附屬物及河川ニ影響ヲ及ホスヘキ工作物ノ種類、數量、構造及位置形狀
三 河川ニ影響ヲ及ホスヘキ水流及水面ノ種類、數量及位置、形狀

第三條 府縣知事ハ其ノ調製ニ係ル河川臺帳ニ付地元市町村長ノ意見ヲ徵シ且之ヲ其ノ市役所及町村役場ニ於テ七日以上ノ期限ヲ定メテ公衆ノ縦覽ニ供スヘシ但シ地元市町村ノ多數ナル場合ニ於テハ府縣知事ハ縦覽所ヲ指定シ其ノ所在市町村ニ鄰接スル市町村ニ限り併合縦覽セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ利害關係者ハ縦覽期限經過後十五日以内ニ河川臺帳ニ對シ意見ヲ申立ツルコトヲ得

第四條 府縣知事ハ河川臺帳ノ認可ヲ請フニ際シ前條意見書類及之ニ對スル辯明書ヲ内務大臣ニ提出スヘシ

第五條 府縣知事ハ河川臺帳ノ更正ヲナサントスルトキモ亦前二條ノ手續ヲ經テ内務大臣ノ認可ヲ請フヘシ
第六條 内務大臣ハ其ノ認可シタル河川臺帳ノ原本ヲ保管スヘシ

第七條 府縣知事ハ河川臺帳ノ原本ニ就テ正本ヲ調製シ之ヲ保管スヘシ

府縣知事ハ公衆ノ請求ニ依リ河川臺帳ノ正本ヲ縦覽ニ供スルノ方法ヲ設ケ其ノ地方ノ公布式ニ依リ之ヲ告示スヘシ其ノ更正ヲ爲シタルトキ亦同シ

第八條 削除(大正十二年勅令第三五四號ヲ以テ)

第九條 府縣知事河川臺帳ノ認可ヲ得タルトキハ七日以内ニ其ノ旨ヲ地元市町村長ニ通知スヘシ其ノ更正ニ付認可ヲ得タルトキ亦同シ

第十條 市町村長前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ正本ニ就テ其ノ管内ニ係ル河川臺帳ノ副本ヲ調製シ又ハ更正スヘシ
市町村長ハ河川臺帳ノ副本ヲ調製シ又ハ更正シタルトキハ其ノ旨ヲ公告シ公衆ノ請求アリタルトキハ之ヲ其ノ縦覽ニ供スヘシ

第十一條 市町村長ハ各其ノ管内ニ係ル河川臺帳ノ副本ヲ保管スヘシ

第十二條 第十條ノ爲ニ要スル費用ハ當該市町村ノ負擔トス

第十三條 北海道ニ付テハ本令中府縣知事ニ關スル規定ハ北海道廳長官ニ關シ之ヲ適用ス

●河川臺帳ニ關スル細則

大正十年十二月二十四日
內務省令第二十九號

改正 昭和九年一〇月內務省令第二十七號

第一條 河川臺帳ニ記載スヘキ事項ハ凡ソ左ノ區域内ニ係ルモノトス

一 有堤部ニ於テハ堤外及堤防附近
一 無堤部ニ於テハ凡ソ洪水位ノ達スル區域但シ汎濫スヘキ土地ニ於テハ相當ト認定シタル區域

第二條 河川臺帳ノ河川平面圖ハ縮尺千貳百五十分ノ一トス

第三條 河川臺帳ニ用ウル尺度ハメートルヲ單位トス
水準基標ノ標高ハ小數點以下參位迄河川ノ附屬物及工作物ノ標高、大小並距離水位等ハ同貳位迄ヲ示スモノトス

第四條 河川ノ平面測量ハ三角法ニ依ルヘシ
府縣知事ハ成ルヘク安全ノ地點ニ三角標ヲ設置若ハ選定シ之ヲ保存スヘシ

第五條 府縣知事ハ河川ノ兩岸凡ソ五千メートル毎ニ少クモ一箇所成ルヘク安全ノ地點ニ水準基標ヲ設置若ハ選定シ之ヲ保存スヘシ

第六條 河川平面圖ニハ眞南北ヲ經トセル經緯線ヲ記入スヘシ

〔大阪土〕

〔大阪土〕

前項ノ經緯線ハ三角點ノ一ヲ原點トシ經緯共其ノ間隔ヲ〇、四メートルトスヘシ

前項ノ原點ハ一河川(支派川)一點トス二府縣以上ニ跨ル河川ニ在テハ關係府縣知事協議ノ上之ヲ定ムヘシ

第七條 三角點ハ其ノ位置、記號、番號、經緯距及隣接三角點トノ角度ヲ河川平面圖ニ記載スヘシ

第八條 水準基標ハ其ノ記號、番號、所在地名及標高ヲ河川臺帳ノ帳簿ニ記載シ尙河川平面圖ノ區域内ニ存在スルモノハ其ノ位置、記號、番號及標高ヲ河川平面圖ニ記載スヘシ

第九條 河川及其ノ附屬物ノ敷地ハ總テ折線ヲ以テ之ヲ區劃スヘシ但シ堤防以外ノ附屬物ノ全部若ハ一部カ川敷内又ハ堤敷内ニ在ルトキハ其ノ川敷内又ハ堤敷内ニ在ル部分ニ付テハ其ノ敷地ヲ區劃セサルモノトス

前項ノ折線ノ交叉點ハ二箇ノ三角點ヲ連結スル直線若ハ之ニ準スル直線ニ基キ支距法ニ依リ之ヲ測定スヘシ

川敷ノ區域ハ青色實線、附屬物敷ノ區域ハ褐色實線、三角點連結線及之ニ準スル線ハ朱色實線、支距線ハ朱色點線ヲ以テ河川平面圖ニ記入スヘシ但シ川敷線ト附屬物敷線ト重複スル部分ハ青色實線及複色實線ノ交互線ヲ以テ記入スヘシ

前項但書ノ部分ノ支距ハ之ヲ記入セサルモノトス

第十條 堤外地若ハ堤外地以外ノ河川附近ノ土地ノ區域ニシ

テ川敷線若ハ附屬物敷線ニ依リ限ラレタル部分ノ外堤外地ノ區域ハ紫色實線、河川附近ノ土地ノ區域ハ綠色實線ヲ以テ河川平面圖ニ記入スヘシ

第十一條 河口ヲ起點トシ百メートル毎ニ本丁杭ヲ設置シ丁杭ニ基キ少クモ四百メートル毎ニ河川横斷面ヲ測リ丁杭及横斷測量線(朱色波線ヲ以テ示ス)ヲ河川平面圖ニ記入シ別ニ縮尺横斷測量線(以テ示ス)一ノ河川横斷面圖ヲ調製スヘシ

二千五百分ノ一縱百分ノ一ノ河川横斷面圖ヲ調製スヘシ

二府縣以上ニ跨ル河川ニ在テハ關係府縣知事協議ノ上丁杭ヲ設置スヘシ

第十二條 河川ノ附屬物及河川ニ影響ヲ及スヘキ工作物ハ其ノ位置、形狀並左ノ事項ヲ河川平面圖ニ記載スヘシ特ニ重要ナル附屬物若ハ工作物ニ付テハ適宜構造圖ヲ添付スルコトヲ得

一 附屬物ニ付テハ記號、種類、番號等

二 堰堤、堰球ニ付テハ種類、構造、天端標高及敷標高等

三 樋管、水閘等ニ付テハ種類、構造、内法寸法及敷標高等但シ横斷面ノ形狀複雑ナルトキハ其ノ形狀ヲ適宜ニ圖示スルコトヲ得

四 橋梁ニ付テハ路線名、橋名、種類、構造、徑間長並其ノ數及桁下端ノ標高等

五 前各號ノ外附屬物又ハ工作物ニ付テ必要ト認メタル事項

河川ノ附屬物ハ河川平面圖ニ記號ヲ附シ他ノ工作物ト區分スヘシ

第十三條 河川平面圖ニハ前各條ニ規定スル事項ノ外左ノ件々ヲ記載スヘシ

一 重要ナル地物 一 流レノ方向

一 地名及境界 一 梯尺

第十四條 特別ノ理由アル場合ニ於テハ府縣知事ハ內務大臣ノ認可ヲ得テ第二條乃至第十三條ノ規定ヲ一時省略若ハ變更スルコトヲ得

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際調製中ニ係ル河川臺帳ハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

從前ノ規定ニ依リ調製シタル河川臺帳ノ一部ノ更正ハ當分ノ内仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

明治二十九年十二月十二日內務省令第十三號ハ之ヲ廢止ス

●河川臺帳縦覽及認可ニ關スル件

明治三十一年八月十五日
内務省訓令第二十六號

- 第一條 明治二十九年勅令第三百三十一號第三條第一項但書(明治三十一年勅令第百六十七號ヲ以テ追加)ノ場合ニ於テハ十日以上ノ期限ヲ定メテ縦覽ニ供スヘシ
- 第二條 河川臺帳ノ原本ニ屬スル河川平面圖ハ原圖紙(幅五尺)ヲ用ヒ其長ハ隣接市町村併合縦覽ノ便宜ヲ得ル程度ニ於テ適宜之ヲ定ムルコトヲ得
- 第三條 河川臺帳ハ其調製ヲ了シタル部分ヨリ漸次明治二十九年勅令第三百三十一號第三條ノ手續ヲ履行シ認可ヲ請フコトヲ得

(雛形並ニ記號略ス)

●河川臺帳縦覽所ノ件

明治三十一年七月二十八日
乙發第二三號土木局長通牒

各地方長官宛

本年七月勅令第百六十七號ヲ以テ明治二十九年勅令第三百三十一號第三條第一項ニ但書ヲ追加相成候處右但書ノ縦覽所トハ市役所又ハ町村役場ニ外ナラサル義ニ候條爲念此段及通牒候也

●河川臺帳ノ河川平面圖雛形並ニ記號ノ件

明治二十九年十二月二十一日
甲第六四號土木局長通牒

京都府大阪府滋賀縣福岡縣佐賀縣知事宛
今般内務省令第十三號(大正十年内務省令第二九號)ヲ以テ河川臺帳ニ關スル細則發布相成候ニ付テハ河川臺帳ノ河川平面圖ハ別紙雛形並ニ記號ニ準シ御調製相成候様致度依命此段及通牒候也

〔大阪土〕

●河川臺帳縦覽方法ノ件

明治三十一年十一月二十八日
大阪府告示第二百十二號

明治二十九年十月勅令第三百三十一號第七條第二項ニ依リ河川臺帳縦覽ノ方法左ノ通り相定ム
一、河川臺帳ノ正本ハ當廳内務部第二課ニ備置キ公衆ノ縦覽ニ供ス

〔大阪土〕

●河川敷地理立ニ關スル件

明治三十三年十二月十八日
乙第一四二號土木局長回答

大阪府知事宛

河川法施行ニ係ル河川区域内ニ施行スル地理立工事ノ件ニ付本月八日第二四三二二號ヲ以テ御照會相成候處右ハ二十三年當省訓令第三十六號ニ規定セルカ如キ目的ヲ以テ施行スル地理立工事ハ河川法第十七條ノ工作物ト言フヲ得サルヘク存候此段及回答候也

大阪府知事伺 (明治三十三年十二月八日)
二第四三二二號

茲ニ河川区域内ノ敷地ヲ地理立テ必要ナル工事ヲ起シ廢川處分ノ上ハ民有ニ下付ヲ受ケムトノ目的ヲ以テ之カ地理立ヲ出願セシモノアリ右ハ同法第十七條第三項ノ河川敷地ニ固著シテ施設スル工作物トシテ可取扱筋ニ候哉此段及問合候也

- 二、河川臺帳ノ正本ハ縦覽セントスルモノハ其目的ヲ明記シタル書面ヲ提出スヘシ
- 三、河川臺帳ノ正本ハ當廳ノ認許ヲ得ルニアラサレハ謄寫スルコトヲ得ス
- 四、河川臺帳ノ正本ハ何等ノ理由アルモ備置場所ノ外ニ持出スコトヲ得ス且縦覽中ハ汚損セサル様注意スヘシ

●河川本堤外民有地ニ家屋建設等禁止ノ件

明治三十年三月二十二日
大阪府令第二十九號

當廳ノ許可ヲ得スシテ河川本堤外民有地へ家屋ヲ建造シ若クハ樹木ヲ栽培シ又ハ之レヲ物置場ニ使用スルコトヲ禁ス違フモノハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ貳拾錢以上壹圓貳拾五錢以下ノ科料ニ處ス
但明治十九年當府甲第五十八號布達ハ廢止ス

河川法第十七條、第十八條取 扱方ノ件

明治三十五年三月十七日
甲第三三號土木局長回答

大阪府知事宛

河川法施行ノ河川ニ於ケル工作物施設及河川敷地若ハ流水ノ
占用ニ關スル取扱方ニ付本月八日二第八六六號ヲ以テ御照會
相成候處右御照會ニ依レハ工作物ヲ施設スル場合ニ於テ河川
ノ敷地若ハ流水ヲ占用スルモ該工作物施設ノ目的如何ニ依リ
テハ單ニ河川法第十七條ノミニ依リ許可セムトノ御意見ノ如
ク相見ヘ候ヘ共法第十七條ニ依レル工作物ニシテ夫レカ爲敷
地若ハ流水ヲ占用スルモノハ工作物施設ノ目的如何ニ拘ハラ
ス其占用ニ付テハ第十八條ニ依ルヲ要スル義ニシテ右等ノ場
合ニ在リテハ第十七、十八兩條ニ依リ取扱ハサルヘカラス尤
モ照會書ニアル橋梁ノ架設橋臺取水塔ノ設置等ニ付テハ第十
七條ニ依ルヘキハ勿論ナレトモ該工作物ノ施設ニ伴ヒ第十八
條ニ依レル占用トシテ取扱ハサルヘカラサルヤ否ヤハ工作物
ノ構造其ノ他事實如何ニ依ル義ナレハ單ニ工作物ノ名義ノミ
ニ依リ斷定スルヲ得サルヲ以テ其事實ニ付キ認定スルノ外無
之存候條右様御承相成度此段及回答候

大阪府知事伺(明治三十五年三月八日)
第二八六六號

〔大阪土〕

河川ノ目的ニ反スル利用ノ爲ニ施設スル工作物ニシテ河川ノ
敷地若ハ流水ヲ占用セムトスルトキハ河川法第十七條及第十
八條ノ許可ヲ受ケルコトヲ要スルモ河川ノ目的ニ從ヒ工作物
ヲ施設スル場合ニ於テ河川ノ敷地若ハ流水ヲ占用スト雖單ニ
第十七條ノミノ許可ヲ受ケ可然被存候處河川ニ橋梁ヲ架シ又
ハ堤防ニ橋臺ヲ設ケ若ハ河中ニ上水道ノ取水塔ヲ設ケルカ如
キハ右兩段中ノ何レニ相當スルモノトシ取扱可然哉差懸リタ
ル事件有之候ニ付折返何分ノ御意見承相成度此段及問合候

砂防法又ハ河川法ニ依リ地租 條例ノ開墾ニ該當スル場合取 扱方ノ件

明治四十一年六月二十六日
藏甲第二〇〇號土木局長通牒

各地方長官宛(沖繩縣ヲ除ケ)

砂防法又ハ河川法ニ依リ一定ノ行爲ヲ許可セルモノニシテ地
租條例ノ開墾ニ該當スル場合ノ取扱方ニ關シ別紙寫ノ通り大
藏次官ヨリ照會有之候條右ノ趣旨ニ依リ御取扱相成候方可然
依命此段及通牒候也
(別紙)

〔大阪土〕

大藏次官照會

砂防法又ハ河川法ニ依リ一定ノ行爲ヲ許可セルモノト雖該行
爲カ地租條例ノ開墾ニ該當スルトキハ更ニ地租條例ニ依リ稅
務署ニ開墾ノ届出ヲ要スヘキ義ニ候得共斯クテハ官民ノ不便
ヲ來スヲ以テ稅務署ニ於テハ地方廳ノ許可通知ニ依リ取扱フ
コトニ先般手續ヲ改メ候處地方廳ニ於テ一筆中ノ幾分ニ付開
墾ノ許可ヲ與フル場合ニ於テハ取扱上支障有之元來地租條例
ニ於テハ一筆中部分開墾ヲ認メサルヲ以テ右ノ場合ニ於テハ
稅務署ハ已ムヲ得ス一部分ノ開墾ト雖全筆ノ開墾トシテ取扱
ハサルヲ得サル次第ニ有之候ヘ共右ハ實際ニ副ハサル整理ニ
シテ相當ニ無之就テハ地方廳ニ於テ一筆中ノ部分開墾ノ申請
ヲ受理スルトキハ其際分筆ノ手續ヲ爲サシメタル上許可スル
コトニ取扱フコトニ致度候間其旨貴省ヨリ御訓令相成候様致
度此段及照會候也

電信又ハ電話柱等ノ移轉費用 負擔ニ關スル件

昭和二年八月九日
發甲第二五號土木局長通牒

各府縣知事宛

河川法施行河川又ハ其ノ堤防敷ニ逕信省所屬ノ電信又ハ電話

第四類 河川 第三章 施行河川

柱等ノ建設ヲ承認セラレル場合ニ於テ將來之カ移轉費用ニ付
テハ逕信當局ニ於テ負擔スヘキ旨條件ヲ附セラルルハ別段支
障無之義ニ候條御了知相成度

沿岸沿堤及河川附近ノ土地ノ 區域ノ件

明治三十四年一月七日
大阪府告示第一號

淀川及淀川ノ支流川ト認定シタル河川ニ付キ沿岸沿堤及河川
附近ノ土地ノ區域左ノ通之ヲ定ム

沿岸地ノ區域
一、郡部ニ在リテハ其ノ岸肩ヨリ十間市部ニ在リテハ同シク
五間

沿堤地ノ區域
一、堤防内法ノ敷地線ヨリ堤内ヘ十間

附近地ノ區域
一、有堤部ハ其ノ堤防内法ノ敷地線ヨリ堤内ヘ十間
一、無堤部ハ郡部ニ在リテハ河川敷地線ヨリ十間、市部ニ在
リテハ同シク五間

前二項ノ區域線ノ兩間ニ於ケル河川敷地及堤防敷地ニ非サル
土地

●河川法第十七條及明治三十三年勅令第三百號第四條ノ行爲ニ付許可ヲ受ケントスル者土
ニ付許可ヲ受ケントスル者土
木工事取締規則準據方

大正二年六月五日
大阪府令第四十四號

河川法第十七條及明治三十三年勅令第三百號第四條ノ行爲ニ付許可ヲ受ケントスル者ハ明治三十四年大阪府令第八號土木工事取締規則ニ準據スヘシ但シ大正二年大阪府令第三十二號河川法施行ニ係ル河川敷地及流水占用規則ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

附則

明治三十四年六月大阪府告示第六十四號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

●河川其ノ他ノ工作物ヲ道路ニ供用ニ關スル件

大正十年一月十日
出士第一號土木局長通牒

各地方長官宛(沖繩縣ヲ除ク)

河川法第八條ノ規定ニ依リ當省ニ於テ直接工事ヲ施行スル河

〔大阪土〕

川又ハ其ノ附屬物ヲ道路ノ用ニ供スル場合ニ在リテハ所管當省土木出張所長ニ協議ノ上道路新設ノ手續ヲ履行セラレ度尙既ニ道路ヲ開設シタルモノニ對シテモ此際相當協議ノ上河川工作物ト道路ノ效用上遺憾ナカラシメラレ度

●河川區域ニ認定シタル國有林野占用ノ件

明治四十二年四月六日
土甲第七號土木局長通牒

各地方長官宛

河川法第二條ニ依リ河川區域ニ認定シタル國有林野ニ對シ第三者ニ占用ヲ許可セラレムトスル場合ハ豫メ所轄大林區署ヘ照會ノ上處理セラレ度依命此段及通牒候也

●河川法施行ニ係ル河川敷地及流水占用規則

大正二年四月二十一日
大阪府令第三十二號

改正 大正六年七月府令第四〇號、一二年二月第八號、一五年六月第七一號

第一條 河川法ニ基キ河川敷地及流水占用ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ本則ニ依ルヘシ

〔大阪土〕

第二條 占用願書ニハ左ノ事項ヲ記載シ尙丈量又ハ實測圖及附近ノ模樣並方位等ヲ詳記セル實況圖ヲ添付スヘシ但シ河川法施行規程第九條ニ該當スル敷地ヲ占用セムトスルモノハ舊地番地種目段別若ハ坪數及其ノ理由ヲ併記スヘシ

- 一、所屬ノ郡市町村大字及字名
- 二、占用箇所ノ種類、面積、目的及期間
- 三、願人ノ住所氏名願人カ法人ナルトキハ其ノ名稱
- 四、占地ニ立竹木其ノ他ノ物件存在スルトキハ其ノ種類、員數

代理人ニ依リテ出願スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面

第三條 工作物ノ施設ヲ目的トスル占用ニアリテハ第二條ノ外工作物ノ平面圖、斷面圖、側面圖又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ工作物ヲ明瞭ナラシメ仕樣書設計書ヲ添付シ工事著手ノ日ヨリ竣功ニ至ル豫定日數ヲ記載スヘシ

但シ輕易ナル工事ニアリテハ前項ノ規定ニ拘ラス見取圖ニ任樣書ヲ添付シ出願スルモ妨ケナシ

第四條 願書ニハ管内居住者ニシテ身元確實ナル保證人並占用地若ハ流水ニ沿ヘル土地又ハ家屋占有者ノ連署ヲ要ス若シ占有者力連署ヲ拒ミタルトキハ其ノ事實ヲ附記スヘシ但シ公共團體若ハ公共組合ニ於テ公共ノ用ニ供スル事業ノ爲メ占用スル場合ハ此ノ限ニアラス

第五條 共同シテ占用ノ許可ヲ受ケタル者又ハ保證人ハ占用ニ因リテ生スル義務ハ各連帶ノ負擔トス

第六條 占用ノ目的ヲ變更シ又ハ工作物ノ新築改築若ハ構造ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ更ニ許可ヲ受ケヘシ

第七條 占用ノ許可ヲ受ケタル敷地ニハ地上長二尺太サ三寸角ノ標木ヲ建設シ流水ハ其ノ水面上長六尺ノ杭木ニ標札ヲ釘著シ占用ノ期間、坪數、目的、住所、氏名ヲ記載スヘシ

第八條 期限ニ至リ尙引續キ占用セムトスルモノハ期間一ヶ月前ニ第二條ニ規定セル事項ヲ具備シ保證人連署出願スヘシ

第九條 占用ノ許可ニ依リ生スル權利義務ヲ他人ニ移サムトスルトキハ第二條ニ規定セル事項ヲ具備シ當事者双方並保證人連署出願スヘシ

第十條 占用人及保證人カ改氏名又ハ轉居シタルトキハ十四日以内ニ其旨届出ツヘシ

第十一條 占用人ハ占用期間内其ノ敷地保護ノ責ニ任シ流水ノ疏通ヲ圖ルコトヲ要ス

不可抗力ニ依リ占用地又ハ河川ノ附屬物ニ異動ヲ生シタルトキハ速ニ届出ツヘシ

第十二條 占用期間中他ニ障害ヲ加ヘ又ハ加ヘントセル虞アリト認ムルトキハ占用人ノ費用ヲ以テ相當ノ除害方法ヲ命スルコトアルヘシ